

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

令和 7 年 10 月 2 日
機構名病総 63 号
開設者名 国立大学法人東海国立大学機構
機構長 松尾 清一

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 6 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒464-8601 名古屋市千種区不老町
氏名	国立大学法人 東海国立大学機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

名古屋大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地
電話(052)744-2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科					有		
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			○	11リウマチ科
診療実績							
神経内科:脳神経内科にて医療を提供／内分泌内科、代謝内科:糖尿病・内分泌内科にて医療を提供 感染症内科:内科全般にて医療を提供／アレルギー疾患内科またはアレルギー科:内科全般と小児科にて医療を提供							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科	○	4心臓外科
○	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
消化器外科:消化器・腫瘍外科にて医療を提供／乳腺外科、内分泌外科:乳腺・内分泌外科にて医療を提供 心臓血管外科:心臓外科、血管外科にて医療を提供							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	糖尿病・内分泌内科	2	老年内科	3	脳神経内科	4	移植外科	5	消化器・腫瘍外科
6	乳腺・内分泌外科	7	形成外科	8	児童精神科	9	病理診断科	10	リハビリテーション科
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
46	0	0	0	1030	1076

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	457	393	775.6
歯科医師	11	26	33.8
薬剤師	82	15	95.3
保健師	0	0	0
助産師	57	1	57.7
看護師	1193	28	1211
准看護師	1	0	1
歯科衛生士	7	0	7
管理栄養士	9	0	9

職種	員数
看護補助者	58
理学療法士	38
作業療法士	7
視能訓練士	13
義肢装具士	0
臨床工学士	42
栄養士	0
歯科技工士	1
診療放射線技師	77

職種	員数
診療エックス線技師	0
臨床検査技師	86
衛生検査技師	0
その他	0
あん摩マッサージ指圧師	3
医療社会事業従事者	12
その他の技術員	101
事務職員	340
その他の職員	15

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	127	眼科専門医	13
外科専門医	121	耳鼻咽喉科専門医	11
精神科専門医	17	放射線科専門医	25
小児科専門医	46	脳神経外科専門医	23
皮膚科専門医	12	整形外科専門医	49
泌尿器科専門医	13	麻酔科専門医	31
産婦人科専門医	25	救急科専門医	12
		合計	525

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (丸山 彰一) 任命年月日 令和 6 年 4 月 1 日

平成31年4月から、患者安全推進委員会の構成員を務めている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	797.6 人	7.5 人	805.1 人
1日当たり平均外来患者数	2020.4 人	95.7 人	2116.1 人
1日当たり平均調剤数	840.6		剤
必要医師数	201		人
必要歯科医師数	6		人
必要薬剤師数	27		人
必要(准)看護師数	474		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	1179 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	52 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 535 m ²		病床数	32 床		
	[移動式の場合] 台数 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 54 m ²					
	[共用室の場合] 共用する室名		薬歴管理室、高度医療薬剤支援室			
化学検査室	559 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫自動分析装置		
細菌検査室	128 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	バクテアラート3D、マイクロスキャン		
病理検査室	341 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	検体検査装置クリオスタット、自動脱水包埋装置		
病理解剖室	66 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、クリーンベンチ、臓器撮影台		
研究室	142 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	次世代シーケンサー、質量分析装置		
講義室	55 m ²	鉄筋コンクリート	室数 1 室	収容定員 35 人		
図書室	41 m ²	鉄筋コンクリート	室数 1 室	蔵書数 10000 冊程度		

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	74.0	%	逆紹介率	75.5	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		16983 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		17839 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		516 人		
	D: 初診の患者の数		23636 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
柵木 充明	愛知県医師会 会長	○	愛知県医師会会長を務めており、医療安全に精通しているため。	無	1
長谷川 潤	AOI名古屋病院 病院長		AOI名古屋病院 病院長を務めており、医療安全に精通しているため。	有	1
長谷川 ふき子	成田・長谷川法律事務所 弁護士		医療安全管理を得意とする弁護士であり、法律に関する高い識見を有しているため。	無	1
松下 敏幸	全国健康保険協会 愛知支部 支部長		全国健康保険協会愛知支部長を務めており、医療を受ける者として、医療に係る高い見識を有しているため。	無	2
矢野 昌浩	名古屋大学 副総長		総長が指名する理事・副総長	有	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本院ホームページ上に公表。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	76人
子宮内膜受容能検査2	1人
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	5人
先進医療の種類の合計数	3
取り扱い患者数の合計(人)	82人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	7人
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法	0人
ネシツムマブ静脈内投与療法 切除が不可能なEGFR遺伝子増幅陽性固形がん(食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。)	0人
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	3人
イマチニブ経口投与及びペムブロリズマブ静脈内投与の併用療法 進行期悪性黒色腫(KIT遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	8人
生体肝移植術 適応症 切除が不可能な転移性肝がん	0人
タミバロテン内服投与及びペムブロリズマブ静脈内投与の併用療法	6人
自家濃縮骨髄液局所注入療法	2人
先進医療の種類の合計数	10
取扱い患者数の合計(人)	26人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
取扱い患者数の合計(人)	0

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	87	56	ベーチェット病	70
2	筋萎縮性側索硬化症	99	57	特発性拡張型心筋症	97
3	脊髄性筋萎縮症	5	58	肥大型心筋症	17
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	5	60	再生不良性貧血	37
6	パーキンソン病	235	61	自己免疫性溶血性貧血	5
7	大脳皮質基底核変性症	7	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	50
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	3
10	シャルコー・マリー・トウス病	4	65	原発性免疫不全症候群	32
11	重症筋無力症	104	66	IgA 腎症	73
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	41
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	116	68	黄色靱帯骨化症	9
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	80	69	後縦靱帯骨化症	84
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	2
16	クドウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	131
17	多系統萎縮症	33	72	下垂体性ADH分泌異常症	32
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	80	73	下垂体性TSH分泌亢進症	3
19	ライソゾーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	4	75	クッシング病	23
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	60	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	57
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	131
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	109	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	102
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	85
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	118
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	157
34	神経線維腫症	151	89	リンパ脈管筋腫症	13
35	天疱瘡	13	90	網膜色素変性症	63
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	5
37	膿疱性乾癬(汎発型)	6	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性胆管炎	39
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	33
40	高安動脈炎	40	95	自己免疫性肝炎	35
41	巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	567
42	結節性多発動脈炎	5	97	潰瘍性大腸炎	484
43	顕微鏡的多発血管炎	28	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	3	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	0	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	189	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	105	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	86	106	クリオピリン関連周期熱症候群	2
52	混合性結合組織病	11	107	若年性特発性関節炎	3
53	シェーグレン症候群	34	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	11	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	8	110	ブラウ症候群	0
111	先天性ミオパチー	3	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	167	マルファン症候群	16
113	筋ジストロフィー	18	168	エーラス・ダンロス症候群	6
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	169	メンケス病	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
116	アトピー性脊髄炎	0	171	ウィルソン病	5
117	脊髄空洞症	7	172	低ホスファターゼ症	1
118	脊髄髄膜瘤	0	173	VATER症候群	0
119	アイザックス症候群	0	174	那須・ハコラ病	0

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

120	遺伝性ジストニア	1	175	ウィーバー症候群	0
121	神経フェリチン症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	177	ジュベール症候群関連疾患	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	180	ATR-X症候群	0
126	ペリー症候群	0	181	クルーゾン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	182	アペール症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	2	183	ファイファー症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリス症候群	0
131	アレキサンダー病	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	187	歌舞伎症候群	0
133	メビウス症候群	0	188	多脾症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	189	無脾症候群	1
135	アイカルディ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	0	191	ウェルナー症候群	3
137	限局性皮質異形成	0	192	コケイン症候群	0
138	神経細胞移動異常症	1	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	1	194	ソトス症候群	0
140	ドラベ症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	196	ヤング・シンブソン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	198	4p欠失症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	199	5p欠失症候群	0
145	ウエスト症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
151	ラスムッセン脳炎	0	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	208	修正大血管転位症	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	209	完全大血管転位症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	0
156	レット症候群	0	211	左心低形成症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	212	三尖弁閉鎖症	0
158	結節性硬化症	8	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
159	色素性乾皮症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
160	先天性魚鱗癬	6	215	ファロー四徴症	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	216	両大血管右室起始症	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	13	217	エプスタイン病	1
163	特発性後天性全身性無汗症	0	218	アルポート症候群	1
164	眼皮膚白皮症	0	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	220	急速進行性糸球体腎炎	9

221	抗糸球体基底膜腎炎	1	276	軟骨無形成症	5
222	一次性ネフローゼ症候群	102	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
224	紫斑病性腎炎	5	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
225	先天性腎性尿崩症	2	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
227	オスラー病	2	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
228	閉塞性細気管支炎	0	283	後天性赤芽球癆	2
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1
230	肺胞低換気症候群	0	285	ファンconi貧血	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
232	カーニー複合	0	287	エプスタイン症候群	1
233	ウォルフラム症候群	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	9
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

235	副甲状腺機能低下症	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	292	総排泄腔外反症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	11	293	総排泄腔遺残	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
240	フェニルケトン尿症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
241	高チロシン血症1型	0	296	胆道閉鎖症	19
242	高チロシン血症2型	0	297	アラジール症候群	0
243	高チロシン血症3型	0	298	遺伝性膵炎	1
244	メープルシロップ尿症	0	299	嚢胞性線維症	0
245	プロピオン酸血症	0	300	IgG4関連疾患	8
246	メチルマロン酸血症	0	301	黄斑ジストロフィー	3
247	イソ吉草酸血症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
249	グルタル酸血症1型	0	304	若年発症型両側性感音難聴	2
250	グルタル酸血症2型	0	305	遅発性内リンパ水腫	1
251	尿素サイクル異常症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	9
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	307	カナバン病	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	308	進行性白質脳症	0
254	ポルフィリン症	1	309	進行性ミオクロームステんかん	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	310	先天異常症候群	0
256	筋型糖原病	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
257	肝型糖原病	2	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
260	シトステロール血症	1	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／L MX1B関連腎症	0
261	タンジール病	0	316	カルニチン回路異常症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	317	三頭酵素欠損症	0
263	脳髄黄色腫症	0	318	シトリン欠損症	0
264	無βリポタンパク血症	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
265	脂肪萎縮症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
266	家族性地中海熱	12	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
267	高IgD症候群	0	322	βーケトチオラーゼ欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	323	芳香族Lーアミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
271	強直性脊椎炎	28	326	大理石骨病	2
272	進行性骨化性線維異形成症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	9
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	2	328	前眼部形成異常	1
274	骨形成不全症	1	329	無虹彩症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0

331	特発性多中心性キャッスルマン病	12
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0
336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
337	ホモシスチン尿症	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
339	MECP2重複症候群	0
340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
341	TRPV4異常症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	147
合計患者数(人)	4779

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料	・感染対策向上加算1
一般病棟7対1入院基本料	・患者サポート体制充実加算
精神病棟7対1入院基本料	・重症患者初期支援充実加算
・医療DX推進体制整備加算	・報告書管理体制加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療感染対策加算3	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・超急性期脳卒中加算	・術後疼痛管理チーム加算
・診療録管理体制加算1	・後発医薬品使用体制加算3
・医師事務作業補助体制加算2	・病棟薬剤業務実施加算1
・急性期看護補助体制加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・看護職員夜間配置加算	・データ提出加算
・療養環境加算	・入退院支援加算
・重症者等療養環境特別加算	・認知症ケア加算
・無菌治療室管理加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・無菌治療室管理加算2	・精神疾患診療体制加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・精神科急性期医師配置加算
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・地域医療体制確保加算
・緩和ケア診療加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・小児緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・摂食障害入院医療管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料2
・医療安全対策加算1	・小児入院医療管理料4

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ウイルス疾患指導料	・耳管用補綴材挿入術
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・糖尿病合併症管理料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	・顎関節人工関節全置換術(歯科)
・がん患者指導管理料イ	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・がん患者指導管理料ロ	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・がん患者指導管理料ハ	・乳房切除術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・がん患者指導管理料ニ	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・外来緩和ケア管理料	・乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・糖尿病透析予防指導管理料	・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・小児運動器疾患指導管理料	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腎代替療法指導管理料	・気管支バルブ留置術
・一般不妊治療管理料	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・生殖補助医療管理料2	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・二次性骨折予防継続管理料1	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・二次性骨折予防継続管理料3	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・下肢創傷処置管理料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・同種死体肺移植術
・院内トリアージ実施料	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	・内視鏡下筋層切開術

・外来放射線照射診療料	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
・外来腫瘍化学療法診療料1	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・連携充実加算	・胸腔鏡下弁形成術
・外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	・胸腔鏡下弁置換術
・がん治療連携計画策定料	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・経皮的僧帽弁クリップ術
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・こころの連携指導料(Ⅱ)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・プログラム医療機器等指導管理料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・プログラム医療機器等指導管理料	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・薬剤管理指導料	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・医療機器安全管理料1	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・医療機器安全管理料2	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
・医療機器安全管理料(歯科)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	・補助人工心臓
・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・遺伝学的検査の注2に規定する施設基準	・同種心移植術
・染色体検査の注2に規定する基準	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・骨髓微小残存病変量測定	・経皮的下肢動脈形成術
・BRCA1／2遺伝子検査	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・がんゲノムプロファイリング検査	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・先天性代謝異常症検査	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・腹腔鏡下胃縮小術
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術

・国際標準検査管理加算	・腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・遺伝カウンセリング加算	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・体外衝撃波胆石破碎術
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・腹腔鏡下肝切除術
・胎児心エコー法	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下胆道閉鎖症手術
・人工膵臓検査、人工膵臓療法	・生体部分肝移植術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・同種死体肝移植術
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・脳波検査判断料1	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・神経学的検査	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・黄斑局所網膜電図	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・全視野精密網膜電図	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・ロービジョン検査判断料	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内服・点滴誘発試験	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経気管支凍結生検法	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・睡眠時歯科筋電図検査	・同種死体腎移植術
・画像診断管理加算4	・生体腎移植術
・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・CT撮影及びMRI撮影	・尿道狭窄グラフト再建術
・冠動脈CT撮影加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・精巣温存手術
・心臓MRI撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・乳房MRI撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

・小児鎮静下MRI撮影加算	・女子外性器悪性腫瘍手術センチネルリンパ節生検加算
・頭部MRI撮影加算	・腹腔鏡下仙骨脛固定術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・無菌製剤処理料	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・がん患者リハビリテーション料	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・リンパ浮腫複合的治療料	・体外式膜型人工肺管理料
・歯科口腔リハビリテーション料2	・尿道形成手術(前部尿道)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・通院・在宅精神療法の注4に規定する児童思春期精神科専門管理加算	・尿道下裂形成手術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・通院・在宅精神療法の注8に規定する療養生活継続支援加算	・陰茎形成術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・認知療法・認知行動療法1	・陰茎全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・精神科作業療法	・精巣摘出術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・会陰形成手術(筋層に及ばないもの)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)

・医療保護入院等診療料	・造脛術、脛閉鎖症術(遊離植皮によるもの、腸管形成によるもの、筋皮弁移植によるもの)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・子宮全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・多血小板血漿処置	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(性同一性障害患者に対して行う場合に限る。)
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・ストーマ合併症加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・手術用顕微鏡加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・口腔粘膜処置	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・輸血管管理料 I
・歯科技工加算1及び2	・コーディネート体制充実加算
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・自己生体組織接着剤作成術
・自家脂肪注入	・同種クリオプレシピテート作製術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算

・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・歯根端切除手術の注3
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・レーザー機器加算
・人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・椎間板内酵素注入療法	・周術期薬剤管理加算
・腫瘍脊椎骨全摘術	・放射線治療専任加算
・緊急穿頭血腫除去術	・外来放射線治療加算
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・高エネルギー放射線治療
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・一回線量増加加算
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・定位放射線治療
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・角結膜悪性腫瘍切除術	・画像誘導密封小線源治療加算

・羊膜移植術	・デジタル病理画像による病理診断
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・病理診断管理加算2
・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)	・看護職員処遇改善評価料59
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
・網膜再建術	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・入院ベースアップ評価料79
・人工中耳植込術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
	20	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度		
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	17
	剖検率(%)	4.9

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
IDH変異神経膠腫における多様なサブクローンからの治療抵抗性の識別と進化系統	青木 恒介	脳神経外科	821,876	補委	独立行政法人日本学術振興会
機械学習を用いた統合失調症の運転適性判断指標の抽出	岩本 邦弘	精神医学	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
治療抵抗性致死的不整脈に対する定位放射線治療の研究	川村 麻里子	量子医学(量子介入治療学)	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
線維芽細胞の表現型を左右するmeflinは特発性肺線維症の治療標的になりえるか？	安藤 啓	呼吸器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞老化が引き起こす疾患の病態解明と細胞外小胞に含まれるmiRNAの予防効果	渡邊 純奈	歯科口腔外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腹水中ペプチド・デグラドミクスに注目した進行卵巣癌に対する腹腔内環境戦略の創生	梶山 広明	産婦人科学	2,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎児に対する免疫学的寛容を誘導するマクロファージの同定	大木 拓究人	手の外科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精神疾患モデルマウスに特徴的な日周期性活動量・体温変化	森 大輔	精神疾患病態解明学(脳とこころの研究センター)	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
RNA結合蛋白質FUSの機能異常に伴う筋萎縮側索硬化症のシナプス病態解明研究	横井 聡	神経内科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工知能を用いたバーチャル高分解能CTによる肺癌の過去・未来画像シミュレーション	岩野 信吾	量子医学	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非可逆的電気穿孔法の出力設定最適化と心室性不整脈治療への応用に関する検討	因田 恭也	循環器内科学	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いたリンパ浮腫に対するリンパ管新生療法の開発研究	清水 優樹	循環器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
補体関連蛋白の遺伝子変異と自己抗体の存在に着目したC3腎症の病因・病態解明	水野 正司	腎不全システム治療学寄附講座	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性腎臓病患者における生体内細菌叢をターゲットにした新規抗老化療法の開発	加藤 佐和子	腎臓内科(健康医療ライフデザイン統合研究教育セン	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クローン病術後抗TNF α 抗体維持療法の有効性と安全性に関する検討	中山 吾郎	消化器外科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
感染を予防・制御する抗菌性ポリマー人工血管の創出	六鹿 雅登	心臓外科学	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
もやもや病脳動脈COL15A1発現低下のエピゲノム制御機構と病態生理の解明	荒木 芳生	脳神経外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児大腿骨頭壊死症の線維化を中心とした病態解明と新規骨再生促進薬の開発	三島 健一	整形外科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍特異抗体を用いた蛍光イメージングのリンパ節転移への治療応用	西尾 直樹	耳鼻咽喉科学	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クローン病の腸管線維化と粘膜低酸素領域との関連性の免疫学的解明	村手 健太郎	消化器内科(救急診療等運営本部)	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
先天性心疾患における血流解析と蛋白解析による周術期管理の開発	秋山 浩一	麻酔・蘇生医学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子治療に向けた網膜色素変性の網膜微細形態評価と機能評価	川野 健一	眼科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞老化と脂肪変性・線維化に着目した後天性眼瞼下垂の原因別病態解明	清水 英幸	眼科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プラズマ活性化乳酸リンゲル液による口腔がん細胞特異的殺傷作用のオミクス解析	佐藤 康太郎	顎顔面外科学	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
運動ニューロン疾患におけるニューロン・オリゴデンドロサイト病態の時間連続性の解明	勝野 雅央	神経内科学	15,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代遺伝子発現解析法に立脚したシーケンスレスながん分子サブタイプ規定法の開発	赤松 秀輔	泌尿器科学	11,830,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺神経内分泌腫瘍に対する腫瘍血管新生を標的とした治療の低侵襲効果予測法の確立	森瀬 昌宏	呼吸器内科学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精神科リエゾン医療における口腔慢性疼痛患者のSNRI治療抵抗性要因の解明に関する研究	木村 宏之	精神医学	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的プロテオーム解析に基づいた肺高血圧症病変における新規治療ターゲットの検証	加藤 太一	小児科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸動脈波の微小栓子シグナル信号解析を用いた、有効で安全な次世代不整脈治療法の確立	柳澤 哲	循環器内科学(先進循環器寄附講座)	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞濾液を用いた心血管病の治療開発	柴田 玲	循環器内科学(先進循環器寄附講座)	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚筋炎の抗OJ抗体が認識する新規エピトープとウイルス蛋白の同源性探索	室 慶直	皮膚科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト多能性幹細胞から下垂体前葉の幹細胞作出とその性質検討	須賀 英隆	糖尿病・内分泌内科学	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆道癌肝切除における術後経過の視覚的解析手法と経過不良群予測システムの開発	江畑 智希	腫瘍外科学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フォトグラメトリーを用いた4D手術記録システムの開発と教育・実臨床への応用	岩味 健一郎	脳神経外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NF2遺伝子メカノセンサー機構がもたらす頭蓋底部髄膜腫の進展様式の解明	棚橋 邦明	脳神経外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
整形外科領域の新規治療に向けたdrug repositioning戦略	今釜 史郎	整形外科学	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多層的ゲノム解析を用いた絨毛性腫瘍の悪性化因子同定による新規治療開発	新美 薫	産婦人科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早発卵巣不全予測マーカー測定法開発と妊孕性温存療法への展開	大須賀 智子	産婦人科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠時異常行動の簡便な検出法の開発	宮田 聖子	精神医学(精神医療学寄附講座)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者の有害イベントの予測因子としての膝伸展筋力の有用性の検討	山田 洋介	老年内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

Filamin-Aのメカノトランスダクションに着目したタウオパチーの病態解明	辻河 高陽	脳神経内科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経線維腫症1型における遺伝型と精神医学的表現型の解析－早期発見と介入を目指して	名和 佳弘	精神医学(障害児(者) 寄附講座)	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臨床現場即時型検査を用いた重症皮膚軟部組織感染症初期治療の新たな戦略	村瀬 千晶	皮膚科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌細胞由来細胞外小胞が誘導する癌微小環境の腸管神経リプログラミング機構の解明	砂川 真輝	腫瘍外科学(外科周術期～寄附講座)	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな麻痺治療技術開発における再支配筋の筋肥大実証と変性疾患への適応拡大に向けて	徳武 克浩	手の外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
空間的トランスクリプトーム解析による卵巣明細胞がんの治療抵抗性微小環境の解明	吉田 康将	産科婦人科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
異種移植による新しい麻痺治療法開発のための末梢神経内の免疫機構の解明	佐伯 総太	手の外科学	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己修復性ハイドロゲルを用いた新しい消化器組織被覆補強材の開発	神田 光郎	消化器外科学	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フレイルインデックス開発のためのコホート研究	梅垣 宏行	地域在宅医療学・老年科学	4,160,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞接着因子を標的とするデュアル修飾型アンチセンス核酸を用いた革新的癌治療薬創出	小寺 泰弘	消化器外科	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬による下垂体機能障害の発症予測システムの確立	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科学	4,290,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症病態のトランスクリプトーム解析による創薬基盤形成	松田 直之	救急・集中治療医学	8,580,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マルチモーダルVR技術を利用した外科実技教育DX	藤原 道隆	附属メディカルxRセンター	7,280,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AI画像解析と鉗子の位置情報を利用した食道閉鎖症手術ナビゲーションシステムの開発	内田 広夫	小児外科学	5,980,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規病態:HTLV-1陽性HRS細胞を伴う成人T細胞白血病/リンパ腫の統合的解析	加留部 謙之輔	臓器病態診断学	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
分子標的薬による急性骨髄性白血病クローンの選択・耐性に関わる分子異常の解明と克服	清井 仁	血液・腫瘍内科学	5,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腹腔内エコシステムに基軸をおいた難治性卵巣癌に対する新規癌間質標的治療戦略の創生	梶山 広明	産婦人科学	6,110,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
革新的なゲノム編集遺伝子治療実現のための包括的基盤形成	西口 康二	眼科学	5,590,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自閉スペクトラム症・知的能力障害を主とする神経発達症のゲノム解析による病態解明	古川 佐和子	精神医学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣明細胞がんにおける新規治療ターゲット分子の探索	稲見 恵理	産婦人科学	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
運動制御性マイオカインネットワーク機構の解明と健康寿命延伸への応用	大内 乗有	循環器内科学(分子循環器寄附講座)	14,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内リンパ水腫診断用MRI画像の客観的撮像条件評価システムの構築	加藤 裕	医学部附属病院医療技術部放射線部門	470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
転写因子による効率的な肺上皮細胞直接誘導法の開発	石井 誠	呼吸器内科学	5,590,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性腫瘍である叢状神経線維腫の病態解明と微小環境に着目した新規治療法開発	西田 佳弘	整形外科(リハビリテーション科)	3,510,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
孤発性ALS病態を反映した動物モデル作成とTDP-43凝集抑制療法の開発	井口 洋平	脳神経内科	7,410,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポリジェニックスコアを用いた精神疾患診断・症候分類法の開発	池田 匡志	精神医学	7,020,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非造影MRIによる乳がん検出・診断のためのバーチャル顕微鏡の創出	飯間 麻美	新規低侵襲～寄附講座	6,630,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心臓リンパ管系の機能解析とリンパ管再生による心不全治療に関する展開研究	室原 豊明	循環器内科学	8,840,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規肺線維化防御性細胞集団の起源と細胞運命および抗線維化機序の解明	阪本 考司	呼吸器内科	8,190,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
表皮脂質異常・バリア障害・炎症、三位一体の魚鱗癬発症機序解明と現実的治療法の開拓	秋山 真志	皮膚科学	6,890,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己炎症性角化症の未知の炎症メカニズムの解析と治療法の確立	武市 拓也	皮膚科学	6,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌転移の分子病態解明にもとづいたデュアル修飾型アンチセンス核酸医薬創出研究	神田 光郎	消化器外科学	3,770,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺の脱気変形と手術変形に追従する術中マーカーレスマーキングと新規手術ガイドの創出	芳川 豊史	呼吸器外科学	8,840,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外小胞トランスレーショナル解析による新規卵巣がん治療戦略開発	横井 暁	産科婦人科	6,240,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
前庭機能低下に対する新規改善療法の開発	曾根 三千彦	耳鼻咽喉科学	3,770,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経芽腫に対して長期の調整可能な抗腫瘍効果を発揮する遺伝子改変T細胞の開発	島崎 紀子	小児がん治療センター(小児科)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
デジタルマーカーとfMRIによる振戦疾患の病態解明と集束超音波の治療効果判定	坪井 崇	脳神経内科(卒キヤリ)	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗炎症性アディポカインを標的とした老化関連疾患制御機構の解明と治療法の確立	大橋 浩二	循環器内科学(分子循環器寄附講座)	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Liquid biopsyを用いた炎症性腸疾患の早期診断法開発	山村 健史	消化器内科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
画像から検討した多系統萎縮症の臨床的多様性	原 一洋	脳神経内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脈波変動解析と機械学習によるパーキンソン病の自律神経機能の定量解析	鈴木 将史	脳神経内科(検査部)	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臨床研究のDXに即応した球脊髄性筋萎縮症レジストリの構築と病態マーカーの同定	橋詰 淳	臨床研究教育学(神経内科学)	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポリジェニックリスクスコアを活用した自閉スペクトラム症臨床表現型予測法の開発	木村 大樹	精神医学	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Peri-Sinus Lymphatic SpaceのMRI解析を用いた頸椎症と頭蓋内疾患との病態関連解明	中道 玲瑛	放射線科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

MRIでの大脳白質病変の分類と評価: Interstitial fluidopathyとしての白質病変の理解	田岡 俊昭	量子医学	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非造影MRIによる組織学的構築に基づいた背景乳腺の新分類と高解像度撮像法の開発	佐竹 弘子	放射線科(放射線部)	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
機能的超音波イメージングを用いた発達期の脳内ネットワークの解明	城所 博之	小児科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ウェスト症候群発症時脳波の深層学習による神経学的予後、MRI脳成熟の予測法の開発	夏目 淳	小児科学(障害児(者) 寄附講座)	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NUDT遺伝子に着目した先天性CMV感染症に対するオーダーメイド治療の開発	鳥居 ゆか	小児科学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規神経芽腫マーカー(GTN/VLA)の有効性(診断率・悪性度予測)検証と病態解明	檜 顕成	小児外科学	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膝腫瘍内pH調整による間質変容誘導療法の開発	飯田 忠	光学医療診療部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新たな炎症性腸疾患動物モデルの解析による、その病態解明と治療法の開発	前田 啓子	消化器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
潰瘍性大腸炎の粘膜炎症制御における神経伝達物質としてのソマトスタチンの役割	中村 正直	光学医療診療部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト心筋疾患におけるクローン性造血に着目した新規診断・治療法の開発基盤研究	奥村 貴裕	循環器内科(重症心不全治療センター)	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
上気道炎症複合的プロファイルと下気道疾患・好塩基球の役割とtreatable traitsの探索	若原 恵子	呼吸器内科学	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症呼吸器感染症における治療不応・2次感染克服に向けた宿主免疫応答の解明	進藤 有一郎	呼吸器内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エネルギー恒常性維持を司る膜輸送複合体のCD147/Basiginによる機能的制御と治療応用	小杉 智規	腎臓内科学	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
補体H因子遺伝子改変マウスを用いた組織局所産生・細胞内補体の機能解明と治療応用	金 恒秀	腎不全システム治療学寄附講座	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトIPS細胞由来間葉系幹細胞を用いた、新規腎疾患治療法 の臨床応用を目指す研究	田中 章仁	腎臓内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血友病保因者診断の検査法確立と体制構築に向けて	鈴木 伸明	輸血部(検査部)	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
視床下部バソプレシニューロンのクラスター解析および新規マーカーの探索	萩原 大輔	糖尿病・内分泌内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆管癌におけるRNA-seq解析に基づく分子サブタイプの解明と臨床的有用性の検討	尾上 俊介	消化器・腫瘍外科(肝胆臓)	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
瘤壁虚血がステントグラフト後大動脈瘤径拡大に及ぼす影響の解明	池田 脩太	血管外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌由来エクソソームの糖鎖解析によるリキッドバイオブシー開発と個別化治療への応用	加藤 毅人	呼吸器外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん免疫応答を保つ麻酔を目指して ー大腸がんモデルマウスの検討ー	小西 裕子	麻酔・蘇生医学(周術期寄附講座)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術後せん妄病因仮説に則ったモデル動物の確立と予防・治療薬の探索	森 厚詞	麻酔・蘇生医学(周術期寄附講座)	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
医師の判断と協調する画像診断アルゴリズムの開発	杉浦 洋貴	手の外科(救急診療等運営本部)	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性疼痛に特異的な脳内神経回路の解析による病態解明と治療効果予測	種井 隆文	脳神経外科学	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腿骨頭壊死症と老化関連因子の関連と壊死とMSC-CM投与の関連性	小澤 悠人	整形外科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒアルロン酸合成酵素の遺伝子導入による新たな変形性膝関節症の治療に向けて	石塚 真哉	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
inflammagingの制御を介した新規変形性関節症治療法の探索	寺部 健哉	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腿骨頭壊死に対するSclerostin inhibitorによる骨再生の検討	大澤 郁介	整形外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊椎関節炎の付着部骨新生における細胞内エネルギー代謝の機能解明	浅井 秀司	整形外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フェロトーシスを標的とした血友病性関節症の新規治療法の探索	大野 祐輔	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フレイルにおける血中タンパク質動態の解明とフレイルリスク予測への応用	中島 宏彰	整形外科科学(リウマチ学)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腔内細菌由来エクソソームに着目した卵巣がん発生初期進展機構の解明	稲見 恵理	産婦人科学	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣癌関連好中球の同定と機能解析及び新規治療標的としての検討	小屋 美博	産婦人科学	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的遺伝子スクリーニングに立脚した奇形腫悪性転化に対する新規治療の開発と実証	玉内 学志	産科婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規細胞療法CAR-DCの頭頸部癌に対する抗腫瘍効果機序解析	向山 宣昭	耳鼻いんこう科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網膜色素変性治療のためのゲノム編集遺伝子治療ベクタープラットフォームの開発	藤田 幸輔	眼科学	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プラズマ活性溶液による難治性潰瘍治療の検討	樋口 慎一	形成外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エピゲノム異常を指標とした新たな口腔がんリスク診断法の開発と臨床応用	市村 典久	顎顔面外科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
デザイナー歯髄幹細胞を用いた新規抗老化細胞医薬の開発	酒井 陽	歯科口腔外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AIによるフレイルの早期予兆の検出と歩行機能改善を目指すスマートインソールの開発	山賀 崇	人間拡張・手の外科学	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自発運動が肥満における高脂肪食への食嗜好を抑制する機序の解明	杉山 摩利子	糖尿病・内分泌内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
デジタルデバイスを活用した身体活動と睡眠状態のモニタリングによるフレイル予防研究	井上 愛子	老年内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児外科手術動画の機械学習とAI画像解析によるリアルタイム手術手技評価法の開発	安井 昭洋	小児外科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
バイオマスからの有用化学物質産生に資する出芽酵母多種類遺伝子発現系の構築	松崎 哲郎	薬剤部	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

鶏卵漿尿膜(CAM)アバターで実現する希少がん個別化医療	馬場 泰輔	消化器外科一	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム解析を基盤とした統合失調症モデルマウスを用いた体性感覚異常のメカニズム解明	田中 里奈子	薬剤部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SGLT2阻害薬使用下におけるHbA1c修飾の実態解明と最適な血糖評価法の確立	尾上 剛史	糖尿病・内分泌内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
筋質劣化に関与する因子とその分子機構の解明	水野 隆文	整形外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー型認知症プレクリニカル期における神経回路の加齢性変化の解明	小倉 礼	脳神経内科(脳とこころの研究センター)	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ポリグルタミン病の超早期病態における非細胞自律性メカニズムの解明	蛭薙 智紀	脳神経内科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多層性オミクス解析による孤発性封入体筋炎の多様性の解明	村上 あゆ香	脳神経内科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮頸癌に対する頻回MRI撮像による治療・腫瘍・患者因子の解明	大家 祐実	放射線科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工知能を用いた放射線画像の撮像の個別化に関する検討	伊藤 倫太郎	革新的生体可視化技術開発産学協同研究講座	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規尿中バイオマーカーを用いた神経芽腫のスクリーニングと悪性度予測法の開発	天野 日出	小児外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クローン性造血が心血管病を修飾する機構の解明	由良 義充	循環器内科(救急診療等運営本部)	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間質性肺炎合併早期肺癌への経気管支凍結療法を用いた新規内視鏡治療の基礎的検討	伊藤 貴康	呼吸器内科(救急診療等運営本部)	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自由食＋長時間血液透析が末期腎不全における免疫学的変調を是正するメカニズムの解明	岡崎 雅樹	腎臓内科学(臨床研究教育学)	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテオミクスによる免疫チェックポイント阻害薬関連抗体同定とバイオマーカー確立	山下 雄太	皮膚科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CARD14関連毛孔性紅色粒糠疹と乾癬の病態メカニズム解明への挑戦	吉川 剛典	皮膚科	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
包括的凝固線溶能評価による大動脈疾患合併慢性播種性血管内凝固症候群の病態解明	鈴木 奈瑠子	輸血部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性骨髄不全症候群におけるクローン性造血のサーベイランス	若松 学	小児科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児再生不良性貧血における自己抗体の探索	成田 幸太郎	小児科(病院戦略室)	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小胞体内凝集体の形成および分解に関わる分子の探索	川口 頌平	糖尿病・内分泌内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
バソプレシンニューロンのオートファジー誘導における小胞体膜の役割の解明	宮田 崇	糖尿病・内分泌内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
FTCDの大腸癌腹膜播種予測バイオマーカーおよび治療ターゲットとしての有用性の検討	梅田 晋一	消化器・腫瘍外科(消化管)	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトにおけるwind-up現象の定量化と機序の解明	谷口 智哉	麻酔科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術後嘔気嘔吐を高い精度で予測する	横山 達郎	麻酔・蘇生医学(周術期寄附講座)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児における新たな非侵襲的な心拍出量モニタリングの確立に挑戦する	高倉 将司	麻酔科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体外式膜型人工肺における個別化精密抗凝固管理システムの構築	風間 信吾	救急科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体適合性と弾性に優れた新たな人工靱帯の開発	村山 敦彦	四肢外傷学寄附講座	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞老化に着目した子宮内膜症の病態解明と新規治療の確立	曾根原 玲菜	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内細菌叢に着目した子宮内膜症の病態機能解析と新規治療法の創出	村岡 彩子	総合周産期母子医療センター(生殖)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
既存薬リポジショニングによる難治性卵巣癌腹膜播種を克服する中皮細胞標的治療の開発	吉原 雅人	産婦人科学	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高精度脂質代謝イメージングを用いた進行卵巣癌の病態解析と予後予測モデルの構築	伊吉 祥平	産科婦人科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内リンパ水腫関連疾患に対するMRIを用いた内耳機能評価および治療効果予測手法の開発	小林 万純	耳鼻いんこう科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂質ナノ粒子を用いた網膜遺伝性疾患の治療	平澤 輝一	眼科学	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
O-グルコース糖鎖キシロシル化による口腔癌におけるNotch3シグナルの制御機構の解明	浦田 悠輔	歯科口腔外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
患者協働による安全対策実装の要因特定と戦略策定の研究	栗原 健	患者安全推進部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変形性顎関節症の病態および新たな疼痛発症メカニズムの解明	佐世 暁	歯科口腔外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
入院期のフレイル進行予防を目的とした身体機能管理システムの構築と有効性の検証	田中 伸弥	医学部附属病院医療技術部リハビリ部門	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
触覚フィードバック付き単一細胞手術用ロボットの開発	橋川 和信	形成外科学	5,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経変性疾患に対する先駆的核酸創薬研究	佐橋 健太郎	神経内科学	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵IPMNIにおけるCFTR遺伝子変異と悪性化の関係解明および治療応用	川嶋 啓揮	消化器内科学	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性巣状分節性糸球体硬化症の腎糸球体蛋白透過性亢進因子の分子同定	丸山 彰一	腎臓内科学	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多層オミクス解析による卵巣がん腹腔内エクソソーム空間的多様性の探求	梶山 広明	産婦人科学	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
単一細胞空間遺伝子発現解析を用いた固形癌に対するゲノム病理学的分化度分類の構築	赤松 秀輔	泌尿器科学	4,160,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AICT画像解析による腸管壊死/腸管穿孔補助診断アルゴリズム開発への挑戦	内田 広夫	小児外科学	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マルチオミクス解析を用いたIgA腎症の治療法及び応答性に関わる免疫制御機構の解明	古志 衣里	腎臓内科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

炎症性眼疾患の新規バイオマーカー開発を目指したウイルスと眼疾患との関連の検討	佐治木 愛	眼科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
出生前ステロイドの胎児脳プログラミング作用を軽減するための、新規治療薬の開発	夫馬 和也	産科婦人科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆道がんにおけるがん免疫微小環境の解明と新規治療開発	寺崎 史浩	腫瘍外科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精神疾患における視聴覚統合様式のメカニズムの探索	近藤 怜苑	精神医学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フレイルにおける血中タンパク質動態の解明とフレイルリスク予測への応用	中島 宏彰	整形外科学(リウマチ学)	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
原発不明がん患者および家族への支援プログラムの開発	石田 京子	高度実践看護開発学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日本人に特徴的な白血病原性融合遺伝子の白血病発症機構の解明	早川 文彦	血液内科	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテオームを中心としたトランスオミクス解析による生活習慣病発症機構の解明	中枋 昌弘	先端医療開発部	4,550,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ジストロフィン異常に伴う成人期の拡張型心筋症の病態・治療法の解明	近藤 徹	循環器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
地方自治体がポピュレーションストラテジーとして行う減塩対策事業の費用対効果の評価	佐藤 寿一	総合診療科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腹腔洗浄液の高深度プロテオーム解析による膵癌腹膜播種再発予測法の開発	川勝 章司	消化器・腫瘍外科(肝胆膵)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アルコール性肝障害におけるUBXD8機能の解明	今井 則博	消化器内科学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心脾連関に注目した新しい心不全治療法の開発	平岩 宏章	循環器内科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心臓外科手術における揮発性麻酔薬による予後改善効果の研究	田村 高廣	麻酔・蘇生医学	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性肝不全の病態解明と遺伝子治療を含めた新規創薬イノベーション	田中 卓	救急・内科系集中治療部	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
施設居住高齢者のフレイルに関する研究	坂井 智達	老年内科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
DNA付加体の同定による膵癌発癌メカニズムの解明	服部 憲史	消化器・腫瘍外科(消化管)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢がん患者における免疫チェックポイント阻害薬のバイオマーカー探索	下方 智也	化学療法部(がんプロ)	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中脳から捉える22q11.2欠失症候群患者の脳内分子・細胞病態	有岡 祐子	精神疾患病態解明学(先端医療開発部)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
稀なゲノム変異に着目した統合失調症脳組織表現型の神経病理解析	鳥居 洋太	精神科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
深層学習を用いた脳深部の高精細MR画像 ～7テスラ超高磁場MR画像に迫る～	中根 俊樹	放射線科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シングルセル遺伝子発現解析を用いた小児骨髄不全症の病態解明	成田 敦	小児科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタゲノム解析とオミクス解析を用いたFontan術後蛋白漏出性胃腸症の病態解明	郷 清貴	小児科(小児循環器センター)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺細動脈内皮細胞で特徴的変化を示す分子に着目した肺高血圧症への新規治療戦略の開発	加藤 勝洋	循環器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬による自己抗体関連有害事象の検証を目的とした研究	森本 竜太	循環器内科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性ネフローゼ症候群のエネルギー代謝動態から迫る新たな治療標的の探索	前田 佳哉輔	腎臓内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
aHUS早期診断及び抗補体薬の適応判断に必要な補体機能検査開発	加藤 規利	腎臓内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性骨髄性白血病で高発現する好中球エラスターゼの機能解明と新規治療開発	石川 裕一	血液・腫瘍内科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CUL5の発現抑制を介したT細胞の活性制御のメカニズム解明とその臨床応用	寺倉 精太郎	血液内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
線溶・抗線溶のバランスを捉える包括的線溶系スクリーニング検査法の開発研究	鈴木 敦夫	医学部附属病院医療技術部臨床検査部門	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CTLA-4およびPD-1阻害による下垂体障害マウスモデルを用いた自己抗原の解明	岩間 信太郎	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆道癌における融合型ノンコーディングRNAの機能解明と臨床応用	國料 俊男	消化器外科一(ゲノム医療センター)	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大動脈ステントグラフト術後タイプ2エンドリークに対する新規診断・治療戦略の開発	杉本 昌之	血管外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大動脈瘤におけるマクロファージAIM炎症機構の解明と治療法の開発	寺澤 幸枝	心臓外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
経カテーテル僧帽弁置換のための安定した経心房中隔アクセス法の確立	徳田 順之	心臓外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
線維芽細胞の多様性理解に基づく肺線維症合併肺癌の病態の解明と治療戦略の探索	仲西 慶太	呼吸器外科	1,141,005	補委	独立行政法人日本学術振興会
ビッグデータと凝固プロファイリングによる敗血症性凝固障害主要メカニズムの解明	春日井 大介	救急科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
塩基性ヘリックスループヘリックス転写機構制御と細胞治療を融合する神経再生治療開発	西村 由介	脳神経先端医療開発学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波関節鏡を併用した次世代型関節鏡ARシステムの開発	山本 美知郎	手の外科学	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
FGFR3インヒビターのマウスモデルへの長期投与と作用機序の検討	松下 雅樹	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AIによる前立腺癌病理情報に基づく遺伝子変異診断法の開発	加藤 真史	泌尿器科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早産児の神経学的予後向上に向けた病態解明～腸脳相関に着目して～	小谷 友美	産婦人科学(総合周産期(生殖))	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
寄生虫感染とシリコンオイル使用眼で観察される網膜障害の原因はフェロトーシスか？	兼子 裕規	眼科学	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
被膜拘縮を抑制するペプチドコーティング乳房インプラントの開発	神戸 未来	形成外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

病院情報システムを活用した臨床試験データ品質管理手法の確立	鉾塚 八千代	先端医療開発部	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高度専門性をもつ医療安全管理者人材養成プログラムの開発と効果測定	平松 真理子	患者安全推進部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精神科診療ガイドラインの利用実態と今後の普及促進に必要な条件に関する研究	小笠原 一能	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
EPAを用いたエキスパート外科医育成のための評価基準の開発	高見 秀樹	消化器外科二	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
せん妄下にみられる各精神症状の要因や予後に関する研究	立花 昌子	精神科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
精神障害の病態としてのヒストンメチル化異常－患者におけるゲノム変異を起点として－	加藤 秀一	親と子どもの心療科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症心臓病態を反映した心循環系副作用リスク評価系の構築	奥村 啓樹	精神疾患病態解明学(薬剤部)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
原発性肺癌の予後予測: 超高精細3D-CTによる腫瘍体積とFDG-PET/CT	神谷 晋一郎	放射線科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝内マクロファージ極性と類洞内皮障害に着目したirAE肝障害の発症機序の解明	伊藤 隆徳	消化器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NASHに対する新規治療の開発	武藤 久哲	消化器内科学	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
冠動脈疾患進展の新規曝露危険因子と好中球を介した機序及び新規予防戦略の探索	田中 哲人	循環器内科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
全ゲノム解析による食道癌の周術期補助療法と早期再発に関する研究	杉田 静紀	消化器・腫瘍外科(肝胆膵)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オリガミ理論に基づいた正確な肺部分切除法の創出	門松 由佳	呼吸器外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳硬膜マクロファージを中心とした新たなせん妄発生機序の解明	佐藤 威仁	麻酔科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変形性関節症の新しい治療－OAモデルのCD44断片化とADAM10に注目して－	鈴木 望人	整形外科(救急診療等運営本部)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Drug repositionを用いたFSHDの新規治療の開発	坂口 健史	整形外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊娠高血圧症候群による児の神経学的後障害の病態解明と先制医療への戦略	牛田 貴文	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
革新的CAR-T細胞療法の開発を目指した腹膜播種免疫抑制機構の解明と克服	芳川 修久	産科婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老化細胞の選択的除去による糖尿病網膜症の予防と早期治療のための薬剤開発	鈴木 文那	眼科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性網膜変性疾患のゲノム医療実現に向けた大規模な病因遺伝子変異探索	小柳 俊人	眼科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
環境負荷に応答した幹細胞が分泌する細胞外小胞による機能的血管網構築と歯周組織再生	坂口 晃平	歯科口腔外科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体内微量体液に対する革新的がん細胞外小胞Heterogeneity解析	横井 暁	産科婦人科	7,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬の副作用早期発見のための指標と安全な診療体制の確立	池末 裕明	薬剤部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
球脊髄性筋萎縮症における超早期バイオマーカーの開発	山田 晋一郎	脳神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳性麻痺に対する脱落乳歯歯髄幹細胞(SHED)を用いた遠隔期細胞療法の開発	鈴木 俊彦	小児科(総合周産期(新生児))	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
チロシン系代謝物マーカーによる神経芽腫MYC遺伝子増幅判別モデルの改良と検証	牧田 智	小児がん治療センター(小児外科)	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎児炎症性反応症候群に伴う臓器障害の病態解明と幹細胞を用いた新規治療法開発	村松 友佳子	小児科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵がんにおける組織採取法の最適化と線維芽細胞の多様性に基づく個別化医療の開発	石川 卓哉	消化器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的遺伝子解析によるirAE肝障害発症メカニズムの探索および治療アルゴリズムの開発	水野 和幸	化学療法部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎所属リンパ節を標的とするAKI-to-CKD transitionの新規治療戦略の構築	佐藤 由香	腎臓内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性リンパ腫のクローン解析による病変形成および治療抵抗性獲得機序の解明	島田 和之	血液内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性急性前骨髄球性白血病の分子病態解明と新規治療標的分子の探索	牛島 洋子	血液内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ECFCにおけるV2 vasopressin receptorの局在・機能解析によるVWF分泌刺激機構の解明	松下 正	輸血部	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
コンプライアンスミスマッチを解消できる人工タンパク質GPG小口径人工血管の開発	吉住 朋	心臓外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血液凝固ポリマー・ペプチド複合体を用いた局所止血材料の開発	尾関 貴啓	心臓外科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オルガノイドモデルを用いた脳腫瘍の悪性転化を誘導する分子メカニズムの解明	大岡 史治	脳神経外科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
グリア性瘢痕を乗り越える胎生期神経の糖鎖環境の解明	大内田 隼	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
下垂体腫瘍に対する新規遺伝子学的診断法の探求－術前計画と術中判断への応用－	竹内 和人	脳神経外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷後の歯髄幹細胞治療に脊髄硬膜外刺激療法を組み合わせた新しい治療法開発	永島 吉孝	脳神経外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症下における滑膜細胞の代謝リプログラミング	佐藤 良	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臨床情報と人工知能を基盤とした卵巣腫瘍診断システムの構築	池田 芳紀	産婦人科学	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞老化からアプローチする子宮内膜症の病態解明と新規治療の確立	中村 智子	産科婦人科(総合周産期(生殖))	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規細胞接着選択性ペプチド付加工神経を用いた神経再生に関する基礎的研究	蛭沢 克己	形成外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌における病理学的転移陰性腫大リンパ節の免疫微小環境と新規治療戦略の構築	小倉 淳司	消化器・腫瘍外科(肝胆膵)	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

膵癌切除症例の所属リンパ節におけるmetastatic toleranceの術後遠隔転移形成への影響	中川 暢彦	消化器・腫瘍外科(消化管)	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的糖鎖解析による免疫介在性ニューロパチーの病態解明と個別化治療の開発	深見 祐樹	神経内科学	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄小脳変性症に対するHALを用いた在宅運動療法の開発と有効性の機序解明	岸本 祥之	脳神経内科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ALS患者におけるエンドカンナビノイドおよびSアリルシステイン代謝異常の進行病態解明	伊藤 大輔	脳神経内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
進行胆道癌術前の経皮経肝門脈塞栓術による肝血流・機能変化:4D-Flow MRIとCFD解析	兵藤 良太	新規低侵襲～寄附講座	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
先進的脳画像解析によるドラベ症候群の脳内ネットワーク異常と微細構造異常の解明	伊藤 祐史	小児科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シングルセルシーケンスを用いた小児急性肝不全の病態解析	鈴木 高子	小児科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プレバイオティクスによる腸内細菌叢改変と難治性門脈血栓症、門脈圧亢進症治療の開発	横山 晋也	消化器内科(救急診療等運営本部)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患関連大腸がんの腫瘍微小環境の特殊性の解明	石川 恵里	消化器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外小胞と自己抗体産生	桃原 真理子	皮膚科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Dorfman-Chanarin症候群の病態解析および新規治療戦略の開拓	滝 奉樹	皮膚科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CRISPR-Cas9スクリーニング法による初回治療抵抗性を克服するCAR-T細胞療法の最適化	葉名尻 良	血液内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規臓器保存液と新規携帯型臓器酸素化機械が部分肝移植に及ぼす影響	政野 裕紀	移植外科(二外)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腹腔洗浄液中mRNA発現解析による胃癌腹膜播種再発予測と化学療法効果判定法の開発	中西 香企	消化器・腫瘍外科(消化管)	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心不全に対する微弱電流治療用心臓ネット電極の開発	秋田 翔	心臓外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳深部構造てんかんコネクトームの可視化と定位的深部焦点離断術の開発研究	石崎 友崇	脳神経外科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
髄液中EVs由来microRNAの網羅的解析によるもやもや病の病態解明	横山 欣也	脳神経外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早発排卵機序の解明を目指したヒトiPS細胞由来生殖中枢のin vitroモデル作成	三宅 菜月	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網膜色素変性に対する進行評価法の確立	小南 太郎	眼科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症患者のゲノム解析を基盤とした新規治療戦略の創生	田中 里奈子	薬剤部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心原性ショックに対するTheragnostic Anticoagulationに向けた生体応答ダイナミクス	風間 信吾	救急科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム編集マウスを用いたミオシン遺伝子異常による不整脈発症メカニズムの解明	大橋 直樹	小児科(小児循環器センター)	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細菌叢を用いた十二指腸乳頭部腫瘍の診断と進行メカニズムの同定	高田 善久	臨床研究教育学(消化器内科)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体外式膜型人工肺離脱後の全身性炎症反応に対する治療の個別最適化に向けた病態解明	本多 純太	救急科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多角的アプローチに基づく女性の心血管疾患リスク軽減に向けた疾病予防モデルの構築	田野 翔	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
医学生関連インシデントの実態把握と仮想体験を用いた患者安全教育ツール開発の研究	栗原 健	患者安全推進部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌細胞の早期転移とdormancyに関する機序解明とその治療法の検討	山口 淳平	消化器・腫瘍外科(肝胆膵)	5,070,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
感覚情報処理系の解析を含めた手指巧緻運動障害の定量化と未病早期検出技術の開発	米田 英正	手の外科学(四肢外傷学寄附講座)	4,550,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経異常タンパク質の凝集抑制治療の開発	佐橋 健太郎	神経内科学	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間葉系幹細胞カラムとiPS細胞・遺伝子編集技術を融合した新規治療システム	古橋 和拡	腎臓内科	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体タンパク模倣短鎖ペプチドの創成と低侵襲的大動脈瘤治療法開発の試み	成田 裕司	心臓外科学	5,720,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Atypical kinaseが修飾する心臓の拡張調節機序とHFpEF病態の解明	竹藤 幹人	循環器内科学	4,030,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ピリミジン塩基合成経路を標的としたLKB1不活化肺癌に対する新規治療法の開発	田中 一大	呼吸器内科	4,940,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
革新的な呼吸補助手段「腸換気法」の臨床開発への薬理機序の解明	藤井 祐	麻酔科	5,590,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ターゲットプロテオミクス応用による母体胎児境界面環境戦略に向けた学際的研究	小谷 友美	産婦人科学(総合周産期(生殖))	5,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ALSに関連する運動ニューロン周囲オリゴデンドロサイトの機能と役割の解明	井口 洋平	脳神経内科	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
周術期の劇的な腸内環境改善を目指した腸換気法とシンバイオティクスの融合への挑戦	藤井 祐	麻酔科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性骨髄性白血病における治療耐性クローン選択過程と耐性機序の解明	岩田 哲	血液内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒルシュスプリング病診断標準化に向けた病理画像知識集約的ルール化AIシステム開発	太田 和樹	小児外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロテオーム解析から推定される肺高血圧肺血管閉塞性病変における形質転換機序の検証	森本 美仁	小児科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
成人の眼軸伸長の予測および関連因子についてのエビデンス創出	井岡 大河	眼科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	秋山 真志	皮膚科学	36,000,000	補委	国立保健医療科学院
医療安全対策の普及と実装に向けた研究	長尾 能雅	患者安全推進部	6,801,000	補委	厚労省
看護・栄養分野の医療情報標準化とFHIR仕様策定研究	秋山 智弥	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	1,729,000	補委	厚生労働省

孤発性ALS 患者メタボローム・エクソソーム miRNA・蛋白質メチル 化を起点とする双方向 TR	勝野 雅央	神経内科学	39,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
統合失調症と自閉スペクトラム症の多階層情報の統合による病態解明	尾崎 紀夫	精神疾患病態解明学	131,300,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経科学を活用する複合性局所疼痛症候群に対する intelligent neuromodulation system の開発	平田 仁	手の外科学	54,470,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究	齋藤 竜太	脳神経外科学	1,300,000	補 委	学校法人北里研究所
臓器・組織の特異性に着目した新規免疫複合療法の開発	齋藤 竜太	脳神経外科学	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
初発中枢神経原発胚細胞腫瘍に対する化学療法併用放射線治療の低侵襲化に関する研究開発	齋藤 竜太	脳神経外科学	260,000	補 委	国立大学法人京都大学
災害時における感覚器障害者の援助要請手段と効果的な支援提供を実現する双方向連携システムの開発と社会実装にむけた効果検証	吉田 忠雄	耳鼻咽喉科学	650,000	補 委	北海道公立大学法人 札幌医科大学
慢性腎臓病の発症・進展に関するヘルスケアサービスやデジタル技術介入の提言に資するエビデンスの構築	丸山 彰一	腎臓内科学	1,300,000	補 委	国立大学法人大阪大学
固形腫瘍の代謝チェックポイントを打破するCART細胞療法の開発	齋藤 竜太	脳神経外科学	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
向精神薬が自動車運転技能に与える影響の判定基準の開発	岩本 邦弘	精神医学	7,020,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
球脊髄性筋萎縮症に対する適正治療エビデンス創出のためのリアルワールドデータベース整備	橋詰 淳	臨床研究教育学(神経内科学)	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
精神科トランスレーショナルリサーチの推進に向けた精神医学研究システムの開発	尾崎 紀夫	精神疾患病態解明学	3,510,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
特殊環状ペプチドによる癌種横断的な新規分子標的治療薬の探索	神田 光郎	消化器外科学	9,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究	増田 慎三	乳腺・内分泌外科学	455,000	補 委	学校法人埼玉医科大学
局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する第Ⅲ相試験	神田 光郎	消化器外科学	780,000	補 委	静岡県立静岡がんセンター
高齢者初発膠芽腫に対する分子分類に応じたテモゾロミド併用寡分割放射線治療の最適化に関する研究開発	齋藤 竜太	脳神経外科学	260,000	補 委	国立大学法人京都大学
運動ニューロン疾患におけるシナプスを介した神経変性機構の解明	勝野 雅央	神経内科学	2,600,000	補 委	学校法人愛知医科大学
病的バリエントを有する遺伝性認知症を対象としたコホート構築による病態解明、バイオマーカー開発、治験促進	勝野 雅央	神経内科学	1,950,000	補 委	国立大学法人 信州大学
多分野融合研究によるHTLV-1感染症のウイルス感染病態全容解明	加留部 謙之輔	臓器病態診断学	1,300,000	補 委	国立大学法人 熊本大学
網膜色素変性の病因遺伝子変異とその臨床像に関するエビデンス構築	西口 康二	眼科学	1,300,000	補 委	国立大学法人宮崎大学
乳児期早期発症のアトピー性皮膚炎を追跡しアレルギーマーチへの影響を探索する前向きコホート研究 (PACI-ON コホート)	秋山 真志	皮膚科学	650,000	補 委	公立大学法人名古屋市立大学
移植医療への応用を想定した動物由来臓器の品質・有効性・安全性評価法に関する研究開発	芳川 豊史	呼吸器外科学	650,000	補 委	国立大学法人鹿児島大学
ストレスを介する疾病発症の分子メカニズムの解明とバイオマーカー検出技術創成	尾崎 紀夫	精神疾患病態解明学	9,100,000	補 委	国立大学法人北海道大学
先天的/後天的構造多型に着目した免疫/精神疾患病態解明に関する研究開発	池田 匡志	精神医学	3,900,000	補 委	国立研究開発法人理化学研究所
先天性および若年発症の視覚聴覚二重障害の難病に対する診療エビデンスの創出	曾根 三千彦	耳鼻咽喉科学	520,000	補 委	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
造影病変全切除可能な初発膠芽腫に対する標準的手術法確立に関する研究	齋藤 竜太	脳神経外科学	260,000	補 委	国立大学法人山形大学
表情から認知症を判別するアプリの開発研究	梅垣 宏行	地域在宅医療学・老年科学	1,950,000	補 委	国立大学法人東京大学
びまん性内在性橋グリオーマ(DIPG)のレジストリ構築および緩和ケアの実態解明を目的とした多施設共同前方視的観察研究	齋藤 竜太	脳神経外科学	260,000	補 委	学校法人埼玉医科大学
全ゲノムデータ基盤新規作用機序抗精神病薬探索プラットフォームの開発	池田 匡志	精神医学	650,000	補 委	学校法人藤田学園
PDX治療モデルと継時的臨床検体の統合的マルチオミックス解析に基づく急性骨髄性白血病の分子層別化と難治性クローンの克服に向けた治療戦略の構築に関する研究	清井 仁	血液・腫瘍内科学	22,724,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
パーキンソン病に対する長期間作用型核酸医薬の開発	勝野 雅央	神経内科学	26,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
網膜色素変性に対する革新的なcDNA挿入型ゲノム編集遺伝子治療の開発	西口 康二	眼科学	26,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
中枢性尿崩症の小胞体ストレス軽減を標的とした創薬開発研究	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科学	45,305,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
膵癌における免疫チェックポイント阻害感受性増強のための間質コンディショニング法の開発	川嶋 啓揮	消化器内科学	39,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
手術画像解析データに基づく希少性疾患(胆道閉鎖症・胆道拡張症・食道閉鎖症)ナビゲーション手術システムの開発	内田 広夫	小児外科学	7,182,500	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
キメラ抗原受容体を樹状細胞に組み込んだ新規細胞療法に関する研究開発	粕谷 英樹	国際連携室(消化器外科学)	32,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
精神疾患リスクバリエントに基づくモデル系の活用と多モダリティ産学連携による創薬シーズ及び層別化バイオマーカー開発	尾崎 紀夫	精神疾患病態解明学	29,900,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
造血器腫瘍における臓器浸潤と治療抵抗性を規定する分子病態の同定と治療標的としての妥当性を検証する研究	清井 仁	血液・腫瘍内科学	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児上衣腫に対する手術摘出度と分子学的マーカーを用いた治療層別化による集学的治療の安全性と有効性確立に向けた研究開発	齋藤 竜太	脳神経外科学	19,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Polygenicモデルと薬物動態学に基づく精神疾患治療予測法開発	池田 匡志	精神医学	39,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

筋萎縮性側索硬化症に対する治療薬の臨床評価ガイドライン作成に関する研究	勝野 雅央	神経内科学	195,000	補委	国立大学法人徳島大学
肺尖部胸壁浸潤癌に対する化学放射線療法後の術前後デュルバルマブもしくはデュルバルマブ維持療法を併用した集学的治療に関する単群検証的試験(JCOG1807C)	芳川 豊史	呼吸器外科学	1,950,000	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
C3腎症の診断・治療アルゴリズム策定に資するエビデンス構築口	丸山 彰一	腎臓内科学	3,250,000	補委	国立大学法人大阪大学
小児ネフローゼ症候群における抗ネフリン抗体研究	丸山 彰一	腎臓内科学	390,000	補委	国立大学法人神戸大学
人工内耳装用における効果的な介入法に関する研究開発	吉田 忠雄	耳鼻咽喉科学	390,000	補委	学校法人東海大学
マイレジストリの縦断データを活用した新規治療法開発と薬事承認の実現	木村 大樹	精神医学	7,800,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
膠芽腫に対する新規賦活化機構実装CAR-T細胞療法の開発	齋藤 竜太	脳神経外科学	1,300,000	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
発症前コホート研究と多層オミックス解析の融合によるパーキンソン病の研究基盤高度化と疾患Trajectory解明	勝野 雅央	神経内科学	2,600,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
脳を守り、育て、活かす、睡眠によるライフコースアプローチ	尾崎 紀夫	精神疾病病態解明学	17,030,000	補委	国立大学法人東京大学
造血器腫瘍臨床におけるクリニカルWGSのfeasibilityと有用性の検討	清井 仁	血液・腫瘍内科学	520,000	補委	国立大学法人九州大学
解析・データセンターにおける情報システム基盤の研究と構築	中黒 匡人	臓器病態診断学(病態構造解析学)	1,660,000	補委	国立大学法人東京大学
拡散 MRI を用いた新規がんトランススケールイメージング法の開発	飯間 麻美	新規低侵襲～寄附講座	13,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
精神疾患リスクバリエーションに基づくモデル系の活用と多モダリティ産学連携による創薬シーズ及び層別化バイオマーカー開発	尾崎 紀夫	精神疾病病態解明学	23,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
SaCas9/AAV変変と数理学的な臨床試験のデザインによる網膜ゲノム編集遺伝子治療の統合的開発	西口 康二	眼科学	26,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
臨床用ヒトiPS細胞から誘導した精製下垂体による再生医療開発	須賀 英隆	糖尿病・内分泌内科学	26,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
難治性の希少腎疾患に対する治療最適化に向けた研究開発	丸山 彰一	腎臓内科学	32,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
一側性聴覚障害の評価手法の標準化と社会参加を促進する手法に関する研究開発	吉田 忠雄	耳鼻咽喉科学	21,069,339	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ALS 多階層病態メカニズムの解明と治療法開発	勝野 雅央	神経内科学	104,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
孤発性筋萎縮性側索硬化症の双方向トランスレーショナル研究による病態介入標的の同定と核酸医薬の開発研究	中枅 昌弘	先端医療開発部	650,000	補委	学校法人愛知医科大学
小児から成人をシームレスに対象とした B前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する前方視的臨床試験による標準治療の開発研究	早川 文彦	血液内科	325,000	補委	埼玉県立小児医療センター
遺伝性腫瘍に見られるVUSに対する、包括的in vivoスクリーニングとin silico構造解析を融合した高精度機能的アノテーション	中枅 昌弘	先端医療開発部	2,990,000	補委	国立大学法人岡山大学
小児から成人を対象にする臨床試験によるT細胞性急性リンパ性白血病の小児型治療適用限界年齢の検討と新規バイオマーカー探索に関する研究	早川 文彦	血液内科	5,460,000	補委	千葉大学医学部附属病院
経口セマグルチドのパーキンソン病に対する有効性検証および用量探索試験	勝野 雅央	神経内科学	936,000	補委	国立大学法人大阪大学
FGFR3シグナル抑制による軟骨無形成症治療薬の実用化開発研究	松下 雅樹	整形外科	33,951,892	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
日本ブレインバンクネット(JBBN)による精神・神経疾患死後脳リソース基盤の強化に関する研究開発	鳥居 洋太	精神科	4,550,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
国産既存薬の新効能による膵がんの間質初期化治療法の開発と第I/II 相医師主導試験の実施	川嶋 啓揮	消化器内科学	78,000,000	補委	国立大学法人東京大学
サブプレート神経活動のダイナミズムによる脳神経回路の発達機構	城所 博之	小児科	13,000,000	補委	公益財団法人東京都医学総合研究所
患者レジストリJapan PH Registryを利活用した肺動脈性肺高血圧症に対する抗IL-6受容体抗体適応拡大のための医師主導試験	足立 史郎	循環器内科	650,000	補委	学校法人国際医療福祉大学
日本全地域で心不全診療連携を最適化するAI実装DtoDシステムの開発と実用化	奥村 貴裕	循環器内科(重症心不全治療センター)	4,550,000	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化同時対照試験	安藤 昌彦	先端医療開発部	1,300,000	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発	安藤 昌彦	先端医療開発部	650,000	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
HBV cccDNAの産生と維持に関わるウイルスおよび宿主因子の探索	本多 隆	消化器内科学	13,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	西田 佳弘	整形外科(リハビリテーション科)	390,000	補委	国立大学法人大分大学
精神疾患の個別化医療を実現するためのゲノム・空間オミクス多施設共同研究	久島 周	精神医学(ゲノム医療センター)	50,700,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
アトピー性皮膚炎をモデルとした次世代リバーストランスレーショナル研究基盤構築に向けた研究	小川 靖	先端医療開発部	650,000	補委	学校法人 慶應義塾
医療施設における標準コードの効率的なマッピング手法に関する調査および実証研究	白鳥 義宗	メディカルITセンター	7,514,000	補委	国立大学法人九州大学
経口セマグルチドのパーキンソン病に対する有効性検証および用量探索試験	勝野 雅央	神経内科学	3,900,000	補委	国立大学法人大阪大学
網羅的免疫解析に基づくCAR-T細胞療法の効果予測・判定および造血細胞移植適応決定のためのバイオマーカー開発	寺倉 精太郎	血液内科	7,800,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
All Japan 大規模レジストリデータを背景とした間質性肺炎の治療プログラム及びデバイスの開発	古川 大記	メディカルITセンター	65,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
糖鎖と神経細胞活動の動的因果関係から明らかにする3q29欠失症候群の病態	有岡 祐子	精神疾病病態解明学(先端医療開発部)	6,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

網膜神経回路機能に着目した脳-感覚ネットワークの統合的理解に基づく発達障害の治療戦略の構築	小南 太郎	眼科	4,290,000	補 委	国立大学法人大阪大学
cT1-4aN0-3胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	安藤 昌彦	先端医療開発部	1,300,000	補 委	静岡県立静岡がんセンター
切除不能な肝門部領域胆管癌に対する生体肝移植	小倉 靖弘	移植外科	9,750,000	補 委	国立大学法人 熊本大学
実践研修の実施と検証による研究マネジメント人材育成及びネットワーク構築に関する研究	清水 忍	先端医療開発部	836,576	補 委	学校法人藤田学園
ゲノムバリエントがもたらす細胞運命変化を予測する深層学習技術の開発	奥村 啓樹	精神疾患病態解明学(薬剤部)	9,230,000	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学
血管新生阻害剤への治療抵抗性を克服するがん治療法の検証	吉原 雅人	産婦人科学	1,690,000	補 委	国立大学法人福井大学
肺高血圧症患者レジストリとマルチオミクスデータベースを活用した難病デジタルツインモデルの構築	足立 史郎	循環器内科	1,300,000	補 委	学校法人国際医療福祉大学
小児から成人に移行する慢性心筋炎の診断基準策定のための実態調査	奥村 貴裕	循環器内科(重症心不全治療センター)	130,000	補 委	国立大学法人三重大学
電波式胸郭運動センサの研究開発	沼口 敦	救急・内科系集中治療部	780,000	補 委	学校法人聖マリアンナ医科大学
ブレインアトラス創生による精神神経疾患のシングルセル・ゲノム創薬	有岡 祐子	精神疾患病態解明学(先端医療開発部)	11,700,000	補 委	国立大学法人東京大学
再発・難治性悪性リンパ腫に対するpiggyBacトランスポゾン法によるCD19 キメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞の安全性及び有効性に関する第1/2相医師主導治験	高橋 義行	小児科学	95,095,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
「若年性骨髄単球性白血病(JMML)に対する標準的化学療法の確立を目指した第2相臨床試験」の開発	村松 秀城	小児科学	85,150,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブの検証的医師主導治験の実施	丸山 彰一	腎臓内科学	76,667,500	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
悪性中皮腫に対する新規ドラッグデリバリーシステムを用いた個別化治療の開発	田中 一大	呼吸器内科	26,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
CRISPR-Cas9 sgRNA ライブラリによる生体内ノックアウトスクリーニングを用いた卵巣奇形腫悪性転化に対する創薬シーズの探索と開発	玉内 学志	産科婦人科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
体細胞遺伝子変異の in-situ 診断のための高感度蛍光プローブの開発	長谷 哲成	臨床研究教育学(呼吸器内科学)	53,040,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
膵がん間質初期化治療法の奏功予測バイオマーカーの開発	水谷 泰之	消化器内科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
がん悪液質に伴う代謝異常に基づく早期膵癌・胆道癌診断AIの開発	馬場 泰輔	消化器外科一	10,010,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
母子感染のリスク評価と先天性感染の新たな診断・予防法の開発研究	城所 博之	小児科	260,000	補 委	学校法人日本大学
特発性大腿骨頭壊死症に対する自家濃縮骨髄液移植法の臨床研究	竹上 靖彦	整形外科	7,782,216	補 委	学校法人順天堂順天堂大学
T細胞性腫瘍に対するCART細胞療法の医師主導治験	寺倉 精太郎	血液内科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法のランダム化比較第Ⅲ相試験□	安藤 昌彦	先端医療開発部	975,000	補 委	静岡県立静岡がんセンター
高リスク後腹膜肉腫に対する標準治療法開発のための国際多施設共同臨床試験	西田 佳弘	整形外科(リハビリテーション科)	780,000	補 委	国立大学法人岡山大学
臨床病期I/II/III食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第Ⅲ相試験	安藤 昌彦	先端医療開発部	650,000	補 委	国立大学法人浜松医科大学
原因不明の小児急性肝炎の実態把握、病原体検索、病態解明と治療法の開発(2024) □	鳥居 ゆか	小児科学	650,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
CAR-T細胞療法抵抗性・耐性におけるリンパ腫組織内細胞間クロストークの時空間的解明と新規治療開発	島田 和之	血液内科	650,000	補 委	国立大学法人岡山大学
微小な胸膜播種を有する臨床病期IVA期非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の治療的意義を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	安藤 昌彦	先端医療開発部	1,950,000	補 委	学校法人 慶應義塾
生体ナノ粒子多次元解析による新規診断・治療効果評価法の開発	阪本 考司	呼吸器内科	2,600,000	補 委	国立大学法人東京大学
肝臓と多臓器連関の包括的理解を基軸とした慢性肝疾患患者の予後改善に資する研究	伊藤 隆徳	消化器内科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
細胞死耐性化オルガノイドを搭載した人工肝臓システムによる末期肝不全の治療法開発	藤井 祐	麻酔科	1,300,000	補 委	国立大学法人大阪大学
オートファジー病SENDA/BPAN に対する新規遺伝子治療開発と治験準備	城所 博之	小児科	1,950,000	補 委	学校法人自治医科大学
参照系AI技術を応用した痙攣性発声障害診断システムとチタンブリッジ手術支援機器開発に関する研究	清水 忍	先端医療開発部	52,000	補 委	公立大学法人名古屋市立大学
日本循環器研究コンソーシアムによる難治性心血管疾患のエビデンス創出	奥村 貴裕	循環器内科(重症心不全治療センター)	260,000	補 委	学校法人国際医療福祉大学
コラーゲン結合能付加C型ナトリウム利尿ペプチドによる軟骨再生療法の開発	松下 雅樹	整形外科	1,100,000	補 委	国立大学法人岡山大学
10,000 症例マルチオミクス解析の経験にもとづく、全ゲノム解析の患者還元に関する研究	安藤 雄一	化学療法部	153,387,000	補 委	静岡県立静岡がんセンター
10,000 症例マルチオミクス解析の経験にもとづく、全ゲノム解析の患者還元に関する研究	安藤 雄一	化学療法部	52,663,000	補 委	静岡県立静岡がんセンター
パートナー医療機関を活用したDCT推進のための体制強化と注射薬治験への展開を目指した課題整理	水野 正明	先端医療開発部	2,600,000	補 委	愛知県がんセンター
重症型骨系統疾患タナトフォリック骨異形成症における致死メカニズムの解明と治療基盤の構築	松下 雅樹	整形外科	1,950,000	補 委	国立大学法人長崎大学
未治療末梢性T細胞リンパ腫に対する初回導入化学療法後の完全奏効例に対する自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法のランダム化第Ⅲ相試験(JCOG2210)	島田 和之	血液内科	585,000	補 委	国立大学法人鹿児島大学

中枢神経系再発高リスクの未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する中枢神経系再発予防を組み入れた治療法のランダム化第Ⅲ相試験	島田 和之	血液内科	1,300,000	補 委	国立大学法人三重大学
高リスク神経芽腫に対する免疫療法を併用した標準治療法確立のための臨床研究	天野 日出	小児外科	1,300,000	補 委	国立大学法人東京科学大学
日本ブレインバンクネット(JBBN)による精神・神経疾患死後脳リソース基盤の強化に関する研究開発	鳥居 洋太	精神科	5,213,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
膠芽腫に対する新規核酸治療薬の開発	齋藤 竜太	脳神経外科学	79,560,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
球脊髄性筋萎縮症に対するメキシレチン塩酸塩の有効性及び安全性を検討する医師主導治験	勝野 雅央	神経内科学	78,057,747	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
「一過性骨髄異常増殖症(TAM)に対する早期死亡と白血病発症予防を目的とした標準化学療法の確立を目指した第2相臨床試験」の開発	村松 秀城	小児科学	10,660,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経芽腫及び褐色細胞腫における3-Methoxytyramine sulfate/3-Methoxytyramine定量技術の確立と実用化	天野 日出	小児外科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
SIADHにおける低ナトリウム血症に対する機械学習を用いた治療予測システムの開発	萩原 大輔	糖尿病・内分泌内科	7,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
EVシートによる革新的がん診療バイオマーカー開発研究	横井 暁	産科婦人科	29,900,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経芽腫拡大マスクリーニングのエビデンス創出を目指した、悪性度層別化マーカー濾紙血定量法の構築とバリデーション	天野 日出	小児外科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
間葉系幹細胞治療用中空糸膜カラムの実用化	古橋 和拡	腎臓内科	116,675,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
誰一人取り残さない遠隔緩和ケア診療システムの実装に向けたエビデンス構築とガイドライン整備のための研究開発	古川 大記	メディカルITセンター	19,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Elucidation of the cell-autonomous host defense at mucosal surfaces in rotavirus infection	前田 啓子	消化器内科	2,250,300	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
標的分子Xに対する急性肺障害治療ペプチドの探索	阪本 考司	呼吸器内科	3,443,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
同種歯髄幹細胞を用いた慢性期の脳性麻痺患者に対する新規治療法開発に向けた治験実施計画書の作成	佐藤 義朗	小児科(総合周産期(新生児))	6,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
卵巣癌発生予防を目指した卵管采異種クロストーク機構の解明	横井 暁	産科婦人科	10,010,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
オキシトシン受容体の下流シグナルを標的とした悪性中皮腫に対する新規治療の開発	堀 和美	呼吸器内科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
拡張型心筋症に対するテイラーメイド方式心臓形状矯正ネットの医師主導治験	秋田 利明	心臓外科	63,986,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
再発又は難治性のCD19陽性B細胞性急性リンパ芽球性白血病に対するpiggyBacトランスポゾン法によるキメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞JPCAR019の第Ⅰ/Ⅱ相医師主導治験	高橋 義行	小児科学	111,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
胃癌腹膜播種に特化したアンチセンス核酸医薬開発	神田 光郎	消化器外科学	103,632,100	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Contact Reality の実現による遠隔触診システム開発	平田 仁	手の外科学	43,751,000	補 委	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
完全な炎症制御による先天性魚鱗癬の克服	武市 拓也	皮膚科学	8,450,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
Contact Reality の実現による遠隔触診システム開発	下田 真吾	下田真吾研究室(手の外科学)	25,324,000	補 委	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
細胞外微粒子への生体応答と発がん・動脈硬化症との関連の解析(豊國・分担)	室原 豊明	循環器内科学	17,420,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科学	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
ヒト脳神経発生を正確に再現し、測れなかったものを測る	須賀 英隆	糖尿病・内分泌内科学	9,100,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
高齢者総合機能評価(CGA)ガイドラインの作成研究	梅垣 宏行	地域在宅医療学・老年科学	600,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者における院内死亡、転倒、耐性菌感染、新興再興感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、結核等)に関する研究	八木 哲也	臨床感染統御学	800,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
レビー小体病の早期診断・治療効果判定に資する高精度バイオマーカー開発および感覚刺激による身体機能の変化に対する脳神経機能の解析	勝野 雅央	神経内科学	2,000,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
老年症候群に対する循環器病管理による影響を明らかにするための、多施設共同の包括的縦断観察研究	因田 恭也	循環器内科学	800,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
高齢者の感覚器機能/加齢性疾患の身体機能に与える影響および新規予防・治療法の開発に関する研究	西口 康二	眼科学	500,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
分散・協調遠隔操作による生体内CAの投薬モニタリングと実証評価	川嶋 啓揮	消化器内科学	47,788,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
Awareness AIによる神経系異常からの機能回復実験	平田 仁	手の外科学	24,648,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
主体的な行動変容を促すAwareness AIロボットシステム開発	下田 真吾	下田真吾研究室(手の外科学)	33,150,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
平田PJと連携したAwareness AI実証実験	下田 真吾	下田真吾研究室(手の外科学)	92,521,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
サイバネティック・アバター技術によるフレイル治療に向けた内在的能力賦活化	平田 仁	手の外科学	24,700,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
腹部大動脈瘤に対するTREO腹部ステントグラフトシステムを用いたステントグラフト内挿術の実態調査	坂野 比呂志	血管外科学	100,000	補 委	NEXTシンポジウム
NCNPブレインバンクの運営およびブレインバンク生前登録システムの推進	木村 大樹	精神医学	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
運動器の老化に関する機序解明と予防に資する縦断研究	今釜 史郎	整形外科学	2,000,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

運動器の老化に関する機序解明と予防に資する縦断研究	伊藤 定之	整形外科学(障害児(者) 寄附講座)	2,000,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
運動器の老化に関する機序解明と予防に資する縦断研究	山本 美知郎	手の外科学	2,000,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
統合失調症の認知機能障害の新規スクリーニング質問票に関する調査研究	池田 匡志	精神医学	1,430,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
ケミカルバイオロジーと臨床オミクスから指向する卵巣癌パン・ペリトネアル治療戦略	伊吉 祥平	産科婦人科	2,600,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
高齢者における全身麻酔管理の諸問題に挑む	秋山 浩一	麻酔・蘇生医学	1,000,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
「健康を基軸とした経済発展モデルと全世代アプローチでつくるwell-being地域社会共創拠点」に関する名古屋大学による研究開発	中枅 昌弘	先端医療開発部	3,250,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
日本多施設共同コホート研究(J-MICC study)におけるゲノム情報の提供と利活用に関する研究	中枅 昌弘	先端医療開発部	500,000	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
原発性アルドステロン症のバイオインフォマティクス解析	中枅 昌弘	先端医療開発部	200,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
ONO-7913(抗CD47抗体:Magrolimab)の輸血前検査に及ぼす影響の検証とその対処法の確立に関する研究	松下 正	輸血部	548,507	補委	一般社団法人日本輸血・細胞治療学会
代謝物臭センシングによる難発見悪性腫瘍の非開腹早期検出の概念実証	横井 暁	産科婦人科	7,150,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
多施設共同研究におけるがん患者に対する適切なQOL評価法確立のための研究	安藤 昌彦	先端医療開発部	800,000	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
中津川市阿木地区における減塩対策事業の効果評価研究	佐藤 寿一	総合診療科	2,564,500	補委	中津川市
がん細胞外小胞の臨床応用へ向けた基盤技術開発研究	横井 暁	産科婦人科	13,858,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
生体がもつ巧妙な炎症制御機構の解明から治療応用へ	古橋 和弘	腎臓内科	10,400,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
老年症候群における血液学的老化の研究	安藤 雄一	化学療法部	500,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	小宮 仁	地域連携・患者相談センター	500,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
老年症候群における血液学的老化の研究	松下 正	輸血部	700,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
ミッドカインを活用した新型コロナウイルスCOVID-19 重症化予測簡易判定系の研究・開発	春日井 大介	救急科	2,178,000	補委	独立行政法人沖縄工業高等専門学校
クローン性造血を介した加齢性心血管病の病態解明	由良 義充	循環器内科(救急診療等運営本部)	9,100,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
神経難病におけるナショナルセンターによる臨床開発促進のための基盤整備とレギュラトリーサイエンスの推進	清水 忍	先端医療開発部	300,000	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
難治性irAE肝障害の予後改善を目指した肝内病理学的解析と治療効果予測バイオマーカーの検討	伊藤 隆徳	消化器内科	1,000,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
メトトレキサートの効果が不十分な関節リウマチ患者におけるフィルゴチニブ追加とフィルゴチニブへの切替の有効性と安全性に関する多施設共同ランダム化比較試験	浅井 秀司	整形外科	220,000	補委	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
線維芽細胞多様性の意義の解明による革新的な治療法の開発	水谷 泰之	消化器内科	3,250,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
難治性癌腹膜播種を克服する中皮細胞標的治療の開発	吉原 雅人	産婦人科学	3,900,000	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
高齢者における全身麻酔管理の諸問題に挑む	藤井 祐	麻酔科	1,000,000	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
				補委	

計488件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Mizukoshi C, Kojima Y, Nomura S, et al	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	DeepKINET: a deep generative model for estimating single-cell RNA splicing and degradation rates.	Genome Biol. 2024 Sep 6;25(1):229. (オンライン)	Original Article
2	Yokoi H, Osawa Y, Takegami Y, et al	整形外科	Direction of pelvic obliquity after total hip arthroplasty for dysplastic hip osteoarthritis: a retrospective observational study.	Arch Orthop Trauma Surg. 2025 Mar 19;145(1):195. (オンライン)	Original Article
3	Tanaka A, Furuhashi K, Fujieda K, et al	腎臓内科	Safety and Tolerability of Adipose-Derived Mesenchymal Stem Cell (ADR-001) Therapy for IgA Nephropathy.	Kidney360. 2024 Nov 1;5(11):1692-1705.	Original Article
4	Fujieda K, Saito S, Tanaka A, et al	腎臓内科	A case of non-traumatic rectus sheath hematoma in a post-kidney transplant patient undergoing catheter embolization during anticoagulation treatment for atrial fibrillation.	CEN Case Rep. 2024 Dec;13(6):528-533.	Case Report
5	Ito T, Shimose S, Tani J, et al	消化器内科	Antitumor effects and immune-mediated adverse events of durvalumab plus tremelimumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2025 Apr;55(4):577-587.	Original Article
6	Ito T, Mizuno K, Yamamoto T, et al	消化器内科	Outcomes of immune checkpoint inhibitor-induced liver toxicity managed by hepatologists in a multidisciplinary toxicity team.	Hepatol Res. 2024 Nov;54(11):1060-1069.	Original Article
7	Ito T, Takeuchi Y, Mizuno K, et al	消化器内科	Diagnostic guide for immune checkpoint inhibitor-induced liver injury.	Hepatol Res. 2024 Aug;54(8):719-726.	Original Article
8	Adachi T, Adachi S, Nakano Y, et al	循環器内科	Controlling Nutritional Status Score Predicts 1-Year Outcomes in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension.	Circ Rep. 2024 Aug 29;6(9):381-388. (オンライン)	Original Article
9	Iwase M, Taniyama Y, Koyanagi YN, et al	乳腺・内分泌外科	A Century of Change: Unraveling the Impact of Socioeconomic/Historical Milestones on Age at Menarche and Other Female Reproductive Factors in Japan.	J Epidemiol. 2024 Aug 5;34(8):387-392.	Original Article
10	Takano Y, Shimokata T, Urakawa H, et al	化学療法部	Long-term response to MEK inhibitor monotherapy in a patient with papillary thyroid carcinoma harboring BRAF (V600E) mutation.	Int Cancer Conf J. 2024 Apr 1;13(3):184-188. (オンライン)	Original Article
11	Horisaki K, Taki T, Mori S, et al	皮膚科	A Case of Advanced Extramammary Paget's Disease With a High Tumor Mutation Burden That Showed Partial Lymph Node Regression With Pembrolizumab.	Cureus. 2024 Oct 28;16(10):e72592. (オンライン)	Case Report
12	Taoka T, Ito R, Nakamichi R, et al	放射線科(部)	Diffusion Tensor Image Analysis ALong the Perivascular Space (DTI-ALPS): Revisiting the Meaning and Significance of the Method.	Magn Reson Med Sci. 2024 Jul 1;23(3):268-290.	Original Article
13	Fujii T, Takakura M, Taniguchi T, et al	麻酔科	Accuracy of non-invasive core temperature monitoring in infant and toddler patients: a prospective observational study.	J Anesth. 2024 Dec;38(6):848-854.	Original Article
14	Sato T	麻酔科	Dexamethasone versus 5-HT3 receptor antagonists in preventing nausea during awake craniotomy: a propensity score matching study.	JA Clin Rep. 2024 Oct 7;10(1):63. (オンライン)	Original Article
15	Sato T, Nishiwaki K	麻酔科	Two Cases of Remimazolam Anesthesia Managed With Pharmacokinetic Simulations in an Awake Craniotomy of Patients With Obesity.	Cureus. 2024 Sep 13;16(9):e69311. (オンライン)	Case Report
16	Fujii T	麻酔科	Reply to the letter by Moradi M and Cheraghi MR.	J Anesth. 2025 Mar 22.	Letter
17	Takada S, Suzuki S, Tamura T	麻酔科	Low molecular weight heparin-induced thrombocytopenia management during hemodialysis and cardiac surgery: a case report and literature review.	JA Clin Rep. 2025 Mar 28;11(1):18. (オンライン)	Original Article
18	Sato T, Somura Y, Takakura M, et al	麻酔科	A Case of a One-Month-Old Infant Who Underwent Oral Intubation With Tongue Traction After Decompressing an Oral Cyst.	Cureus. 2025 Feb 17;17(2):e79132. (オンライン)	Case Report
19	Kawazoe S, Tamura T, Sato T, et al	麻酔科	Use of Thromboelastography in Coronary Artery Bypass Grafting in a Patient With Factor a?? Deficiency With Platelet Function Disorders: A Case Report and Literature Review.	Cureus. 2024 Apr 13;16(4):e58185. (オンライン)	Case Report
20	Taniguchi T, Fujii T, Takakura M, et al	麻酔科	Evaluation of the Noninvasive Estimated Continuous Cardiac Output System for Pediatric Patients: A Prospective Observational Study.	Anesth Analg. 2024 Sep 4.	Original Article
21	Sato T, Inoue S, Asano I, et al	麻酔科	Successful analgesic treatment with continuous sacral epidural ethanol injection therapy for anal pain caused by multiple metastases of malignant pheochromocytoma.	JA Clin Rep. 2024 Dec 18;10(1):75. (オンライン)	Original Article
22	Ohta Y, Ichimura N, Yamaguchi S, et al	歯科口腔外科	Mild hyperthermia upregulates PD-L1 in the tumor microenvironment and enhances antitumor efficacy of PD-L1 blockade in murine squamous cell carcinoma.	Nagoya J Med Sci. 2024 Aug;86(3):497-506.	Original Article

23	Takeuchi K	脳神経外科	Endoscopic Cylinder Surgery for Ventricular Lesions.	Adv Tech Stand Neurosurg. 2024;52:91–104.	Original Article
24	Harada H, Takeuchi K, Nagata Y, et al	脳神経外科	A Case of Papillary Craniopharyngioma Mimicking Rathke’s Cleft Cyst.	NMC Case Rep J. 2024 Jul 27;11:191–194. (オンライン)	Case Report
25	Nakashima H, Watanabe K, Komiya H, et al	老年内科	Frailty Index Based on Common Laboratory Tests for Patients Starting Home-Based Medical Care.	J Am Med Dir Assoc. 2024 Sep;25(9):105114.	Original Article
26	Takahashi N, Ono T, Omori Y, et al	親と子どもの心療科	Assessment of executive functions using a 3D–video game in children and adolescents with ADHD.	Front Psychiatry. 2024 Aug 22;15:1407703. (オンライン)	Original Article
27	Nishida Y, Ito K, Sakai T, et al	リハビリテーション科 (部)	Efficacy and Safety of Auranofin for Progressive Desmoid–Type Fibromatosis: The Study Protocol of an Open–Label Phase II Trial.	Cureus. 2024 Oct 7;16(10):e71033. (オンライン)	Original Article
28	Osada Y, Oka K, Iguchi M, et al	検査部	Flavonifractor plautii bacteremia following bacterial translocation from the gut: A case report and literature review.	J Infect Chemother. 2025 Mar;31(3):102592.	Case Report
29	Kato Y, Yuki K, Nishiguchi K, et al	放射線科 (部)	Visualization of distribution in the vitreous cavity via eye drops using ultra–heavily T2–weighted sequences in MRI: a preliminary study with enucleated pig eyes.	Radiol Phys Technol. 2024 Sep;17(3):715–724.	Original Article
30	Iwanaga H, Fujita N, Abe S, et al	放射線科 (部)	Correlation between the thyroid computed tomography value and thyroid function in hyperthyroidism: a retrospective study.	Ann Nucl Med. 2024 Aug;38(8):659–665.	Original Article
31	Karube K, Satou A, Kato S	病理部	New classifications of B–cell neoplasms: a comparison of 5th WHO and International Consensus classifications.	Int J Hematol. 2025 Mar;121(3):331–341.	Original Article
32	Hamada H, Morioka H, Okazaki M, et al	中央感染制御部	Re–evaluation of blood culture contamination rates: Discordance between clinical and laboratory assessment.	J Infect Chemother. 2025 Apr;31(4):102628.	Original Article
33	Morioka H, Koizumi Y, Oka K, et al	中央感染制御部	Healthcare–associated infections in Japanese hospitals: results from a large–scale multicenter point–prevalence survey in Aichi, 2020.	Infect Control Hosp Epidemiol. 2024 Oct 8:1–8.	Original Article
34	Nakamura M, Yamamura T, Maeda K, et al	光学医療診療部	Long–Term Monitoring and Clinical Implications of Small Bowel Capsule Endoscopy in Patients with Crohn’s Disease with Small Bowel Lesions: A Retrospective Analysis.	Digestion. 2024;105(5):380–388.	Original Article
35	Nakamura M, Murate K, Maeda K, et al	光学医療診療部	Analysis of Neuropeptides in the Intestinal Mucus of Patients with Ulcerative Colitis Using RNA Sequencing.	Digestion. 2024;105(5):400–410.	Original Article
36	Nishida Y, Shimada S	リハビリテーション科 (部)	Tocilizumab treatment for inflammatory dedifferentiated liposarcoma: pre– and post–treatment imaging and pathological changes.	ESMO Open. 2025 Apr;10(4):104530.	Letter
37	Mizuno Y, Yokoyama Y, Nakajima H, et al	リハビリテーション科 (部)	The impact of goal–directed prehabilitation therapy on functional capacity in patients undergoing hepatobiliary and pancreatic surgery: A randomized clinical trial.	Surgery. 2024 Aug;176(2):252–258.	Original Article
38	Tanaka S, Kayamoto A, Terai C, et al	リハビリテーション科 (部)	Preoperative Sarcopenia Severity and Clinical Outcomes after Total Hip Arthroplasty.	Nutrients. 2024 Jun 29;16(13):2085. (オンライン)	Original Article
39	Nojiri S, Kayamoto A, Terai C, et al	リハビリテーション科 (部)	Preoperative hip abductor strength predicts discharge destination after total hip arthroplasty.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2024 Nov 15;35(1):5. (オンライン)	Original Article
40	Shirai Y, Tokuda Y, Tsuchikawa Y, et al	リハビリテーション科 (部)	Clinical Features and Postoperative Mobilization following Total Aortic Arch Replacement.	Int Heart J. 2024 Nov 30;65(6):1075–1078.	Original Article
41	Fugane Y, Tanaka S, Mizuno Y, et al	リハビリテーション科 (部)	Prognostic impact of preoperative cachexia in patients undergoing major hepatopancreatobiliary surgery for malignancy.	Clin Nutr. 2025 Apr;47:112–118.	Original Article
42	Nojiri S, Osawa Y, Tanaka S, et al	リハビリテーション科 (部)	A Case of Successful Perioperative Rehabilitation in Two–Stage Revision Total Hip Arthroplasty for an Intraoperative Acetabular Fracture: Insights Into Interim–Period Rehabilitation Strategies.	Cureus. 2025 Feb 6;17(2):e78619. (オンライン)	Case Report
43	Shimizu S, Tanaka A, Matsuyama N, et al	先端医療開発部	Randomised, double–blind study to evaluate the efficacy of rituximab in the treatment of idiopathic membranous nephropathy: A clinical trial protocol.	PLoS One. 2025 Mar 18;20(3):e0320070. (オンライン)	Original Article
44	Kuwatsuka Y, Ito H, Tabuchi K, et al	先端医療開発部	Trends in allogeneic hematopoietic cell transplantation survival using population–based descriptive epidemiology method: analysis of national transplant registry data.	Bone Marrow Transplant. 2024 Sep;59(9):1295–1301.	Original Article
45	Nishiwaki S, Terakura S, Morishita T, et al	先端医療開発部	Post–transplant TKIs for Ph+ ALL: practices to date and clinical significance.	Int J Hematol. 2025 Apr;121(4):494–503.	Original Article
46	Imaizumi T, Hasegawa T, Kosugi T, et al	先端医療開発部	Renal anemia and hyporesponsiveness to ESA for preservation of residual kidney function in patients undergoing peritoneal dialysis.	Sci Rep. 2025 Jan 21;15(1):2689. (オンライン)	Original Article
47	Imaizumi T, Komaba H, Hamano T, et al	先端医療開発部	Clinically meaningful eGFR slope as a surrogate endpoint differs across CKD stages and slope evaluation periods: the CKD–JAC study.	Clin Kidney J. 2025 Jan 13;18(2):sfae398. (オンライン)	Original Article

48	Nakano Y, Adachi S, Hirose M, et al	先端医療開発部	Monitoring anti-factor Xa activity in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension treated with factor Xa inhibitors.	Sci Rep. 2024 Oct 28;14(1):25762. (オンライン)	Original Article
49	Komiya H, Suzuki Y, Watanabe K, et al	地域連携・患者相談センター	Validation of the Japanese version of the Clinical Frailty Scale.	Geriatr Gerontol Int. 2025 Mar;25(3):411–417.	Original Article
50	Takagi M, Sagara A, Kumakura Y, et al	薬剤部	Risk factors for nausea and vomiting requiring the daily administration of 5-HT(3) receptor antagonists in radiotherapy combined with temozolomide for high-grade glioma.	Nagoya J Med Sci. 2024 May;86(2):304–313.	Original Article
51	Kato N, Nakai T, Kodama S, et al	薬剤部	Risk Factors for Thrombocytopenia Induced by Capecitabine Plus Oxaliplatin Therapy in Patients With Colorectal Cancer.	In Vivo. 2024 May–Jun;38(3):1243–1252.	Original Article
52	Okumura H, Hayashi Y, Arioka Y, et al	薬剤部	Generation of induced pluripotent stem cells from a schizophrenia patient with heterozygous 1q21.1 deletion.	Stem Cell Res. 2024 Dec;81:103555.	Original Article
53	Nakayama N, Kono A, Moriwaki Y, et al	看護部	Improved Sympathetic Activity With Short-Term Effects of Yoga in Young Adults.	Holist Nurs Pract. 2024 Aug 29.	Original Article
54	Masaki H, Suzuki S, Nakayama N, et al	看護部	Risk markers for postoperative reintubation of intensive care unit patients: A retrospective multicentre study of the National Intensive Care Registry.	Intensive Crit Care Nurs. 2025 Apr;87:103956.	Original Article
55	Suzuki A, Suzuki N, Tamura S, et al	医療技術部	Dysfibrinogenemia With the I3Ser358Cys Variant, Fibrinogen Milano VII, Escapes From the Clauss–CWA Classification.	Int J Lab Hematol. 2025 Jun;47(3):559–562.	Letter
56	Suzuki A, Suzuki N, Okamoto S, et al	医療技術部	Prevalence Estimation of Dysfibrinogenemia Using the Clauss–CWA Approach.	Int J Lab Hematol. 2025 Apr;47(2):297–303.	Original Article
57	Sato K, Furukawa T, Kobayashi D, et al	メディカルITセンター	Environmental Geomarker to Assess Impact on Hospitalization.	Stud Health Technol Inform. 2024 Aug 22;316:1574–1575.	Original Article
58	Kondo T, Takahashi N, Aomatsu M, et al	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	To teach is to learn twice, revisited: a qualitative study of how residents learn through teaching in clinical environments.	BMC Med Educ. 2024 Aug 1;24(1):829. (オンライン)	Original Article
59	Kondo T, Onoue T, Kou S, et al	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	Implementing digital transformation in the revision process for Japan's Model Core Curriculum: A qualitative document analysis.	Med Teach. 2024 Sep;46(sup1):S53–S60.	Original Article
60	Sato Y, Shimizu S, Ueda K, et al	総合周産期母子医療センター	Safety and tolerability of a Muse cell-based product in neonatal hypoxic–ischemic encephalopathy with therapeutic hypothermia (SHIELD trial).	Stem Cells Transl Med. 2024 Nov 12;13(11):1053–1066.	Original Article
61	Maeda T, Tanahashi Y, Asada H, et al	総合周産期母子医療センター	High threshold of total developmental quotient at 3A?years for follow-up in extremely preterm infants.	Early Hum Dev. 2024 Sep;196:106098.	Original Article
62	Ueda K, Kataoka E, Natsume J, et al	総合周産期母子医療センター	Characteristics of neonatal-onset and presumed neonatal arterial ischemic stroke.	Brain Dev. 2025 Jun;47(3):104343.	Original Article
63	Ando Y	化学療法部	Greeting from the new editor-in-chief.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):536–537.	Original Article
64	Imaeda M, Tanaka S, Oya-Ito T, et al	化学療法部	Secondary carnitine deficiency during refeeding in severely malnourished patients with eating disorders: a retrospective cohort study.	J Eat Disord. 2024 Jul 9;12(1):97. (オンライン)	Original Article
65	Nishida Y, Yagami A, Takada S, et al	希少がんセンター	Clinical investigation forA?the mechanisms ofA?anaphylactic symptoms inA?osteoarthritis patients after diclofenac etalhyaluronate administration.	Mod Rheumatol. 2024 Jul 6;34(4):820–830.	Original Article
66	Ishikawa Y	血液内科	Recent progress in AML with recurrent genetic abnormalities.	Int J Hematol. 2024 Nov;120(5):525–527.	Original Article
67	Ushijima Y, Ishikawa Y, Nishiyama T, et al	血液内科	Clonal evolution process from essential thrombocythemia to acute myeloid leukemia in the original patient from whom the CALR-mutated Marimo cell line was established.	Nagoya J Med Sci. 2024 May;86(2):326–332.	Case Report
68	Ushijima Y, Naruse S, Ishikawa Y, et al	血液内科	Initiating-clone analysis in patients with acute myeloid leukemia secondary to essential thrombocythemia.	Sci Rep. 2024 Jul 10;14(1):15906. (オンライン)	Original Article
69	Ishikawa Y, Ushijima Y, Kiyoi H	血液内科	Recent advances in AML with mutated NPM1.	Int J Hematol. 2024 Nov;120(5):556–565.	Original Article
70	Yokota H, Miyao K, Sawa M, et al	血液内科	Long-Term Outcome of Eltrombopag With First-Line Immunosuppressive Therapy for Newly Diagnosed Severe Aplastic Anemia.	J Hematol. 2024 Aug;13(4):142–149.	Original Article
71	Ohara F, Suzuki A, Suzuki N, et al	血液内科	Newly diagnosed multiple myeloma with bleeding and coagulation abnormalities caused by a thrombin-inhibiting substance.	Int J Hematol. 2024 Dec;120(6):743–749.	Case Report
72	Adachi Y, Terakura S, Osaki M, et al	血液内科	Cullin-5 deficiency promotes chimeric antigen receptor T cell effector functions potentially via the modulation of JAK/STAT signaling pathway.	Nat Commun. 2024 Dec 10;15(1):10376. (オンライン)	Original Article
73	Sato T, Sugiyama D, Koseki J, et al	血液内科	Sustained inhibition of CSF1R signaling augments antitumor immunity through inhibiting tumor-associated macrophages.	JCI Insight. 2025 Jan 9;10(1):e178146. (オンライン)	Original Article

74	Shimada K, Yamaguchi M, Kuwatsuka Y, et al	血液内科	Rituximab, cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, and prednisolone combined with high-dose methotrexate plus intrathecal chemotherapy for newly diagnosed intravascular large B-cell lymphoma (PRIMEUR-IVL): long-term results of a multicentre, single-arm, phase 2 trial.	EClinicalMedicine. 2025 Jan 31;80:103078. (オンライン)	Original Article
75	Wakabayashi H, Terakura S, Ishigiwa K, et al	血液内科	Simple and early prediction of severe CAR-T-related adverse events after Axi-cel infusion by initial high fever.	Int J Hematol. 2025 Feb 27.	Original Article
76	Ozaki R, Motoyama S, Ozaki Y, et al	循環器内科	Impact of CT-angiography derived plaque characteristics on cardiac events in patients with a negative invasive fractional flow reserve.	Int J Cardiol. 2025 Feb 15;421:132895.	Original Article
77	Kondo S, Inden Y, Yanagisawa S, et al	循環器内科	Global myocardial work index predicts response to biventricular pacing in patients with non-left bundle branch block.	ESC Heart Fail. 2025 Jun;12(3):2210-2224.	Original Article
78	Goto T, Inden Y, Yanagisawa S, et al	循環器内科	A Practical Scoring System for Estimating Ventricular Arrhythmia Events in Patients with Cardiac Resynchronization Therapy for Primary Prevention.	Int Heart J. 2025 Mar 31;66(2):241-251.	Original Article
79	Takahara K, Ouchi N, Takikawa T, et al	循環器内科	Pemafibrate ameliorates renal injury through induction of FGF21 and ketone body production in male mice.	Physiol Rep. 2025 Feb;13(3):e70135.	Original Article
80	Hiraiwa H, Nagai S, Ito R, et al	循環器内科	Clinical utility of dynamic chest radiography in the oblique view to evaluate cardiac contraction: a case description.	Quant Imaging Med Surg. 2025 Mar 3;15(3):2632-2641.	Original Article
81	Hiraiwa H, Okumura T, Murohara T	循環器内科	Drug Therapy for Acute and Chronic Heart Failure with Preserved Ejection Fraction with Hypertension: A State-of-the-Art Review.	Am J Cardiovasc Drugs. 2024 May;24(3):343-369.	Original Article
82	Tokuda K, Tanaka A, Uemura Y, et al	循環器内科	Long-term clinical outcomes following percutaneous coronary intervention in patients aged 90a□years and older.	J Cardiol. 2024 Dec;84(6):388-393.	Original Article
83	Imai R, Adachi S, Yoshida M, et al	循環器内科	Clinical usefulness of endothelial progenitor cells in predicting the efficacy of riociguat in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Nagoya J Med Sci. 2024 May;86(2):292-303.	Original Article
84	Kondo T, Jhund PS, Gasparyan SB, et al	循環器内科	A hierarchical kidney outcome using win statistics in patients with heart failure from the DAPA-HF and DELIVER trials.	Nat Med. 2024 May;30(5):1432-1439.	Original Article
85	Hiraiwa H, Kasugai D, Okumura T, et al	循環器内科	Clinical implications of septic cardiomyopathy: A narrative review.	Medicine (Baltimore). 2024 Apr 26;103(17):e37940.	Original Article
86	Miyazaki T, Tanaka A, Tokuda Y, et al	循環器内科	The Incidence and Influencing Factors of In-hospital Frailty Progression following Transcatheter Aortic Valve Implantation.	Intern Med. 2024 Dec 15;63(24):3283-3289.	Original Article
87	Hiraiwa H, Yura Y, Okumura T, et al	循環器内科	Interplay of the heart, spleen, and bone marrow in heart failure: the role of splenic extramedullary hematopoiesis.	Heart Fail Rev. 2024 Sep;29(5):1049-1063.	Original Article
88	Tsurumi N, Naruse Y, Kurebayashi N, et al	循環器内科	Mid-term outcomes of delivery catheter-based and stylet-based right ventricular septal pacing: Follow-up results from a multicenter, prospective, randomized study.	J Arrhythm. 2024 Apr 6;40(3):605-613. (オンライン)	Original Article
89	Nagai S, Hiraiwa H, Ito R, et al	循環器内科	Usefulness of bicarbonate-based Impella purge solution in a patient with heparin-induced thrombocytopenia: the first case report of long-term management in Japan.	J Artif Organs. 2025 Mar;28(1):83-89.	Case Report
90	Kondo T, Campbell R, Jhund PS, et al	循環器内科	Low Natriuretic Peptide Levels and Outcomes in Patients With HeartA?Failure and Preserved Ejection Fraction.	JACC Heart Fail. 2024 Aug;12(8):1442-1455.	Original Article
91	Okumura T, Murohara T	循環器内科	Heart Failure with Improved Ejection Fraction: A New Frontier in Heart Failure Management.	Cardiology. 2025;150(2):155-157.	Original Article
92	Fujikawa Y, Kato K, Unno K, et al	循環器内科	Dynamic upregulation of retinoic acid signal in the early postnatal murine heart promotes cardiomyocyte cell cycle exit and maturation.	Sci Rep. 2024 Aug 30;14(1):20222. (オンライン)	Original Article
93	Kondo T, Yoshizumi T, Morimoto R, et al	循環器内科	Predicting survival after Impella implantation in patients with cardiogenic shock: The J-PVAD risk score.	Eur J Heart Fail. 2025 Jan;27(1):51-59.	Original Article
94	Kondo T, Henderson AD, Docherty KF, et al	循環器内科	Why Have We Not Been Able to Demonstrate Reduced Mortality in Patients With HFmrEF/HFpEF?	J Am Coll Cardiol. 2024 Nov 26;84(22):2233-2240.	Original Article
95	Okumura T, Murohara T	循環器内科	Gender Differences in Cardiovascular Disease: Perspectives on Disparities in Women's Treatment and Outcomes.	Cardiology. 2025;150(2):191-193.	Original Article
96	Kuwayama T, Okumura T, Kondo T, et al	循環器内科	Characteristics, Treatment, and Prognosis in Octogenarian and Older Patients With Acute Heart Failure in Japana□Prospective Observational Study on Acute Pharmacotherapy and Prognosis in Management of Acute Heart Failure (POPEYE-AHF Registry).	Circ J. 2024 Dec 25;89(1):83-92.	Original Article
97	Okumura T, Furusawa K, Ito R, et al	循環器内科	Preliminary Efficacy and Safety Analysis of Tafamidis in Post-Liver Transplant Patients with Hereditary Transthyretin Cardiac Amyloidosis.	Arch Med Res. 2025 Jan;56(1):103083.	Original Article

98	Yoshida S, Yoshida T, Inukai K, et al	循環器内科	Protein kinase N promotes cardiac fibrosis in heart failure by fibroblast-to-myofibroblast conversion.	Nat Commun. 2024 Sep 12;15(1):7638. (オンライン)	Original Article
99	Shimizu Y, Luo H, Murohara T	循環器内科	Disease-Specific Alteration of Cardiac Lymphatics: A Review from Animal Disease Models to Clinics.	Int J Mol Sci. 2024 Oct 3;25(19):10656. (オンライン)	Original Article
100	Kondo T, Jhund PS, Anand IS, et al	循環器内科	Effects of Sacubitril/Valsartan According to Natriuretic Peptide Levels in Patients Enrolled in PARADIGM-HF and PARAGON-HF.	JACC Heart Fail. 2025 Feb 27:S2213-1779(25)00088-5.	Original Article
101	Hiraiwa H, Nagai S, Ito R, et al	循環器内科	Ability of dynamic chest radiography to identify left ventricular systolic dysfunction in heart failure.	Int J Cardiovasc Imaging. 2025 Mar;41(3):507-521.	Original Article
102	Inoue N, Ito Y, Imaizumi T, et al	循環器内科	Assessment of adverse events stratified by timing of leadless pacemaker implantation with cardiac implantable electronic devices extraction due to infection: A systematic review and meta-analysis.	J Arrhythm. 2024 Dec 26;41(1):e13208. (オンライン)	Original Article
103	Yoshida T, Yoshida S, Inukai K, et al	循環器内科	ALPK2 prevents cardiac diastolic dysfunction in heart failure with preserved ejection fraction.	FASEB J. 2024 Nov 30;38(22):e70192.	Original Article
104	Nagai S, Komeyama S, Kondo T, et al	循環器内科	Direct Visualization of External Outflow Graft Obstruction in Durable Left Ventricular Assist Device Using Transthoracic Echocardiography.	ASAIO J. 2025 Mar 3.	Original Article
105	Yanagisawa S, Inden Y, Tsuji Y, et al	循環器内科	Acute Chest Pain and ST-Segment Changes in a Patient After PermanentA?His-Bundle Pacing PacemakerA?Implantation.	JACC Case Rep. 2025 Apr 16;30(8):103203.	Original Article
106	Yanagisawa S, Inden Y, Murohara T	循環器内科	Editorial to “Notched P-wave on digital electrocardiogram predicts the recurrence of atrial fibrillation in patients who have undergone catheter ablation”.	J Arrhythm. 2024 May 23;40(4):790-791. (オンライン)	Original Article
107	Yanagisawa S, Inden Y, Murohara T	循環器内科	Early catheter ablation: A promising and effective approach for atrial fibrillation and post-heart failure recovery-Timing matters.	Int J Cardiol Heart Vasc. 2025 Jan 9;56:101604. (オンライン)	Original Article
108	Yanagisawa S, Sato Y, Shimizu A, et al	循環器内科	Do not stop effective atrial-based antitachycardia pacing: Insights into episode duration and success rate for termination.	HeartRhythm Case Rep. 2024 Aug 16;10(12):867-871. (オンライン)	Case Report
109	Yanagisawa S, Inden Y, Murohara T	循環器内科	Editorial to “Performance of the novel ANTWERP score in predicting heart function improvement after atrial fibrillation ablation in Asian patients with heart failure”.	J Arrhythm. 2024 Oct 21;40(6):1370-1371. (オンライン)	Original Article
110	Shimojo M, Inden Y, Yanagisawa S, et al	循環器内科	Identification of regions maintaining atrial fibrillation through cycle length and cycle length gradient mapping.	J Arrhythm. 2024 Sep 27;40(6):1389-1399. (オンライン)	Original Article
111	Yamamoto H, Tanabe A, Kato T	小児科	A familial case of aortic dilatation with p.Tyr470Cys in TGFBR2 in which the phenotype included only vascular lesions.	Cardiol Young. 2024 Oct 4:1-3.	Original Article
112	Yokoyama S, Honda T, Ishizu Y, et al	消化器内科	Reply – Letter to the editor.	Clin Nutr. 2024 Aug;43(8):1855-1856.	Letter
113	Takuya Ishikawa, Suzuki H, Hori Y, et al	消化器内科	Randomized trial comparing the Franseen needle versus 2A?types of sharpened-tip 3-prong needles in EUS-guided tissue acquisition from solid pancreatic lesions.	Gastrointest Endosc. 2025 Mar 20:S0016-5107(25)00810-7.	Original Article
114	Kumano R, Ohno E, Ishikawa T, et al	消化器内科	Prognostic Role of Enhancing Mural Nodules in Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms with High-Risk Stigmata.	Ann Surg. 2025 Feb 17.	Original Article
115	Suzuki T, Mizuno K, Yamamoto T, et al	消化器内科	Clinical characteristics of immune checkpoint inhibitor-related pancreatic injury with pancreatitis in patients with advanced malignancies.	Dig Liver Dis. 2025 Mar 27:S1590-8658(25)00273-7.	Original Article
116	Ishikawa T, Yamao K, Kawashima H	消化器内科	Balancing benefits and risks of endotherapy in painless pancreatic stones: New horizons in chronic pancreatitis management.	Dig Endosc. 2025 Mar 19.	Original Article
117	Kano Y, Ishikawa T, Yamao K, et al	消化器内科	Usefulness of endoscopic ultrasonography for differentiating between non-functional pancreatic neuroendocrine neoplasm and intrapancreatic accessory spleen.	Sci Rep. 2025 Feb 21;15(1):6385. (オンライン)	Original Article
118	Yasuda T, Ito T, Ishikawa T, et al	消化器内科	Clinical features and pathological findings by liver biopsy in patients with immune-related sclerosing cholangitis induced by immune checkpoint inhibitors.	Dig Liver Dis. 2025 Apr;57(4):877-884.	Original Article
119	Ikegami S, Maeda K, Urano T, et al	消化器内科	Monoclonal Antibody Against Mature Interleukin-18 Ameliorates Colitis in Mice and Improves Epithelial Barrier Function.	Inflamm Bowel Dis. 2024 Aug 1;30(8):1353-1366.	Original Article
120	Yamao K, Takenaka M, Yoshida A, et al	消化器内科	Concealed pancreatic cancer in acute pancreatitis: Early MRCP and EUS surveillance improves prognosis and identifies high-risk patients.	Pancreatology. 2025 Feb 27:S1424-3903(25)00041-9.	Original Article
121	Hasegawa I, Suzuki S, Yamamura T, et al	消化器内科	Linked color imaging improves colorectal lesion detection especially for low performance endoscopists: An international trial in Asia.	J Gastroenterol Hepatol. 2024 Jul;39(7):1374-1381.	Original Article

122	Toriyama K, Uehara T, Iwakoshi A, et al	消化器内科	HNF6 and HNF4I± expression in adenocarcinomas of the liver, pancreaticobiliary tract, and gastrointestinal tract: an immunohistochemical study of 480 adenocarcinomas of the digestive system.	Pathology. 2024 Oct;56(6):804–813.	Original Article
123	Mizuno F, Imai N, Mizuno K, et al	消化器内科	Clinical Outcomes of Use of the Porous Glass Membrane Pumping Emulsification Device During Transarterial Chemoembolization for Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Res. 2024 Jul;44(7):3185–3191.	Original Article
124	Kataoka K, Ishikawa T, Yamao K, et al	消化器内科	Risk factors for recurrent biliary obstruction following suprapapillary placement of a plastic stent as preoperative biliary drainage for perihilar biliary malignancy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Oct;31(10):726–736.	Original Article
125	Kano Y, Ishikawa T, Yamao K, et al	消化器内科	What is the appropriate method of pathological specimen collection for cholangiocarcinoma detection in primary sclerosing cholangitis?	J Gastroenterol. 2024 Jul;59(7):621–628.	Original Article
126	Inukai Y, Yamamoto K, Honda T, et al	消化器内科	Intestinal Microbiome Associated with Efficacy of Atezolizumab and Bevacizumab Therapy for Hepatocellular Carcinoma.	Cancers (Basel). 2024 Apr 26;16(9):1675. (オンライン)	Original Article
127	Kurata Y, Hirose T, Kakushima N, et al	消化器内科	Endoscopic Diagnosis of Epithelial Subtypes of Superficial Non–Ampullary Duodenal Epithelial Tumors using Magnifying Narrow–Band Imaging.	Dig Dis. 2024;42(5):399–406.	Original Article
128	Yamao K, Ishikawa T, Mizutani Y, et al	消化器内科	Gastrointestinal: Pancreatic intra–epithelial neoplasia from partial parenchymal atrophy.	J Gastroenterol Hepatol. 2024 Sep;39(9):1711–1712.	Case Report
129	Ishikawa T, Yamao K, Mizutani Y, et al	消化器内科	A prospective study on the histological evaluation of type 1 autoimmune pancreatitis using endoscopic ultrasound–guided fine needle biopsy with a 19–gauge Franseen needle.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Aug;31(8):581–590.	Original Article
130	Yokoyama S, Honda T, Ishizu Y, et al	消化器内科	Risk factors for decreased bone mineral density in patients with metabolic dysfunction–associated steatotic liver disease: A cross–sectional study at a health examination center.	Clin Nutr. 2024 Jun;43(6):1425–1432.	Original Article
131	Yokoyama S, Honda T, Ishizu Y, et al	消化器内科	Predicting early rebleeding and mortality after endoscopic hemostasis of esophagogastric varices: Diagnostic performance of aspartate aminotransferase–to–platelet ratio index and model for end–stage liver disease–Na score.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Nov;31(11):830–839.	Original Article
132	Hirose T, Kakushima N, Minami Y, et al	消化器内科	Initial Tumor Size and Narrow–Band Image Findings Estimate Growth Speed in Duodenal Tumors.	Dig Dis. 2024;42(6):512–521.	Original Article
133	Yokoyama S, Ikegami S, Iida T, et al	消化器内科	Hepatic Artery Aneurysm Rupture After Double–Balloon Endoscopy in Biliary Atresia.	United European Gastroenterol J. 2025 Apr;13(3):491–493.	Case Report
134	Takada Y, Ishikawa T, Yamao K, et al	消化器内科	A case of pancreatic fistula with disruption of the inferior branch of the pancreatic duct caused by a pancreatic stent after endoscopic papillectomy.	Clin J Gastroenterol. 2025 Feb;18(1):169–175.	Case Report
135	Kajikawa G, Sawada T, Nakamura M, et al	消化器内科	Predictors of the efficacy of vedolizumab in patients with ulcerative colitis.	Nagoya J Med Sci. 2024 Aug;86(3):407–421.	Original Article
136	Takada Y, Ishikawa T, Yamao K, et al	消化器内科	Endoscopic Papillectomy for Ampullary Gangliocytic Paraganglioma: A Case Series and Literature Review.	Intern Med. 2025 Apr 15;64(8):1151–1159.	Case Report
137	Yokoyama S, Muto H, Honda T, et al	消化器内科	Identification of Two Long Noncoding RNAs, Kcnq1ot1 and Rmst, as Biomarkers in Chronic Liver Diseases in Mice.	Int J Mol Sci. 2024 Aug 16;25(16):8927. (オンライン)	Original Article
138	Yamamoto T, Ito T, Mizuno K, et al	消化器内科	Impact of BMI and Body Composition on First–line Systemic Treatment for Unresectable Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Res. 2024 Sep;44(9):4101–4111.	Original Article
139	Imai N, Yamamoto T, Mizuno K, et al	消化器内科	A Proposal for a Simple Subclassification of Advanced Hepatocellular Carcinoma in Systemic Treatment.	Cancers (Basel). 2024 Nov 12;16(22):3797. (オンライン)	Original Article
140	Honda T, Ishigami M, Ishizu Y, et al	消化器内科	Gut microbes associated with functional cure of chronic hepatitis B.	Hepatol Int. 2025 Jan 27.	Original Article
141	Tanaka H, Nakamura M, Yamamura T, et al	光学医療診療部	A newly proposed endoscopic score system to evaluate the entire small bowel and predict the prognosis in Crohn’s disease.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):608–619.	Original Article
142	Furukawa K, Furune S, Ishikawa E, et al	消化器内科	Endoscopic submucosal dissection using an ultrathin endoscope for esophageal squamous cell carcinoma with anastomotic stenosis.	Rev Esp Enferm Dig. 2024 Sep;116(9):495–497.	Case Report
143	Inukai Y, Ito T, Yokoyama S, et al	消化器内科	Type 2 Diabetes and Hypertension as Risk Factors for Advanced Fibrosis in Biopsy Proven Metabolic Dysfunction–Associated Steatotic Liver Disease.	J Dig Dis. 2024 Nov–Dec;25(11–12):685–693.	Original Article
144	Sato T, Furukawa T, Teramachi R, et al	呼吸器内科	Mild elevation of pulmonary vascular resistance predicts mortality regardless of mean pulmonary artery pressure in mild interstitial lung disease.	Thorax. 2024 Apr 15;79(5):422–429. (オンライン)	Original Article

145	Tanaka I, Hori K, Koyama J, et al	呼吸器内科	Femoral bone metastasis is a poor prognostic factor in EGFR-TKIs-treated patients with EGFR-mutated non-small-cell lung cancer: a retrospective, multicenter cohort study.	Ther Adv Med Oncol. 2024 Dec 20;16:17588359241303090. (オンライン)	Original Article
146	Fukihara J, Sakamoto K, Ikeyama Y, et al	呼吸器内科	Mitochondrial DNA in bronchoalveolar lavage fluid is associated with the prognosis of idiopathic pulmonary fibrosis: a single cohort study.	Respir Res. 2024 May 10;25(1):202. (オンライン)	Original Article
147	Baba T, Ito T, Sato Y, et al	呼吸器内科	Bronchial occlusion with endobronchial Watanabe spigots using a two-scope technique for massive haemoptysis.	Respirol Case Rep. 2024 Jun 11;12(6):e01405. (オンライン)	Case Report
148	Kimura R, Adachi Y, Hirade K, et al	呼吸器内科	ARAF Amplification in Small-Cell Lung Cancer-Transformed Tumors Following Resistance to Epidermal Growth Factor Receptor-Tyrosine Kinase Inhibitors.	Cancers (Basel). 2024 Oct 16;16(20):3501. (オンライン)	Original Article
149	Funasaka T, Makino Y, Shibata T, et al	呼吸器内科	Multiple cavitary pulmonary metastases from pancreatic cancer diagnosed using transbronchial lung cryobiopsy.	Respirol Case Rep. 2024 Sep 25;12(9):e70031. (オンライン)	Case Report
150	Nakamura S, Wakahara K, Majima S, et al	呼吸器内科	Blood eosinophil count correlates with alveolar damage in emphysema-predominant COPD.	BMC Pulm Med. 2024 Oct 13;24(1):510. (オンライン)	Original Article
151	Yokoi E, Wakahara K, Nakamura S, et al	呼吸器内科	Increased sputum peripheral helper T cells are associated with the severity of rheumatoid arthritis but not with the severity of airway disease.	Front Immunol. 2025 Feb 27;16:1526881. (オンライン)	Original Article
152	Sasaki T, Sugiyama M, Kuno M, et al	糖尿病・内分泌内科	Voluntary exercise suppresses inflammation and improves insulin resistance in the arcuate nucleus and ventral tegmental area in mice on a high-fat diet.	Physiol Behav. 2024 Dec 1;287:114703.	Original Article
153	Tsumura T, Hagiwara D, Naito S, et al	糖尿病・内分泌内科	Compensatory mechanisms underlying arginine vasopressin regulation in transient polyuria during pregnancy.	Peptides. 2025 Feb;184:171352.	Original Article
154	Yamagami A, Iwama S, Kobayashi T, et al	糖尿病・内分泌内科	Changes in TgAb and TPOAb titers are greater in thyrotoxicosis than isolated hypothyroidism induced by PD-1 blockade.	Endocr J. 2024 May 23;71(5):515-526.	Original Article
155	Kobayashi T, Iwama S, Yamagami A, et al	糖尿病・内分泌内科	Combined use of tyrosine kinase inhibitors with PD-(L)1 blockade increased the risk of thyroid dysfunction in PD-(L)1 blockade: a prospective study.	Cancer Immunol Immunother. 2024 Jun 4;73(8):146. (オンライン)	Original Article
156	Kobayashi T, Iwama S, Suzuki K, et al	糖尿病・内分泌内科	Hyperthyroidism Due to Functioning Metastatic Bone Lesions of Follicular Thyroid Carcinoma Treated With Lenvatinib.	JCEM Case Rep. 2024 Jul 24;2(7):luae139. (オンライン)	Case Report
157	Asano T, Suga H, Niioka H, et al	糖尿病・内分泌内科	A deep learning approach to predict differentiation outcomes in hypothalamic-pituitary organoids.	Commun Biol. 2024 Dec 6;7(1):1468. (オンライン)	Original Article
158	Hirose T, Takagi H, Kuno M, et al	糖尿病・内分泌内科	Dapagliflozin increased pancreatic beta cell proliferation and insulinogenic index in mice fed a high-fat and high-sodium chloride diet.	Biochem Biophys Res Commun. 2025 Feb 16;749:151364.	Original Article
159	Suzuki K, Kobayashi T, Izuchi T, et al	糖尿病・内分泌内科	Development of pituitary dysfunction and destructive thyroiditis is associated with better survival in non-small cell lung cancer patients treated with programmed cell death-1 inhibitors: a prospective study with immortal time bias correction.	Front Endocrinol (Lausanne). 2024 Nov 7;15:1490042. (オンライン)	Original Article
160	Iwama S, Kobayashi T, Arima H	糖尿病・内分泌内科	Management, biomarkers and prognosis in people developing endocrinopathies associated with immune checkpoint inhibitors.	Nat Rev Endocrinol. 2025 May;21(5):289-300.	Original Article
161	Hayase A, Onoue T, Nishida K, et al	糖尿病・内分泌内科	Influence of previous health guidance history: impact and limitations of a single health guidance session.	Environ Occup Health Pract. 2024 Sep 25;6(1):2024-0011-OA. (オンライン)	Original Article
162	Iwama S, Kobayashi T, Izuchi T, et al	糖尿病・内分泌内科	Combined PD-1 and CTLA-4 Blockade Increases the Risks of Multiple Pituitary Hormone Deficiency and Isolated Adrenocorticotrophic Deficiency: A Prospective Study.	Endocrinol Metab (Seoul). 2025 Feb 11.	Original Article
163	Maeda R, Onoue T, Mizutani K, et al	糖尿病・内分泌内科	Continuous glucose monitoring with low-glucose alerts in insulin-treated drivers with diabetes: A randomized crossover study.	Diabetes Res Clin Pract. 2025 Apr;222:112074.	Original Article
164	Handa T, Onoue T, Maeda R, et al	糖尿病・内分泌内科	Guidance on Energy Intake Based on Resting Energy Expenditure and Physical Activity: Effective for Reducing Body Weight in Patients with Obesity.	Nutrients. 2025 Jan 7;17(2):202. (オンライン)	Original Article
165	Sugiura T, Doke T, Tanaka A, et al	腎臓内科	MPO-ANCA-positive rapidly progressive glomerulonephritis after COVID-19 vaccination during treatment of plaque psoriasis with bimekizumab.	CEN Case Rep. 2025 Apr;14(2):194-199.	Case Report
166	Nagase K, Imaizumi T, Nagase FN, et al	腎臓内科	Unveiling the Patterns of Water Diuresis in Profound Hyponatremia Management in Intensive Care Unit Settings.	Kidney360. 2024 Oct 1;5(10):1435-1445.	Original Article
167	Tatematsu Y, Imaizumi T, Michihata N, et al	腎臓内科	Annual trends in atypical haemolytic uremic syndrome management in Japan and factors influencing early diagnosis and treatment: a retrospective study.	Sci Rep. 2024 Aug 6;14(1):18265. (オンライン)	Original Article

168	Kojima M, Shibata M, Tomita S, et al	腎臓内科	Recurrent localized fever caused by cryoglobulinemic vasculitis following hemodialysis: A case report.	CEN Case Rep. 2025 Apr;14(2):151–156.	Case Report
169	Maruyama S, Tanaka T, Akiyama H, et al	腎臓内科	Cardiovascular, renal and mortality risk by the KDIGO heatmap in Japan.	Clin Kidney J. 2024 Jul 30;17(8):sfae228. (オンライン)	Original Article
170	Maruyama S, Ikeda Y, Kaname S, et al	腎臓内科	Eculizumab for adult patients with atypical haemolytic–uraemic syndrome: full dataset analysis of Japanese post–marketing surveillance.	J Nephrol. 2024 Nov;37(8):2181–2190.	Original Article
171	Nishibori N, Okazaki M, Miura Y, et al	腎臓内科	Association of calciprotein particles with serum phosphorus among patients undergoing conventional and extended–hours haemodialysis.	Clin Kidney J. 2024 May 6;17(6):sfae121. (オンライン)	Original Article
172	Owaki A, Tanaka A, Furuhashi K, et al	腎臓内科	Prognosis of microscopic polyangiitis is well predictable in the first 2 weeks of treatment.	Clin Exp Nephrol. 2024 Jul;28(7):701–706.	Original Article
173	Kato S, Wang J, Onishi Y, et al	腎臓内科	Association between magnesium, erythropoietin resistance and mortality: the Japanese Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (J–DOPPS).	Clin Kidney J. 2024 Jun 21;17(7):sfae153. (オンライン)	Original Article
174	Niwa S, Tanaka A, Furuhashi K, et al	腎臓内科	Urinary presepsin is a novel biomarker capable of directly assessing monocyte/macrophage infiltration in kidney diseases.	Sci Rep. 2024 Dec 3;14(1):30088. (オンライン)	Original Article
175	Maeda K, Abdi R, Tsokos GC	腎臓内科	The Role of Podocytes in Lupus Pathology.	Curr Rheumatol Rep. 2024 Dec 28;27(1):10. (オンライン)	Original Article
176	Hattori A, Imaizumi T, Toda T, et al	腎臓内科	Factors associated with awareness of chronic kidney disease, and impact of awareness on renal prognosis.	Clin Exp Nephrol. 2025 May;29(5):596–606.	Original Article
177	Takami N, Okazaki M, Ozeki T, et al	腎臓内科	Plasma Metabolite Profiles Between In–Center Daytime Extended–Hours and Conventional Hemodialysis.	Kidney360. 2025 Mar 1;6(3):420–431.	Original Article
178	Inoue M, Matsuo K, Tamaki T, et al	腎臓内科	“Wire kissing technique” and “externalization and pull–through technique” for treating chronic total occlusion in hemodialysis vascular access: A case report.	J Vasc Access. 2024 Aug 16;11297298241273651.	Original Article
179	Nakamura Y, Sasaki S, Imaizumi T, et al	腎臓内科	Recipients of public assistance with advanced chronic kidney disease: insights into receiving a presentation of kidney replacement therapy options and polypharmacy from Japanese investigators with innovative network about kidney disease study.	Clin Exp Nephrol. 2025 Jan;29(1):67–74.	Original Article
180	Nagase K, Imaizumi T, Yamamori A, et al	腎臓内科	Correction of profound hyponatraemia following rapid bolus therapy: effectiveness of the Barsoum–Levine formula based on the Edelman equation.	Clin Kidney J. 2024 Dec 13;18(2):sfae402. (オンライン)	Original Article
181	Sugiura T, Muto R, Amano T, et al	腎臓内科	Unexpected Hypotension in a Female Patient with Fabry Disease: Switching from Agalsidase I± to I2 after Long–term ERT.	Intern Med. 2025 Feb 8.	Original Article
182	Sunohara K, Onogi C, Tanaka A, et al	腎臓内科	Association between alpha blocker use and the risk of fractures in patients with chronic kidney disease: a cohort study.	BMC Nephrol. 2024 Dec 2;25(1):442. (オンライン)	Original Article
183	Furuhashi K, Kakiuchi M, Ueda R, et al	腎臓内科	Bone marrow niches orchestrate stem–cell hierarchy and immune tolerance.	Nature. 2025 Feb;638(8049):206–215.	Original Article
184	Tsuboi T, Hattori K, Ishimoto T, et al	腎臓内科	InA?vivo efficacy and safety of systemically administered serinol nucleic acid–modified antisense oligonucleotides in mouse kidney.	Mol Ther Nucleic Acids. 2024 Dec 18;36(1):102387. (オンライン)	Original Article
185	Imaizumi T, Hasegawa T, Kosugi T, et al	先端医療開発部	Management of anaemia and prognosis of patients undergoing maintenance peritoneal dialysis: A nationwide cohort study.	Perit Dial Int. 2024 Jun 3;8968608241244995.	Original Article
186	Imaizumi T, Yokota T, Funakoshi K, et al	先端医療開発部	Development and validation of an algorithm for identifying patients undergoing dialysis from patients with advanced chronic kidney disease.	Clin Exp Nephrol. 2025 May;29(5):650–661.	Original Article
187	Imaizumi T, Okazaki M, Hishida M, et al	先端医療開発部	Longitudinal impact of extended–hours hemodialysis with a liberalized diet on nutritional status and survival outcomes: findings from the LIBERTY cohort.	Clin Exp Nephrol. 2025 Jan 28.	Original Article
188	Kawamura M, Shimojo M, Tatsugami F, et al	放射線科	Stereotactic arrhythmia radioablation for ventricular tachycardia: a review of clinical trials and emerging roles of imaging.	J Radiat Res. 2025 Jan 22;66(1):1–9.	Original Article
189	Ogawa H, Takehara Y, Higashi M, et al	放射線科	A case of an ectopic Pacinian corpuscle in the pancreas mimicking pancreatic metastasis of renal cell carcinoma.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):178–181.	Case Report
190	Ito R, Kato K, Nanataki K, et al	放射線科	Assessing large language models for Lugano classification of malignant lymphoma in Japanese FDG–PET reports.	EJNMMI Rep. 2025 Mar 10;9(1):8. (オンライン)	Original Article
191	Naganawa S, Ito R, Kawamura M, et al	放射線科	The Endolymph Signal in Non–contrast Enhanced 3D–real IR Image Differs between the Ears with and without Significant Endolymphatic Hydrops.	Magn Reson Med Sci. 2025 Mar 4.	Original Article
192	Naganawa S, Ito R, Kawamura M, et al	放射線科	Direct Visualization of Tracer Permeation into the Endolymph in Human Patients Using MR Imaging.	Magn Reson Med Sci. 2025 Apr 1;24(2):253–261.	Original Article

193	Yamada K, Takehara Y, Ishigaki S, et al	放射線科	Added value of diffusion-weighted magnetic resonance imaging in the diagnosis of recurrent cholangiocarcinoma.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):22–36.	Original Article
194	Nakamichi R, Taoka T, Ito R, et al	放射線科	Imaging evaluation and volumetric measurement of the space surrounding the diploic veins.	Jpn J Radiol. 2024 Sep;42(9):953–961.	Original Article
195	Satake H, Kinoshita F, Ishigaki S, et al	放射線科	Predictive Performance of Radiomic Features Extracted from Breast MR Imaging in Postoperative Upgrading of Ductal Carcinoma in Situ to Invasive Carcinoma.	Magn Reson Med Sci. 2024 May 15.	Original Article
196	Yamada T, Kawamura M, Oie Y, et al	放射線科	The current state and future perspectives of radiotherapy for cervical cancer.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Oct;50 Suppl 1:84–94.	Original Article
197	Uota F, Iwano S, Kamiya S, et al	放射線科	Diagnostic utility of chest wall vessel involvement sign on ultra-high-resolution CT for primary lung cancer infiltrating the chest wall.	Eur Radiol. 2025 Jan 28.	Original Article
198	Miyachi T, Kamomae T, Kawabata F, et al	放射線科	Effects of cardiac motion on dose distribution during stereotactic arrhythmia radioablation treatment: A simulation and phantom study.	J Appl Clin Med Phys. 2025 May;26(5):e70021.	Original Article
199	Taoka T, Iwamoto K, Miyata S, et al	放射線科	MR Imaging Indices for Brain Interstitial Fluid Dynamics and the Effects of Orexin Antagonists on Sleep.	Magn Reson Med Sci. 2025 Feb 8.	Original Article
200	Naganawa S, Ito R, Kawamura M, et al	放射線科	Preliminary Findings on Non-contrast Enhanced Positive Endolymph Images: Limited Delineation of Endolymphatic Space.	Magn Reson Med Sci. 2025 Mar 4.	Original Article
201	Iwata-Endo K, Sahashi K, Kawai K, et al	精神科	Correcting tau isoform ratios with a long-acting antisense oligonucleotide alleviates 4R-tauopathy phenotypes.	Mol Ther Nucleic Acids. 2025 Mar 5;36(2):102503. (オンライン)	Original Article
202	Obara K, Furuta T, Yagi C, et al	脳神経内科	Convexity subarachnoid hemorrhage revealed contralateral internal carotid artery dissection due to Eagle syndrome: a case report.	BMC Neurol. 2024 Oct 8;24(1):380. (オンライン)	Case Report
203	Fujioka Y, Kawai K, Endo K, et al	脳神経内科	Stress-impaired reward pathway promotes distinct feeding behavior patterns.	Front Neurosci. 2024 May 9;18:1349366. (オンライン)	Original Article
204	Hiraga K, Hattori M, Satake Y, et al	脳神経内科	Plasma biomarkers of neurodegeneration in patients and high risk subjects with Lewy body disease.	NPJ Parkinsons Dis. 2024 Jul 31;10(1):135. (オンライン)	Original Article
205	Uematsu T, Tsuboi T, Hiraga K, et al	脳神経内科	Differential impact of fixation characteristics on 3D perception via texture gradient recognition in Parkinson's disease.	Parkinsonism Relat Disord. 2024 Nov;128:107116.	Original Article
206	Obara K, Tsuboi T, Mori Y, et al	脳神経内科	Persistence Pays: Diagnosing Tuberculous Meningitis after 11 Negative Polymerase Chain Reaction Evaluations.	Intern Med. 2025 Mar 15;64(6):931–936.	Case Report
207	Ito S, Yokoi S, Fukami Y, et al	脳神経内科	Guillain-BarrAc syndrome with overlap between the finger drop variant and acute bulbar palsy: a case report.	BMC Neurol. 2024 Oct 23;24(1):411. (オンライン)	Case Report
208	Hatanaka M, Hara K, Ohba C, et al	脳神経内科	Combined quantitative analysis of the nigro-striata system in multiple system atrophy and Parkinson's disease.	J Neurol Sci. 2025 Jan 15;468:123331.	Original Article
209	Furukawa S, Fukami Y, Hanamatsu H, et al	脳神経内科	Serum glycobiomarkers for chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	Eur J Neurol. 2025 Jan;32(1):e70023.	Original Article
210	Suzuki M, Nakamura T, Ohba C, et al	脳神経内科	Decreased heart rate variability in sympathetic dominant states in Parkinson's disease and isolated REM sleep behavior disorder.	Parkinsonism Relat Disord. 2024 Jul;124:107020.	Original Article
211	Kawai K, Iwamoto K, Miyata S, et al	精神科	Association of sleep-wake state discrepancy and depressive symptoms with restorative sleep in patients with depression.	Sleep Med. 2025 Mar;127:166–169.	Original Article
212	Inada T, Tanabe Y, Fukaya Y, et al	精神科	Severity of Antipsychotic-Induced Cervical Dystonia Assessed by the Algorithm-Based Rating System.	J Clin Psychiatry. 2024 Apr 15;85(2):23m14929. (オンライン)	Original Article
213	Nakamura Y, Ueno T, Takahashi N, et al	精神科	Early identification of postpartum depression using machine learning.	Psychiatry Clin Neurosci. 2024 Jun;78(6):372–373.	Letter
214	Hayashi Y, Okumura H, Arioka Y, et al	精神科	Analysis of human neuronal cells carrying ASTN2 deletion associated with psychiatric disorders.	Transl Psychiatry. 2024 Jun 3;14(1):236. (オンライン)	Original Article
215	Mori D, Inami C, Ikeda R, et al	精神科	Mice with deficiency in Pcdh15, a gene associated with bipolar disorders, exhibit significantly elevated diurnal amplitudes of locomotion and body temperature.	Transl Psychiatry. 2024 May 28;14(1):216. (オンライン)	Original Article
216	Arafuka S, Torii Y, Fujishiro H, et al	精神科	Premorbid autistic traits in phenocopy syndrome of behavioral variant frontotemporal dementia: An autopsy revealing primary age-related tauopathy.	Asian J Psychiatr. 2025 Jan;103:104314.	Letter
217	Iwamoto K, Nakabayashi T, Yamaguchi A, et al	精神科	Effects of frequently prescribed antiseizure medications on motor vehicle driving performance: Narrative review based on a tiered approach for the assessment of clinically meaningful driving impairment in the Ministry of Health, Labour, and Welfare guideline.	Neuropsychopharmacol Rep. 2024 Dec;44(4):682–687.	Original Article

218	Suzuki K, Iwata-Endo K, Suzuki K, et al	精神科	Late-onset delusional disorder as psychiatric-onset dementia with Lewy bodies: a longitudinal follow-up study.	Asian J Psychiatr. 2024 Dec;102:104274.	Letter
219	Furukawa S, Arafuka S, Kato H, et al	精神科	Treatment-resistant schizophrenia with 22q11.2 deletion and additional genetic defects.	Neuropsychopharmacol Rep. 2024 Dec;44(4):847-851.	Case Report
220	Furukawa S, Kushima I, Kato H, et al	精神科	Whole-genome sequencing analysis of Japanese autism spectrum disorder trios.	Psychiatry Clin Neurosci. 2025 Mar;79(3):87-97.	Original Article
221	Takeda K, Fujishiro H, Torii Y, et al	精神科	Validation of the neuropathological criteria of the fourth Consortium on dementia with Lewy Bodies in autopsy cases from psychiatric hospitals.	Psychiatry Clin Neurosci. 2025 Mar 31.	Original Article
222	Ebina T, Iwamoto K, Ando M, et al	精神科	Second-generation antipsychotic-induced dystonia: Analysis using the Japanese Adverse Drug Event Report (JADER) database.	Psychiatry Clin Neurosci. 2025 Mar;79(3):117-124.	Original Article
223	Kushima I, Nakatochi M, Ozaki N	精神科	Copy Number Variations and Human Well-Being: Integrating Psychiatric, Physical, and Socioeconomic Perspectives.	Biol Psychiatry. 2024 Dec 4:S0006-3223(24)01788-8.	Original Article
224	Nohira S, Kuramitsu S, Ohno M, et al	脳神経外科	Tertiary Lymphoid Structures in Brain Metastases of Lung Cancer: Prognostic Significance and Correlation With Clinical Outcomes.	Anticancer Res. 2024 Aug;44(8):3615-3621.	Original Article
225	Saito R, Kanamori M, Arakawa Y, et al	脳神経外科	A Multicenter Phase II Trial of Nimustine Hydrochloride Administered via Convection-Enhanced Delivery in Children With DIPG.	Cancer Sci. 2025 Mar 27.	Original Article
226	Matsuo M, Nagashima Y, Nishimura Y, et al	脳神経外科	Femoral Nerve Injury After Prone-Position Lumbar Discectomy: A Case Report Highlighting the Role of Ultrasound in Recovery Monitoring.	Cureus. 2024 Dec 30;16(12):e76653. (オンライン)	Case Report
227	Ishizaki T, Maesawa S, Suzuki T, et al	脳神経外科	Frequency-specific network changes in mesial temporal lobe epilepsy: Analysis of chronic and transient dysfunctions in the temporo-amygdala-orbitofrontal network using magnetoencephalography.	Epilepsia Open. 2025 Apr;10(2):557-570.	Original Article
228	Kibe Y, Chalise L, Ohka F, et al	脳神経外科	Imaging features and consideration of progression pattern of diffuse hemispheric gliomas, H3 G34-mutant.	Acta Neuropathol Commun. 2025 Feb 27;13(1):43. (オンライン)	Original Article
229	Sasaki K, Ohka F, Motomura K, et al	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	Endoscope-assisted brain tumor removal overcomes the restriction of using intraoperative open magnetic resonance imaging in the suboccipital approach.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):168-172.	Case Report
230	Nagashima Y, Nishimura Y, Abe T, et al	脳神経外科	Oblique lateral interbody fusion with O-arm navigation for lumbar hemivertebra in an adult: A technical case report.	J Craniovertebr Junction Spine. 2025 Jan-Mar;16(1):114-117.	Case Report
231	Kibe Y, Ohka F, Aoki K, et al	脳神経外科	Pediatric-type high-grade gliomas with PDGFRA amplification in adult patients with Li-Fraumeni syndrome: clinical and molecular characterization of three cases.	Acta Neuropathol Commun. 2024 Apr 11;12(1):57. (オンライン)	Original Article
232	Fuse Y, Ishii K, Kanamori F, et al	脳神経外科	Development and validation of machine learning models to predict postoperative infarction in moyamoya disease.	J Neurosurg. 2024 Apr 5;141(4):927-935. (オンライン)	Original Article
233	Suzuki T, Deguchi S, Matsushima K, et al	脳神経外科	Brain Metastasis of Non-small Cell Lung Cancer After Disease-Free Survival of 5A?years: Case Series and Comprehensive Literature Review.	World Neurosurg. 2024 Jun;186:e353-e359.	Case Report
234	Hirose T, Deguchi S, Yasui K, et al	脳神経外科	The indication of palliative whole-brain radiotherapy for patients with brain metastases: a simple prognostic scoring system in the era of stereotactic radiosurgery.	BMC Cancer. 2024 Aug 2;24(1):940. (オンライン)	Original Article
235	Hanyu T, Izumi T, Tanei T, et al	脳神経外科	A Combination Technique of N-butyl-2-cyanoacrylate and Minimal Coils with Flow Control for Parent Artery Occlusion of a Giant Internal Carotid Artery Aneurysm: A Technical Note.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 Sep 15;64(9):347-351.	Original Article
236	Nawa S, Ohka F, Motomura K, et al	脳神経外科	Obstructive Hydrocephalus Due to Aggressive Posterior Fossa Tumor Exhibiting Histological Characteristics of Pilocytic Astrocytoma in Two Adult Neurofibromatosis Type 1 (NF1) Cases.	Cureus. 2024 Apr 21;16(4):e58697. (オンライン)	Case Report
237	Araki Y, Yokoyama K, Uda K, et al	脳神経外科	The Potential Role of Preoperative Posterior Cerebral Artery Involvement in Predicting Postoperative Transient Neurological Deficits and Ischemic Stroke After Indirect Revascularization in Patients With Moyamoya Disease.	World Neurosurg. 2024 Jul;187:e610-e619.	Original Article
238	Kawasaki Y, Izumi T, Nishihori M, et al	脳神経外科	Superselective Angiography of Vasa Vasorum Within Partially Thrombosed Vertebral Aneurysm: A Case Report.	Neurosurgery. 2025 Mar 1;96(3):e52-e57.	Case Report
239	Nawashiro T, Kurimoto M, Nagakura M, et al	脳神経外科	Comparison of the inter-laminar approach and laminotomy open approach for filum terminale lipoma: A retrospective analysis.	Childs Nerv Syst. 2024 Nov;40(11):3801-3810.	Original Article
240	Tanei T, Maesawa S, Nishimura Y, et al	脳神経外科	Comparison of Early-onset Efficacy of Anti-calcitonin Gene-related Peptide Monoclonal Antibodies for Patients with Migraine in Real-world Clinical Practice: Study Protocol for an Exploratory Clinical Trial	Neurol Med Chir (Tokyo). 2025 Feb 15;65(2):71-80.	Original Article

241	Okumura T, Usui N, Kondo A, et al	脳神経外科	Favorable seizure and developmental outcomes without preoperative intracranial electroencephalography in pediatric patients following epilepsy surgery: A single epilepsy center retrospective study.	Epilepsia. 2025 Apr;66(4):1084–1096.	Original Article
242	Takeuchi I, Izumi T, Nishihori M, et al	脳神経外科	Regression of bilateral persistent primitive ophthalmic artery: a case report.	Surg Radiol Anat. 2024 Dec 26;47(1):42. (オンライン)	Case Report
243	Yamaguchi J, Ohka F, Seki M, et al	脳神経外科	Dual phenotypes in recurrent astrocytoma, IDH–mutant; coexistence of IDH–mutant and IDH–wildtype components: a case report with genetic and epigenetic analysis.	Acta Neuropathol Commun. 2024 Oct 26;12(1):169. (オンライン)	Case Report
244	Nagashima Y, Nishimura Y, Abe T, et al	脳神経外科	Navigation–assisted occipitocervical fixation and decompression in a patient with polyostotic fibrous dysplasia.	J Craniovertebr Junction Spine. 2024 Jul–Sep;15(3):380–383.	Case Report
245	Iwami K, Watanabe T, Takeuchi K, et al	脳神経外科	Exo– and endoscopic two–step approach for meningeal tumours invading the lateral wall of large dural venous sinuses: how I do it.	Acta Neurochir (Wien). 2024 Oct 7;166(1):397. (オンライン)	Case Report
246	Motomura K, Sasaki K, Sugii N, et al	脳神経外科	Cost of medical care for malignant brain tumors at hospitals in the Japan Clinical Oncology Group brain–tumor study group.	Jpn J Clin Oncol. 2024 Oct 3;54(10):1123–1131.	Original Article
247	Okumura E, Takeuchi K, Nagata Y, et al	脳神経外科	Endoscopic Cystoventricular Stenting in Awake Patients with Electrical Stimulation Mapping for Convexity Cysts: Three Case Reports and a Systematic Review.	World Neurosurg. 2025 Jan;193:108–118.	Case Report
248	Suzuki T, Ishizaki T, Maesawa S, et al	脳神経外科	Hemorrhagic complication due to vascular side branch injury from a distant site in stereoelectroencephalography: A case report and proposed rules for safer electrode implantation.	Seizure. 2025 Feb;125:50–53.	Original Article
249	Tanei T, Fuse Y, Maesawa S, et al	脳神経外科	Real–world clinical results of CGRP monoclonal antibody treatment for medication overuse headache of migraine without abrupt drug discontinuation and no hospitalization.	Heliyon. 2024 Nov 6;10(22):e40190. (オンライン)	Original Article
250	Imaoka E, Nishihori M, Izumi T, et al	脳神経外科	Three–dimensional spiral–shaping method of microcatheter for paraclinoid aneurysms: assessment using silicone models.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):655–664.	Original Article
251	Hashida M, Maesawa S, Mizuno S, et al	脳神経外科	Evaluation of mild cognitive impairment in older patients with essential tremor.	Parkinsonism Relat Disord. 2025 Feb;131:107228.	Original Article
252	Deguchi S, Ohka F, Shiba Y, et al	脳神経外科	Investigator–initiated phase I trial of an oligonucleotide therapeutic targeting long noncoding RNA TUG 1 for recurrent glioblastoma.	BMC Cancer. 2025 Feb 13;25(1):251. (オンライン)	Original Article
253	Shinoda S, Tanei T, Nakanishi H, et al	脳神経外科	Propranolol Effective in Suppressing Paroxysmal Sympathetic Hyperactivity Attacks Occurring in the Acute Phase of Diffuse Axonal Injury: A Case Report.	Cureus. 2025 Jan 19;17(1):e77653. (オンライン)	Case Report
254	Nishihori M, Izumi T, Goto S, et al	脳神経外科	Postoperative fragmentation and distal migration of Carotid Stent in vascular Eagle Syndrome.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2025 Feb;34(2):108202.	Case Report
255	Yamaguchi J, Ohka F, Motomura K, et al	脳神経外科	A multi–center, open–label, randomized clinical trial evaluating the preventive effect of perampanel on craniotomy–induced epileptogenesis in seizure–naïve patients with supratentorial brain tumors: study protocol for a GRAMPAS trial.	Trials. 2024 Dec 24;25(1):849. (オンライン)	Original Article
256	Hanyu T, Izumi T, Tanei T, et al	脳神経外科	Efficacy and safety of endovascular coil embolization for unruptured middle cerebral artery aneurysms: middle–term clinical and imaging outcomes with 3 years mean follow–up periods, a 16–year experience.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):596–607.	Original Article
257	Goto K, Koyanagi Y, Akiyama M, et al	眼科	Disease–specific variant interpretation highlighted the genetic findings in 2325 Japanese patients with retinitis pigmentosa and allied diseases.	J Med Genet. 2024 Jun 20;61(7):613–620. (オンライン)	Original Article
258	Kominami T, Tan TE, Ushida H, et al	眼科	Fundus autofluorescence features specific for EYS–associated retinitis pigmentosa.	PLoS One. 2025 Feb 19;20(2):e0318857. (オンライン)	Original Article
259	Ota J, Inooka T, Tomita R, et al	眼科	EVALUATION OF RETINAL ARTERIOLES IN RETINITIS PIGMENTOSA: Arterial Lumen Diameter Reduced With Retinal Degeneration and Wall Thickness Related to Systemic Condition.	Retina. 2025 Mar 1;45(3):532–540.	Original Article
260	Kominami T, Ueno S, Ota J, et al	眼科	Classification of fundus autofluorescence images based on macular function in retinitis pigmentosa using convolutional neural networks.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Mar;69(2):236–244.	Original Article
261	Inooka T, Kominami T, Tomita R, et al	眼科	Assessment of factors affecting anterior chamber depth from data obtained from health checkup participants in Japan.	Sci Rep. 2024 Dec 5;14(1):30342. (オンライン)	Original Article
262	Nonogaki R, Ota H, Takeuchi J, et al	眼科	Analysis of the aqueous humor before and after the administration of faricimab in patients with nAMD.	Sci Rep. 2024 Dec 30;14(1):31951. (オンライン)	Original Article
263	Ota H, Kataoka K, Asai K, et al	眼科	Five–year outcomes of treat and extend regimen using intravitreal aflibercept injection for treatment–naïve age–related macular degeneration.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2024 Nov;262(11):3483–3491.	Original Article

264	Ushida H, Suzumura A, Yamada K, et al	眼科	Decrease in electrolyte after vitrectomy surgery may affect the results of forensic investigations using vitreous humor.	BMC Ophthalmol. 2024 May 23;24(1):219. (オンライン)	Original Article
265	Natsume K, Kominami T, Goto K, et al	眼科	Phenotypic variability of RP1-related inherited retinal dystrophy associated with the c.5797A>Ca2a2T (p.Arg1933*) variant in the Japanese population.	Sci Rep. 2024 Oct 27;14(1):25669. (オンライン)	Original Article
266	Tomita R, Asaoka R, Hirasawa K, et al	眼科	A Novel Approach To Predict Glaucomatous Impairment in the Central 10A° Visual Field, Excluding the Effect of Cataract.	Transl Vis Sci Technol. 2024 Oct 1;13(10):35.	Original Article
267	Inooka T, Hayashi T, Tsunoda K, et al	眼科	GENETIC ETIOLOGY AND CLINICAL FEATURES OF ACHROMATOPSIA IN JAPAN.	Retina. 2024 Oct 1;44(10):1836-1844.	Original Article
268	Todoroki T, Takeuchi J, Ota H, et al	眼科	Aqueous Humor Cytokine Analysis in Age-Related Macular Degeneration After Switching From Aflibercept to Faricimab.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2024 Sep 3;65(11):15.	Original Article
269	Sajiki AF, Kataoka K, Takeuchi J, et al	眼科	Clinical utility of swept-source optical coherence tomography angiography for the diagnosis of exudative maculopathy.	Jpn J Ophthalmol. 2024 Nov;68(6):614-620.	Original Article
270	Shimizu H, Tanaka H, Tazaki A, et al	眼科	Silicone oil, an intraocular surgical adjuvant, induces retinal ferroptosis.	Free Radic Biol Med. 2025 Feb 16;228:33-43.	Original Article
271	Yasuda S, Takai Y, Yasuda Y, et al	眼科	Quantitative Evaluation of Changes in Retinal and Choroidal Blood Flow Following Strabismus Surgery.	Transl Vis Sci Technol. 2025 Mar 3;14(3):12.	Original Article
272	Goto S, Suzuki H, Beppu S, et al	耳鼻いんこう科	Lymph node density as prognostic factor in regional recurrent or residual head and neck cancer.	Acta Otolaryngol. 2025 Jan;145(1):81-87.	Original Article
273	Matsui K, Yoshida T, Sugimoto S, et al	耳鼻いんこう科	Correlation of Endolymphatic Duct Signal Intensity With Clinical Features in Otological Diseases.	Otol Neurotol. 2024 Oct 1;45(9):e624-e629.	Original Article
274	Mukoyama N, Nishio N, Kimura H, et al	耳鼻いんこう科	Anxiety, depression and quality of life in patients with head and neck cancer undergoing laryngectomy: A long-term prospective evaluation	Int J Lang Commun Disord. 2024 Sep-Oct;59(5):1865-1877.	Original Article
275	Katayama N, Yoshida T, Nakashima T, et al	耳鼻いんこう科	Lifestyle habits and examination findings before and during the COVID-19 pandemic: From health checkups in a rural area in Japan.	Nutr Health. 2024 May 22;2601060241256201.	Original Article
276	Sone M, Ohgami N, Katayama N, et al	耳鼻いんこう科	Efficacy of 100a2bz sound stimulation on saccular dysfunction in meniere's disease.	Acta Otolaryngol. 2024 Apr;144(4):272-276.	Original Article
277	Shigeyama M, Nishio N, Wada A, et al	耳鼻いんこう科	Development of a plant-based surgical training model for fluorescence-guided cancer surgery.	Head Neck. 2024 Sep;46(9):2274-2283.	Original Article
278	Kobayashi M, Yoshida T, Fukunaga Y, et al	耳鼻いんこう科	Perilymphatic enhancement and endolymphatic hydrops: MRI findings and clinical associations.	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2024 Oct 12;9(5):e1312. (オンライン)	Original Article
279	Yokoi M, Nishio N, Kimura H, et al	耳鼻いんこう科	Anxiety, Depression and Cancer-Related Post-Traumatic Stress in Patients Undergoing Total Laryngectomy.	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2025 Mar 4;10(2):e70109. (オンライン)	Original Article
280	Sato R, Adachi R, Yokoi N, et al	耳鼻いんこう科	Loss of neuronal activity facilitates surface accumulation of p75NTR and cell death in avian cochlear nucleus.	Neurosci Res. 2025 Apr;213:23-34.	Original Article
281	Ichimura N, Urata Y, Kobayashi T, et al	歯科口腔外科	Mutational landscape of oral mucosal melanoma based on comprehensive cancer genomic profiling tests in a Japanese cohort.	Oral Oncol. 2024 May;152:106807.	Original Article
282	Kaminogo K, Yamaguchi S, Chen H, et al	歯科口腔外科	Preventive Effects of Dental Pulp Stem Cell-conditioned Media on Anti-RANKL Antibody-Related Osteonecrosis of the Jaw.	Calcif Tissue Int. 2024 Aug;115(2):185-195.	Original Article
283	Ichimura N, Urata Y, Kobayashi T, et al	歯科口腔外科	Mutational landscape of Japanese patients with oral squamous cell carcinoma from comprehensive genomic profiling tests.	Oral Oncol. 2024 Dec;159:107079.	Original Article
284	Sato K, Tanaka H, Okazaki Y, et al	歯科口腔外科	New era of plasma dentistry.	Free Radic Res. 2024 Dec;58(12):868-874.	Original Article
285	Koike Y, Kokuryo T, Yamaguchi J, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆臓)	TLK1 Inhibition Enhances the Anticancer Effect of Deep UV Irradiation Through CHK1 Activation.	Anticancer Res. 2024 Jul;44(7):2827-2836.	Original Article
286	Kokuryo T, Sunagawa M, Yamaguchi J, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆臓)	Whole-genome Sequencing Analysis of Bile Tract Cancer Reveals Mutation Characteristics and Potential Biomarkers.	Cancer Genomics Proteomics. 2025 Jan-Feb;22(1):34-40.	Original Article
287	Kokuryo T, Koike Y, Yamaguchi J, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆臓)	Accumulating Genetic Mutations from Primary to Secondary Biliary Tract Cancers: Analysis of Four Patients With Metachronous Biliary Tract Cancer Using Comprehensive Genomic Profiling.	Cancer Genomics Proteomics. 2025 Mar-Apr;22(2):346-353.	Original Article
288	Yokoyama Y, Sunagawa M, Kurimoto K, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆臓)	Financial burden of surgical treatment for retroperitoneal sarcoma.	Surg Today. 2024 Oct;54(10):1201-1207.	Original Article
289	Igami T, Maehigashi A, Nakamura Y, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆臓)	A clinical assessment of three-dimensional-printed liver model navigation for thrice or more repeated hepatectomy based on a conversation analysis.	Surg Today. 2024 Oct;54(10):1238-1247.	Original Article

290	Igami T, Nakamura M, Ishikawa T, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Clinical and Medical Economic Value of Screening Colonoscopy before Laparoscopic Cholecystectomy.	Med Princ Pract. 2025 Mar 18;1–10.	Original Article
291	Ushida Y, Watanabe N, Kawakatsu S, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	New Tumor Classification Using Invasion Depth in Biliary Tract Cancer Around the Cystic Duct Junction.	Ann Surg. 2025 Feb 17.	Original Article
292	Yamaguchi J, Kokuryo T, Yokoyama Y, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Trefoil factor 1 suppresses stemness and enhances chemosensitivity of pancreatic cancer.	Cancer Med. 2024 Jun;13(11):e7395.	Original Article
293	Jinno T, Yamaguchi J, Ogura A, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Loss of Trefoil Factor 1 Accelerates the Immune Response to Colorectal Cancer.	Anticancer Res. 2024 Sep;44(9):3757–3769.	Original Article
294	Nishino S, Igami T, Yokoyama Y, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Application of fluorescent cholangiography to complex biliary variants of the confluence of the cystic duct and the infraportal type of the left lateral bile duct during single-incision laparoscopic cholecystectomy: A case report.	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan–Dec;18(1):e13404.	Case Report
295	Nonaka Y, Baba T, Sugita S, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Negative Impact of High FOXP3 Status in Lymph Nodes of Esophageal Squamous Cell Carcinoma Patients.	Anticancer Res. 2025 Feb;45(2):781–787.	Original Article
296	Dei H, Yokoyama Y, Mizuno T, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Impact of the ratio of fecal short-chain fatty acids to lactic acid concentration on postoperative infectious complications after pancreaticoduodenectomy.	Surgery. 2025 Apr;180:109040.	Original Article
297	Kobayashi R, Uehara K, Ebata T, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	A comparison of the diagnostic ability of 1-mm computed tomography and 3-mm magnetic resonance imaging for detecting lateral pelvic lymph node metastases from rectal cancer.	Surg Today. 2025 Feb 26.	Original Article
298	Yamamoto R, Onoe S, Mizuno T, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Reappraisal of carcinoma in situ residue at the bile duct margin: a single-center review of 681 patients with perihilar cholangiocarcinoma.	HPB (Oxford). 2025 Mar;27(3):362–370.	Original Article
299	Sugimoto M, Horiguchi R, Ikeda S, et al	血管外科	The immediate post-operative impact of infrarenal aortic endografts on renal arterial flow dynamics: Insights from four-dimensional flow magnetic resonance imaging analysis.	Vascular. 2024 Aug 23;17085381241277651.	Original Article
300	Sugimoto M, Osawa T, Lee C, et al	血管外科	Impact of Significant Sac Shrinkage on Endograft Tortuosity at 5A?Years Postendovascular Aortic Aneurysm Repair: A Retrospective Analysis.	Ann Vasc Surg. 2025 Jan;110(Pt B):10–16.	Original Article
301	Sugimoto M, Lee C, Ikeda S, et al	血管外科	Potential of D-Dimer as a Tool to Rule Out Sac Expansion in Patients With Persistent Type 2 Endoleaks After Endovascular Aneurysm Repair.	J Endovasc Ther. 2024 Dec 19;15266028241306277.	Original Article
302	Iizuka A, Kanda M, Sato Y, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Association of NR0B1 with Malignant Phenotypes in Esophageal Squamous Cell Carcinoma Through Modulation of p53-Independent Cell-Cycle Regulation.	Ann Surg Oncol. 2025 Jun;32(6):4464–4475.	Original Article
303	Umeda S, Nakayama G, Kishida T, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Efficacy and safety of postoperative adjuvant chemotherapy with oxaliplatin for elderly patients: results from the CCOG-1302 study.	Int J Clin Oncol. 2025 Mar 17.	Original Article
304	Shinozuka T, Kanda M, Kodera Y	消化器・腫瘍外科 (消化管)	ASO Author Reflections: Evaluating NPTXR as a Prognostic Biomarker and Therapeutic Target in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2024 Sep;31(9):5765.	Original Article
305	Agatsuma Y, Nakanishi K, Tanaka C, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Risk Factors for Long-term Body Weight Loss After Proximal Gastrectomy: A Retrospective Analysis.	Anticancer Res. 2024 Apr;44(4):1645–1651.	Original Article
306	Kanda M, Takano N, Miyauchi H, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Preclinical toxicological assessment of amido-bridged nucleic acid-modified antisense oligonucleotides targeting synaptotagmin XIII for intra-abdominal treatment of peritoneal metastasis of gastric cancer.	Gastric Cancer. 2024 Nov;27(6):1229–1241.	Original Article
307	Nakanishi K, Kanda M, Ito S, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Oncological similarities between large type 3 and type 4 tumors in patients with resectable gastric cancer: a propensity score-matched analysis of a multi-institutional dataset.	Gastric Cancer. 2024 Nov;27(6):1331–1341.	Original Article
308	Tanaka C, Kanda M, Misawa K, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	The long-term quality of life after distal and pylorus-preserving gastrectomy for stage I gastric cancer: A prospective multi-institutional study (CCOG1601).	Surg Today. 2025 Feb;55(2):162–171.	Original Article
309	Nakamura M, Ashida R, Ohgi K, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Positive impact of laparoscopic hepatectomy versus open hepatectomy on body size-corrected bleeding in obese patients.	Surg Today. 2024 Dec;54(12):1461–1471.	Original Article
310	Hattori N, Nakayama G, Umeda S, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Outcomes of surgical treatment for enterovesical fistula in Crohn's disease.	Nagoya J Med Sci. 2024 May;86(2):280–291.	Original Article
311	Fujita K, Hayashi M, Nakagawa N, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Prognostic Impact of CDKN2A Mutations Associated With Smoking and Drinking History in Japanese Digestive Cancers.	Anticancer Res. 2024 Jun;44(6):2699–2707.	Original Article
312	Shinozuka T, Kanda M, Sato Y, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Therapeutic Potential of Antibody Targeting Neuronal Pentraxin Receptor in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2024 Sep;31(9):5674–5682.	Original Article

313	Kanda M, Kasahara Y, Shimizu D, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Dual-modified antisense oligonucleotides targeting oncogenic protocadherin to treat gastric cancer.	Br J Cancer. 2024 Nov;131(9):1555–1566.	Original Article
314	Otsu T, Hayashi M, Fujita K, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Genome-wide microRNA Analysis Identified miR-210-3p Over-expression in Pancreatic Cancer Tissues as a Predictor of their Local Invasiveness.	Anticancer Res. 2024 Nov;44(11):4709–4721.	Original Article
315	Tanaka C, Kanda M, Misawa K, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	Long-term quality of life after open and laparoscopic total gastrectomy for stage I gastric cancer: A prospective multi-institutional study (CCOG1504).	Ann Gastroenterol Surg. 2024 Apr 29;8(6):999–1007. (オンライン)	Original Article
316	Agatsuma Y, Shimizu D, Umeda S, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	FAM32A Suppression Decreases 5-Fluorouracil-induced Apoptosis and Is Associated With Poor Prognosis in Gastric Cancer.	Cancer Genomics Proteomics. 2025 Jan-Feb;22(1):55–69.	Original Article
317	Iizuka A, Kanda M, Kodera Y	消化器・腫瘍外科 (消化管)	ASO Author Reflections: Role of NR0B1 in Malignant Phenotypes of Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2025 Jun;32(6):4520–4521.	Original Article
318	Yamamoto M, Shibata M, Tanaka A, et al	乳腺・内分泌外科	Identification of peripheral blood test parameters predicting the response to palbociclib and endocrine therapy for metastatic breast cancer: a retrospective study in a single institution.	Surg Today. 2025 Feb;55(2):188–196.	Original Article
319	Inaishi T, Takeuchi D, Ichikawa T, et al	乳腺・内分泌外科	Impact of periodic neck ultrasonography on locoregional disease control in surveillance after total thyroidectomy for patients with low- and intermediate-risk papillary thyroid carcinoma: a propensity score-matched study.	Endocr J. 2024 Dec 2;71(12):1135–1143.	Original Article
320	Sugino K, Shibata M, Adachi Y, et al	乳腺・内分泌外科	Adenylate cyclase 9 expression level is associated with hormone receptor-positive breast cancer and predicts patient prognosis.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):665–682.	Original Article
321	Yano D, Tokuda Y, Yasuda N, et al	心臓外科	Electrical gaps in recurrence of atrial tachyarrhythmias after Maze surgery: regional patterns and clinical significance.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):122–132.	Original Article
322	Fujii T, Yamawaki-Ogata A, Terazawa S, et al	心臓外科	Administration of an antibody against apoptosis inhibitor of macrophage prevents aortic aneurysm progression in mice.	Sci Rep. 2024 Jul 10;14(1):15878. (オンライン)	Original Article
323	Yoshizumi T, Ito H, Terazawa S, et al	心臓外科	HeartMate 3 driveline damage by gradual corrosion due to liquid infiltration: a case report.	J Artif Organs. 2025 Jun;28(2):262–265.	Case Report
324	Akita S, Tokuda Y, Kato W, et al	心臓外科	Risk factors for proximal and distal aortic events after type A acute aortic dissection.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2025 May;73(5):343–351.	Original Article
325	Hayashi Y, Fujii T, Kim S, et al	心臓外科	Intervening to Preserve Function in Ischemic Cardiomyopathy with a Porous Hydrogel and Extracellular Matrix Composite in a Rat Myocardial Infarction Model.	Adv Healthc Mater. 2025 Jan;14(2):e2402757.	Original Article
326	Yamamoto R, Kato W, Tokuda Y, et al	心臓外科	Impact of direct mesenteric perfusion on malperfusion in acute type A aortic dissection repair.	Eur J Cardiothorac Surg. 2024 Dec 26;67(1):e2ae452.	Original Article
327	Matsumura Y, Fujii T, Gu X, et al	心臓外科	Incorporation of Adeno-Associated Virus Encoding Vascular Endothelial Growth Factor into a Biodegradable Elastomeric Scaffold for Improved Function in the Ischemic Rat Heart.	ACS Biomater Sci Eng. 2025 Apr 14;11(4):2226–2235.	Original Article
328	Akita S, Tokuda Y, Narita Y, et al	心臓外科	Risk factors for distal stent graft-induced new entry after frozen elephant trunk procedure in chronic aortic dissection.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Feb 6.	Original Article
329	Ishida S, Sakurai H, Usui A, et al	心臓外科	Transseptal approach for pseudoaneurysms at the aortic root in Loeys-Dietz syndrome.	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2025 Feb 5;40(2):ivaf016.	Original Article
330	Chen-Yoshikawa TF	呼吸器外科	Evolution of Three-Dimensional Computed Tomography Imaging in Thoracic Surgery.	Cancers (Basel). 2024 Jun 6;16(11):2161. (オンライン)	Original Article
331	Ueno H, Takada Y, Imamura Y, et al	呼吸器外科	Incidence of air leaks in patients undergoing robotic thoracic surgery and video-assisted thoracic surgery.	Nagoya J Med Sci. 2024 Aug;86(3):464–471.	Original Article
332	Imamura Y, Nakajima D, Kanou T, et al	呼吸器外科	Effect of revised organ transplant law in Japan on lung transplantation.	Surg Today. 2024 Oct;54(10):1220–1226.	Original Article
333	Nakamura S, Nomata Y, Imamura Y, et al	呼吸器外科	Avoiding extracorporeal membrane oxygenation using dual-lung ventilation: Carinal resection and left pneumonectomy for adenoid cystic carcinoma.	JTCVS Tech. 2025 Feb 19;30:154–158. (オンライン)	Case Report
334	Okado S, Nakamura S, Sato K, et al	呼吸器外科	Endobronchial Closure for Peripheral Pulmonary Air Leakage.	Respiration. 2024;103(10):634–640.	Original Article
335	Imamura Y, Kato T, Nomata Y, et al	呼吸器外科	Efficacy of Immune Checkpoint Inhibitors in Postoperative Recurrence of Wild-type EGFR Non-Small Cell Lung Cancer.	Anticancer Res. 2024 Aug;44(8):3451–3461.	Original Article
336	Makita A, Nakamura S, Setogawa T, et al	呼吸器外科	Multidisciplinary treatment of giant thymoma, paving the way to complete surgical resection: a case report.	Surg Case Rep. 2024 Jul 12;10(1):170. (オンライン)	Original Article
337	Kadomatsu Y, Emoto R, Kubo Y, et al	呼吸器外科	Development of a machine learning-based risk model for postoperative complications of lung cancer surgery.	Surg Today. 2024 Dec;54(12):1482–1489.	Original Article

338	Mizuno T, Chen-Yoshikawa TF, Yoshino I, et al	呼吸器外科	Updated outcomes of surgical treatment for recurrent thymic tumour: a report from the Japanese nationwide database.	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2024 Jun 5;38(6):ivae064.	Original Article
339	Chen-Yoshikawa TF	呼吸器外科	Commentary: Less is more in modified subxiphoid approach for thymic malignancy.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Dec;168(6):1568-1569.	Original Article
340	Setogawa T, Kato T, Watanabe H, et al	呼吸器外科	A Case of Incidentally Discovered Congenital Complete Pericardial Defect during Lobectomy for Lung Cancer: A Case Report and Literature Review.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2024;30(1):24-00041.	Case Report
341	Mizuno T, Chen-Yoshikawa TF	呼吸器外科	Managing recurrent thymic epithelial tumors after resection: outcomes and role of re-resection.	Mediastinum. 2024 Nov 20;8:49. (オンライン)	Original Article
342	Kadomatsu Y, Nakao M, Okado S, et al	呼吸器外科	Virtual thoracoscopic imaging for accurate pulmonary nodule localization: clinical experience.	Surg Today. 2025 Jun;55(6):860-864.	Original Article
343	Kato T, Oyamatsu H, Hanamatsu Y, et al	呼吸器外科	Transcriptomic profiling of a late recurrent nuclear protein in testis carcinoma of the lung 14 years after the initial operation: a case report.	Transl Lung Cancer Res. 2024 Jul 30;13(7):1756-1762.	Case Report
344	Kato T, Watanabe H, Kawasumi Y, et al	呼吸器外科	Impact of the expanded indication of robot-assisted thoracic surgery for mediastinal tumors.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Jun;73(6):443-449.	Original Article
345	Chen-Yoshikawa TF, Nakamura S, Ueno H, et al	呼吸器外科	Current Status and Future Perspectives of Preoperative and Intraoperative Marking in Thoracic Surgery.	Cancers (Basel). 2024 Sep 26;16(19):3284. (オンライン)	Original Article
346	Ueno H, Imamura Y, Okado S, et al	呼吸器外科	Lobectomy for primary lung cancer: a comparison of perioperative and postoperative outcomes between robot-assisted thoracic surgery and video-assisted thoracic surgery.	Surg Today. 2025 Feb 17.	Original Article
347	Takada Y, Nakamura S, Imamura Y, et al	呼吸器外科	A case of peribronchiolar metaplasia of the lung appearing as a solid nodule on computed tomography.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):720-725.	Case Report
348	Nakamura S, Nakao M, Okado S, et al	呼吸器外科	Robot-Assisted Complex Anatomical Segmentectomy Using Resection Process Map.	Ann Thorac Surg Short Rep. 2024 Jul 4;2(4):643-645. (オンライン)	Case Report
349	Nakanishi K, Schweiger T, Schwarz S, et al	呼吸器外科	The impact of restricted chests on long-term lung function parameters following lung transplantation in patients with interstitial lung disease.	Eur J Cardiothorac Surg. 2024 Dec 26;67(1):ezae465.	Original Article
350	Watanabe H, Nakamura S, Imamura Y, et al	呼吸器外科	Impact of Postoperative Therapy on Survival Outcomes in Non-small Cell Lung Cancer Patients With Microscopic Residual Disease.	Anticancer Res. 2025 Mar;45(3):1193-1204.	Original Article
351	Okado S, Mizuno T, Kawasumi Y, et al	呼吸器外科	A Case of Myasthenia Gravis and Stiff-Person Syndrome That Improved After Extended Thymectomy.	Respirol Case Rep. 2025 Mar 17;13(3):e70149. (オンライン)	Original Article
352	Noritake O, Okado S, Kadomatsu Y, et al	呼吸器外科	Accuracy of lung structure constructed by three-dimensional image analysis with non-enhanced computed tomography.	J Thorac Dis. 2025 Feb 28;17(2):816-823.	Original Article
353	Sumida W, Tainaka T, Shirota C, et al	小児外科	Usefulness of lateral-anteroposterior dimeter ratio in patients with tracheomalacia associated with esophageal atresia.	Pediatr Surg Int. 2024 Oct 29;40(1):282. (オンライン)	Original Article
354	Gohda Y, Uchida H, Sumida W, et al	小児外科	Bile lakes in patients with biliary atresia who presented with jaundice-free native liver survival indicating the risk of subsequent liver transplantation due to various factors.	Pediatr Surg Int. 2024 Jul 17;40(1):197. (オンライン)	Original Article
355	Gohda Y, Uchida H, Shirota C, et al	小児外科	Thoracoscopic primary repair is useful for esophageal atresia with tracheoesophageal fistula in neonates with low body weight.	Pediatr Surg Int. 2024 Jun 3;40(1):149. (オンライン)	Original Article
356	Yasui A, Hayashi Y, Hinoki A, et al	小児外科	Developing an Effective Off-the-job Training Model and an Automated Evaluation System for Thoracoscopic Esophageal Atresia Surgery.	J Pediatr Surg. 2025 Feb;60(2):161615.	Original Article
357	Sumida W, Tainaka T, Shirota C, et al	小児外科	Eicosapentaenoic acid administration ameliorates the progression of liver fibrosis after laparoscopic Kasai portoenterostomy.	Pediatr Surg Int. 2024 Aug 21;40(1):239. (オンライン)	Original Article
358	Takimoto A, Wolfe N, Jiahui L, et al	小児外科	Portal vein hypoplasia is present in patients with biliary atresia at the time of diagnosis.	J Pediatr Gastroenterol Nutr. 2024 Oct;79(4):818-825.	Original Article
359	Makita S, Uchida H, Kano M, et al	小児外科	Nationwide questionnaire survey on pediatric pancreatic tumors in Japan.	World J Gastrointest Oncol. 2024 Oct 15;16(10):4166-4176.	Original Article
360	Kato D, Uchida H, Shirota C, et al	小児外科	First pediatric pelvic surgery with the SenhanceAR robotic surgical system: A case series.	Asian J Endosc Surg. 2024 Oct;17(4):e13379.	Case Report
361	Nakagawa Y, Uchida H, Shirota C, et al	小児外科	Characteristics and outcomes of minimally invasive surgery for congenital biliary dilatation in children aged <6 years: Comparison between children and adults.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Dec;31(12):876-885.	Original Article
362	Ishii H, Shirota C, Tainaka T, et al	小児外科	Safety and feasibility of robot-assisted surgery for pediatric patients weighing a10A?kg with congenital biliary dilatation.	J Robot Surg. 2024 Dec 27;19(1):34. (オンライン)	Original Article

363	Takahisa T, Chiyoe S, Wataru S, et al	小児外科	Evaluation of the risk factors for postoperative pectus excavatum and scoliosis in cystic lung disease.	Pediatr Surg Int. 2025 Jan 11;41(1):62. (オンライン)	Original Article
364	Ota K, Tainaka T, Hinoki A, et al	小児外科	Young pediatric surgeons without endoscopic surgical skill qualification safely perform advanced endoscopic surgery under the supervision of expert qualified surgeons.	Surg Endosc. 2025 May;39(5):2925–2930.	Original Article
365	Kamikawa H, Matsukawa Y, Nishii H, et al	泌尿器科	A case of severe immune-related adverse events, myocarditis with myositis, and myasthenia gravis overlap syndrome following adjuvant nivolumab administration for muscle-invasive bladder cancer.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):156–162.	Case Report
366	Naito Y, Inoue S, Tochigi K, et al	泌尿器科	Significance of Body Surface Area Correction for Cisplatin Eligibility Based on Renal Function of Patients With Muscle-Invasive Bladder Cancer.	Clin Genitourin Cancer. 2025 Jun;23(3):102339.	Original Article
367	Akamatsu S, Naito Y, Nagayama J, et al	泌尿器科	Treatment escalation and de-escalation of de-novo metastatic castration-sensitive prostate cancer.	Nagoya J Med Sci. 2024 May;86(2):169–180.	Original Article
368	Matsuo K, Kanbe M, Sakamoto F, et al	泌尿器科	Reconstructive surgery of difficult urethrocutaneous fistula following gender-affirming surgery.	IJU Case Rep. 2024 Aug 27;7(6):427–430. (オンライン)	Original Article
369	Naito Y	泌尿器科	Editorial Comment on: “Effect of ICG fluorescence-assisted new nerve-sparing of robot-assisted radical prostatectomy on lower urinary tract symptoms”.	Int J Urol. 2025 Mar;32(3):292.	Original Article
370	Nagayama J, Inoue S, Sai H, et al	泌尿器科	Treatment-related skin reactions in enfortumab vedotin as a surrogate marker of survival and treatment response.	Int J Clin Oncol. 2025 Feb;30(2):267–276.	Original Article
371	Ouchida J, Morita Y, Ito S, et al	整形外科	Impact of Paraspinal Muscle Degeneration on Surgical Outcomes and Radiographical Sagittal Alignment in Adult Spinal Deformity: A Multicenter Study.	Neurospine. 2025 Mar;22(1):30–37.	Original Article
372	Miyairi Y, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Obesity Is Associated with Asymptomatic Vertebral Fractures: A Yakumo Study.	J Clin Med. 2024 Apr 2;13(7):2063. (オンライン)	Original Article
373	Segi N, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Is spinopelvic compensation associated with unstable gait?: Analysis using whole spine X-rays and a two-point accelerometer during gait in healthy adults.	Gait Posture. 2024 Jun;111:22–29.	Original Article
374	Iida H, Takegami Y, Osawa Y, et al	整形外科	Association between advanced glycation end-products and fall risk in older adults: The Yakumo Study.	Geriatr Gerontol Int. 2024 Jun;24(6):517–522.	Original Article
375	Segi N, Nakashima H, Funaba M, et al	整形外科	Characteristics of Poor Recordability of Intraoperative Neurophysiological Monitoring during Metastatic Spinal Tumor Surgery: A Multicenter Study.	Spine Surg Relat Res. 2024 Oct 29;9(2):164–172. (オンライン)	Original Article
376	Nagatani Y, Nakashima H, Kanemura T, et al	整形外科	Clinical Outcomes Associated with Screw Loosening in S2 Alar-Iliac Fixation in Adult Spinal Deformity.	J Clin Med. 2025 Mar 11;14(6):1881. (オンライン)	Original Article
377	Tanaka S, Osawa Y, Takegami Y, et al	リハビリテーション科 (部)	Computed tomography-based navigation versus accelerometer-based portable navigation in total hip arthroplasty for dysplastic hip osteoarthritis.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2025 Mar 1;35(1):83. (オンライン)	Original Article
378	Ito H, Takegami Y, Nakashima H, et al	整形外科	Impact of Fixation Length for Single-Level Spinal Metastasis Surgery in the Elderly: A Multicenter Study.	Cureus. 2025 Mar 20;17(3):e80886. (オンライン)	Original Article
379	Mizuno T, Ishizuka S, Kurokouchi K, et al	整形外科	Etiology and effects of cyclops lesions in double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction: A case-control study.	J Orthop. 2025 Mar 15;70:13–19. (オンライン)	Original Article
380	Ito S, Nakashima H, Segi N, et al	整形外科	Development of a YOLOv3-Based Model for Automated Detection of Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament and the Ligamentum Flavum on Plain Radiographs.	J Clin Med. 2025 Mar 31;14(7):2389. (オンライン)	Original Article
381	Funahashi H, Osawa Y, Takegami Y, et al	整形外科	What Are the Sex-Based Differences of Acetabular Coverage Features in Hip Dysplasia?	Clin Orthop Relat Res. 2024 Nov 1;482(11):1971–1983.	Original Article
382	Ouchida J, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Does global spinal alignment affect the use of walking aids after multi-segment spinal fixation for patients with ASD? A multicenter retrospective study.	Eur Spine J. 2024 Oct;33(10):3833–3841.	Original Article
383	Iida H, Takegami Y, Sakai Y, et al	整形外科	Early surgery within 48 hours of admission for hip fracture did not improve 1-year mortality in Japan: a single-institution cohort study.	Hip Int. 2024 Sep;34(5):660–667.	Original Article
384	Tanaka S, Takegami Y, Osawa Y, et al	リハビリテーション科 (部)	Retrospective study comparing the accuracies of handheld infrared stereo camera and augmented reality-based navigation systems for total hip arthroplasty.	Arch Orthop Trauma Surg. 2024 Jun;144(6):2811–2821.	Original Article
385	Kawashima I, Ishizuka S, Oba H, et al	整形外科	Prevalence and treatment rates of osteoporosis among individuals with rotator cuff tears.	J Shoulder Elbow Surg. 2024 Nov;33(11):e606–e609.	Original Article
386	Ouchida J, Nakashima H, Ohara T, et al	整形外科	Patterns of sitting spinal alignment in non-ambulatory scoliosis patients with paraplegia: an observational study.	Eur Spine J. 2025 Feb;34(2):556–564.	Original Article

387	Yamauchi I, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Outcomes following instrumentation removal after posterior corrective fixation in adolescent idiopathic scoliosis.	Eur Spine J. 2025 Feb;34(2):635–642.	Original Article
388	Morita Y, Nakashima H, Segi N, et al	整形外科	Indirect Decompression in Vertebral Reconstruction for Osteoporotic Vertebral Fractures with Neurological Symptoms: A Preliminary Case Series.	Spine Surg Relat Res. 2024 May 10;8(6):623–630. (オンライン)	Original Article
389	Segi N, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Comparative Analysis of Characteristics of Lower- and Mid-Cervical Spine Injuries in the Elderly.	Spine Surg Relat Res. 2024 Apr 3;8(6):560–567. (オンライン)	Original Article
390	Kawashima I, Matsuki K, Takahashi N, et al	整形外科	The validity of radiographic measurements compared to 3-dimensional-surface model-based measurements in shoulders with reverse total shoulder arthroplasty.	J Shoulder Elbow Surg. 2024 Dec 18;S1058–2746(24)00934–0.	Original Article
391	Ouchida J, Nakashima H, Kanemura T, et al	整形外科	Analysis of spinopelvic parameters in adult patients with lumbosacral transitional vertebrae.	Eur Spine J. 2024 Aug;33(8):2952–2959.	Original Article
392	Ozawa Y, Takegami Y, Seki T, et al	整形外科	Relationship between locomotive syndrome and advanced glycation end products measured by skin autofluorescence in community-dwelling patients: the Yakumo Study.	Nagoya J Med Sci. 2024 May;86(2):314–325.	Original Article
393	Takahashi Y, Takegami Y, Tokutake K, et al	整形外科	Analysis of Calcaneal Avulsion Fractures Treated Surgically and Nonsurgically: A Retrospective Multicenter Study.	JB JS Open Access. 2024 Jul 10;9(3):e23.00127. (オンライン)	Original Article
394	Kaneda T, Takegami Y, Tokutake K, et al	整形外科	Peri-implant fractures after Intramedullary fixation for femoral trochanteric fracture: a multicenter (TRON Group) study.	Eur J Trauma Emerg Surg. 2024 Oct;50(5):2587–2594.	Original Article
395	Ouchida J, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Longitudinal impact of multi-segment spinal fixation surgery on mobility status and clinical outcomes in adult spinal deformity: a multicenter retrospective study.	Eur Spine J. 2024 Oct;33(10):3894–3903.	Original Article
396	Noritake H, Takegami Y, Tokutake K, et al	整形外科	Descriptive analysis of incidence and risk factors for short intramedullary nail breakage in femoral intertrochanteric fractures: a multicenter (TRON group) retrospective study.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2024 Jul;34(5):2605–2611.	Original Article
397	Yamauchi I, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Preoperative low Hounsfield units in the lumbar spine are associated with postoperative mechanical complications in adult spinal deformity.	Eur Spine J. 2024 Jul;33(7):2824–2831.	Original Article
398	Segi N, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Trabecular Bone Remodeling after Posterior Lumbar Interbody Fusion: Comparison of the Osseointegration in Three-Dimensional Porous Titanium Cages and Polyether-Ether-Ketone Cages.	Global Spine J. 2025 Jan;15(1):66–75.	Original Article
399	Sumi S, Takegami Y, Tokutake K, et al	整形外科	Risk factors of periprosthetic joint infection after hemiarthroplasty for displaced femoral neck fracture in the elderly: Analysis of 1619 cases in the multicenter database.	Injury. 2024 Jul;55(7):111603.	Original Article
400	Ido H, Osawa Y, Takegami Y, et al	整形外科	Factors related to collapse progression in Japanese Investigation Committee classification type B osteonecrosis of the femoral head.	Int Orthop. 2024 Aug;48(8):2033–2040.	Original Article
401	Yamauchi I, Nakashima H, Inoue T, et al	整形外科	Neurologic recovery following laminectomy and tumor resection of a pediatric cervical synovial osteochondromatosis causing paralysis.	Eur Spine J. 2024 Jul;33(7):2904–2908.	Case Report
402	Ogura K, Takegami Y, Kuwahara Y, et al	整形外科	Comparison of conjoined tendon-preserving posterior approach and conventional posterolateral approach in hemiarthroplasty for femoral neck fracture in the elderly: A multicenter (TRON group) retrospective study.	J Orthop Sci. 2025 Mar;30(2):352–357.	Original Article
403	Ozawa Y, Osawa Y, Takegami Y, et al	整形外科	Risk factors for residual pelvic obliquity one year after total hip arthroplasty.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2024 Aug;34(6):3319–3327.	Original Article
404	Fukui J, Matsui Y, Mizuno T, et al	整形外科	Comparison of gait analysis before and after unilateral total knee arthroplasty for knee osteoarthritis.	J Orthop Surg Res. 2024 Aug 27;19(1):506. (オンライン)	Original Article
405	Oishi R, Takeda I, Ode Y, et al	整形外科	Neuromodulation with transcranial direct current stimulation contributes to motor function recovery via microglia in spinal cord injury.	Sci Rep. 2024 Aug 4;14(1):18031. (オンライン)	Original Article
406	Miyairi Y, Ohkawara B, Sato A, et al	整形外科	A class of chemical compounds enhances clustering of muscle nicotinic acetylcholine receptor in cultured myogenic cells.	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Oct 30;731:150400.	Original Article
407	Takegami Y, Asamoto T	整形外科	Rebuttal submission to “Failure of AI-driven diagnostic tool: lessons and strategies to prevent patient harm”.	Arch Osteoporos. 2024 Aug 8;19(1):75. (オンライン)	Letter
408	Ito S, Nakashima H, Segi N, et al	整形外科	Ten-Year Follow-up of Posterior Decompression and Fusion Surgery for Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	J Bone Joint Surg Am. 2024 Sep 4;106(17):1600–1609.	Original Article
409	Ozawa Y, Osawa Y, Takegami Y, et al	整形外科	Characteristics of pelvic obliquity in dysplastic hip osteoarthritis.	Arch Orthop Trauma Surg. 2024 Aug;144(8):3813–3821.	Original Article
410	Tanaka S, Osawa Y, Takegami Y, et al	リハビリテーション科 (部)	Changes of hip fracture in older patients before and after the COVID-19 pandemic: a retrospective multicentre study in Japan.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Dec 6;25(1):1006. (オンライン)	Original Article

411	Ozawa Y, Osawa Y, Seki T, et al	整形外科	Total Hip Arthroplasty Using the Conjoined Tendon-Preserving Posterior Approach: The Modified Posterior Approach with a Minimum of 2-Year Follow-Up.	Orthop Surg. 2025 Jan;17(1):53–61.	Original Article
412	Yokoi H, Takegami Y, Ochiai S, et al	整形外科	Free bone fragments are associated with the development of heterotopic ossification after hemiarthroplasty for femoral neck fracture: a retrospective observational study.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2024 Dec;34(8):3947–3953.	Original Article
413	Mishima K, Kamiya Y, Sawamura K, et al	整形外科	Gradual Reduction Using Overhead Traction for Late-Detected Developmental Dysplasia of the Hip: A Report of Three Cases Diagnosed Among Children Over Four Years Old.	Cureus. 2024 Jul 4;16(7):e63833. (オンライン)	Case Report
414	Morishita K, Nakashima H, Machino M, et al	整形外科	Adenosine triphosphate release inhibitors targeting pannexin1 improve recovery after spinal cord injury.	Nagoya J Med Sci. 2024 Aug;86(3):392–406.	Original Article
415	Kawashima I, Takahashi N, Matsuki K, et al	整形外科	Greater distance from the glenosphere center to the acromion reduces risk of acromial impingement in semi-inlay reverse shoulder arthroplastv.	JSES Int. 2024 May 28;8(5):1069–1076. (オンライン)	Original Article
416	Sawamura K, Matsushita M, Esaki R, et al	整形外科	Meclozine and growth hormone ameliorate bone length and quality in experimental models of achondroplasia.	J Bone Miner Metab. 2025 Mar;43(2):74–85.	Original Article
417	Kurahashi S, Takegami Y, Tokutake K, et al	整形外科	Risk factors for nonunion in femoral neck fracture patients with internal fixation: A multicenter (TRON group) retrospective study.	J Orthop Sci. 2024 Oct 4:S0949–2658(24)00184–2.	Original Article
418	Suzuki M, Takegami Y, Tokutake K, et al	整形外科	Elderly trochanteric fracture outcomes: Unveiling the risks of excessive postoperative sliding – A retrospective multicenter (TRON group) investigation.	J Orthop Sci. 2024 Oct 5:S0949–2658(24)00185–4.	Original Article
419	Kagami Y, Nakashima H, Segi N, et al	整形外科	Incremental cost-effectiveness ratio between titanium plate and hydroxyapatite block spacers in cervical laminoplasty for degenerative cervical myelopathy.	J Orthop Sci. 2024 Nov 12:S0949–2658(24)00196–9.	Original Article
420	Segi N, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Low Nutrition before Injury Is a Risk Factor for Dysphagia in Older Patients with Cervical Spinal Cord Injury: Based on a Multicenter Data of 707 Patients.	Spine Surg Relat Res. 2024 Apr 3;8(5):473–479. (オンライン)	Original Article
421	Tanaka S, Osawa Y, Takegami Y, et al	整形外科	Radiographic factors affecting contralateral knee alignment in patients with dysplastic hip osteoarthritis.	Knee. 2024 Dec;51:249–257.	Original Article
422	Segi N, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Effects of Palliative Surgical Treatment for Spinal Metastases on the Patient's Quality of Life With a Focus on the Segment of the Metastasis: A Prospective Multicenter Study.	Global Spine J. 2025 May;15(4):2286–2299.	Original Article
423	Sawamura K, Hamajima T, Kitoh H	整形外科	Improvement of Fibrous Dysplasia After Burosumab Therapy in a Pediatric Patient with McCune-Albright Syndrome: A Case Report.	JBJS Case Connect. 2024 Sep 20;14(3). (オンライン)	Case Report
424	Mishima K, Kitoh H, Shiraki A, et al	整形外科	Generalized Epileptic Seizures in Fibrodysplasia Ossificans Progressiva Harboring a Recurrent Heterozygous Variant of the ACVR1 Gene (R206H).	Case Rep Genet. 2024 Dec 17;2024:9569275. (オンライン)	Case Report
425	Funahashi H, Osawa Y, Takegami Y, et al	整形外科	Acetabular osteophyte formation in dysplastic hip osteoarthritis.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Dec 27;25(1):1072. (オンライン)	Original Article
426	Koike H, Ikuta K, Urakawa H, et al	整形外科	Implant failure of the Compress prosthesis: a case report.	J Med Case Rep. 2025 Jan 8;19(1):6. (オンライン)	Case Report
427	Segi N, Nakashima H, Ito S, et al	整形外科	Trabecular Bone Remodeling after Lateral Lumbar Interbody Fusion: Indirect Findings for Stress Transmission between Vertebrae after Spinal Fusion Surgery.	Spine Surg Relat Res. 2024 Jun 10;9(1):51–60. (オンライン)	Original Article
428	Iida H, Kawai-Takaishi M, Miyagawa Y, et al	整形外科	PDZRN3 regulates adipogenesis of mesenchymal progenitors in muscle.	Regen Ther. 2025 Jan 31;28:473–480. (オンライン)	Original Article
429	Ito S, Nakashima H, Segi N, et al	整形外科	A deep learning-based prediction model for prognosis of cervical spine injury: a Japanese multicenter survey.	Eur Spine J. 2025 Feb 10.	Original Article
430	Nakashima H, Kawakami N, Ito S, et al	整形外科	Pelvic ring ratio: a novel indicator of comprehensive pelvic alignment assessment.	Asian Spine J. 2025 Mar 4.	Original Article
431	Muto S, Takegami Y, Nakashima H, et al	整形外科	Is routine implant removal necessary after open reduction internal fixation of Lisfranc injuries? Comparing functional outcomes of routine and on-demand removal: A multicenter study.	Injury. 2025 Apr;56(4):112240.	Original Article
432	Asai S, Suzuki M, Hara R, et al	整形外科	Comparison of effectiveness of methotrexate in patients with late-onset versus younger-onset rheumatoid arthritis: Real-world data from an inception cohort in Japan (NICER-J).	Mod Rheumatol. 2024 Aug 20;34(5):892–899.	Original Article
433	Suzuki M, Asai S, Ohashi Y, et al	整形外科	Prevalence of social frailty in patients with rheumatoid arthritis: Data from a multicentre observational study (T-FLAG study).	Mod Rheumatol. 2025 Feb 21;35(2):234–239.	Original Article
434	Suzuki M, Asai S, Ohashi Y, et al	整形外科	Factors associated with discrepancies in disease activity as assessed by SDAI and RAPID3 in patients with rheumatoid arthritis: Data from a multicentre observational study (T-FLAG).	Mod Rheumatol. 2024 Dec 25;35(1):57–63.	Original Article

435	Asai S, Takahashi N, Terabe K, et al	整形外科	Clinical effectiveness of baricitinib and abatacept in patients with rheumatoid arthritis.	Int J Rheum Dis. 2024 Nov;27(11):e15414.	Original Article
436	Kishimoto K, Asai S, Suzuki M, et al	整形外科	Clinical features of juvenile onset ankylosing spondylitis in Japanese patients.	Mod Rheumatol. 2024 Dec 25;35(1):144–150.	Original Article
437	Kishimoto K, Asai S, Suzuki M, et al	整形外科	Association of spinal ankylosis with spinal mobility and functional impairment in radiographic axial spondyloarthritis: A computed tomography study.	Mod Rheumatol. 2025 Mar 8;roaf022.	Original Article
438	Asami Y, Tokutake K, Kurimoto S, et al	手の外科	Transplantation of embryonic spinal motor neurons into peripheral nerves enables functional reconstruction of a denervated diaphragm.	Neuroscience. 2024 Nov 1;559:113–122.	Original Article
439	Saeki M, Yoneda H, Yamamoto M	先端医療開発部	Posterior Translation of the Radial Head in Magnetic Resonance Imaging of Lateral Epicondylitis.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2024 Apr 17;12(4):e5746. (オンライン)	Original Article
440	Saeki M, Yoneda H, Yamamoto M	先端医療開発部	Lateral elbow magnetic resonance imaging findings in patients without pain complaints.	JPRAS Open. 2024 Jun 12;41:159–165. (オンライン)	Original Article
441	Yoneda H, Curley J, Yamamoto M, et al	手の外科	Impact of Collagenase Injection on Dupuytren Disease Treatment in Japan: A Comprehensive Survey of Trends.	Ann Plast Surg. 2025 Jan 1;94(1):44–50.	Original Article
442	Yoneda H, Curley J, Iwatsuki K, et al	手の外科	Impact of COVID–19 Pandemic on Hand Surgery Volume in Japan.	J Clin Med. 2025 Feb 24;14(5):1518. (オンライン)	Original Article
443	Tsuchihashi A, Natsume T, Yamamoto M	リハビリテーション科 (部)	Impact of Antithrombotic Drug Continuation on Postoperative Outcomes in Patients with Carpal Tunnel Syndrome: A Randomised, Open–Label, Parallel Group Trial.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2025 Apr;30(2):181–188.	Original Article
444	Yoneda H, Iwatsuki K, Saeki M, et al	手の外科	Quantitative Measurement of Rotation in Phalangeal Fracture Malunion Using Computed Tomography Imaging–“Linkage Simulation”	Diagnostics (Basel). 2024 Aug 21;14(16):1818. (オンライン)	Original Article
445	Kamiya S, Sugai T, Oka K, et al	皮膚科	Case of monomicrobial necrotizing fasciitis caused by extended–spectrum I2–lactamase–producing Citrobacter freundii.	J Dermatol. 2024 Oct;51(10):e340–e341.	Case Report
446	Ebata A, Takeichi T, Nishida K, et al	皮膚科	Estimating the proportions of allele frequencies for SERPINA12 pathogenic variants in Japanese patients with Nagashima–type palmoplantar keratosis/keratoderma.	Br J Dermatol. 2025 Mar 26;ljaf111.	Original Article
447	Koizumi H, Yamano Y, Muro Y, et al	皮膚科	ELISA detection of anti–eIF2B antibodies in Japanese patients with systemic sclerosis.	Rheumatology (Oxford). 2024 May 3;63(6):e164–e165.	Letter
448	Akiyama M	皮膚科	Updated genetic background of generalized pustular psoriasis as an autoinflammatory keratinization disease.	J Dermatol. 2025 Mar;52(3):400–407.	Original Article
449	Noda T, Takeichi T, Tanahashi K, et al	皮膚科	Updated mutational spectrum and genotype–phenotype correlations in ichthyosis patients with ABCA12 pathogenic variants.	Exp Dermatol. 2024 Apr;33(4):e15072.	Original Article
450	Yoshikawa T, Takeichi T, Fukaura R, et al	皮膚科	Generalized acrodermatitis continua of Hallopeau with an IL36RN variant successfully treated with bimekizumab.	J Dermatol. 2024 Dec;51(12):e449–e451.	Letter
451	Yamashita Y, Muro Y, Koizumi H, et al	皮膚科	Comment on: Longitudinal study of patients with anti–SAE antibody–positive dermatomyositis: a multicenter cohort study in China.	Rheumatology (Oxford). 2025 Mar 1;64(3):1565–1567.	Original Article
452	Miyazaki A, Taki T, Mori S, et al	皮膚科	Infiltration of M2a macrophages is predominant in genital verruciform xanthoma.	J Dermatol. 2025 Mar;52(3):556–558.	Original Article
453	Goto A, Takeichi T, Ishii N, et al	皮膚科	Occurrence of bullous pemphigoid during long–term maintenance treatment for pemphigus vulgaris in remission.	J Dermatol. 2025 Mar 25.	Letter
454	Fukaura R, Tanahashi K, Omi M, et al	皮膚科	Nonsense Variant in CYP4F22 Causes Malformation of Corneocyte Lipid Envelopes in a Lamellar Ichthyosis Patient.	Acta Derm Venereol. 2025 Feb 5;105:adv41072. (オンライン)	Original Article
455	Goto A, Yamashita Y, Yuasa J, et al	皮膚科	Alopecia universalis and type 1 diabetes mellitus both successfully controlled with baricitinib in a patient with autoimmune polyglandular syndrome type 3A.	J Dermatol. 2025 Mar 17.	Letter
456	Noda E, Ogawa–Momohara M, Nakano Y, et al	皮膚科	Anti–SS–B antibody seroconversion occurring simultaneously with exacerbation of pulmonary arterial hypertension in a patient with primary Sjögren’s syndrome in long–term remission.	Eur J Dermatol. 2025 Feb 1;35(1):61–63.	Original Article
457	Yoshikawa T, Takeichi T, Hirabayashi T, et al	皮膚科	Hyperactivation of the IL–17 Axis and IL–36 Signaling in Card14–Mutant Pityriasis Rubra Pilaris Mouse Model.	J Invest Dermatol. 2025 Feb;145(2):427–432.	Original Article
458	Ogawa–Momohara M, Vazquez T, Chin F, et al	皮膚科	Multiplexed Mass Cytometry of Cutaneous Lupus Erythematosus and Dermatomyositis Skin: An In–depth, B–Cell–Directed Immunoprofile.	J Invest Dermatol. 2025 Jan;145(1):190–193.e2.	Original Article
459	Fukaura R, Koizumi H, Akashi N, et al	皮膚科	Buruli ulcer with satellite lesions: A case report from Japan.	J Dermatol. 2024 Oct;51(10):e360–e362.	Case Report

460	Tago M, Takeichi T, Suzuki Y, et al	皮膚科	A Netherton syndrome infant complicated with infective endocarditis.	J Dermatol. 2025 Jan;52(1):e12–e13.	Letter
461	Murase C, Fukaura R, Yamada N, et al	皮膚科	Measurement of clinical outcomes of Netherton syndrome following treatment with upadacitinib.	J Dermatol. 2024 Nov;51(11):e399–e401.	Letter
462	Noda T, Takeichi T, Tanahashi K, et al	皮膚科	A case of pachyonychia congenita with a hotspot variant at Arg127 in KRT16: Disease severity assessment using AlphaMissense technology.	J Dermatol. 2024 Aug;51(8):1134–1136.	Case Report
463	Kamiya S, Muro Y, Yamashita Y, et al	皮膚科	Pitfalls in the detection of anti-Nucleolar Organizer Region 90 (NOR90) antibodies.	Eur J Intern Med. 2024 Sep;127:157–160.	Letter
464	Kondo A, Terashima–Murase C, Hidaka Y, et al	皮膚科	Symmetrical peripheral gangrene secondary to septic shock induced by Streptococcus dysgalactiae subspecies equisimilis infection.	Indian J Dermatol Venereol Leprol. 2024 May 24:1–3.	Letter
465	Yokoyama T, Nakaguro M, Ogawa–Momohara M, et al	皮膚科	Multiple subcutaneous reactive angioendotheliomatosis in a patient with antiphospholipid syndrome.	Clin Exp Dermatol. 2024 Oct 24;49(11):1452–1455.	Original Article
466	Tanahashi K, Kono M, Yoshikawa T, et al	皮膚科	Treating epidermolytic ichthyosis and ichthyosis with confetti with epidermal autografts cultured from revertantA?skin.	Br J Dermatol. 2024 Aug 14;191(3):397–404.	Original Article
467	Fukaura R, Ato M, Murase C, et al	皮膚科	Buruli ulcer: An epidemiological update from Japan.	J Dermatol. 2025 Jan;52(1):3–10.	Original Article
468	Horisaki K, Yoshikawa S, Omata W, et al	皮膚科	Comparison of efficacy between anti-PD–1 antibody monotherapy and nivolumab plus ipilimumab therapy as first–line immunotherapy for advanced mucosal melanoma in Japanese patients: A single–center, retrospective cohort study.	J Dermatol. 2024 Nov;51(11):1425–1433.	Original Article
469	Omi M, Tanahashi K, Takeichi T, et al	皮膚科	Improvement of Skin Lesions in an Adult with CHILD Syndrome Treated with 2% Ketoconazole Cream.	Acta Derm Venereol. 2024 Nov 20;104:adv41929. (オンライン)	Original Article
470	Ogawa–Momohara M, Muro Y	皮膚科	Myositis–specific and myositis–associated autoantibodies: their clinical characteristics and potential pathogenic roles.	Immunol Med. 2024 Oct 12:1–13.	Original Article
471	Omi M, Takeichi T, Yoshikawa T, et al	皮膚科	Comparing the severity of epidermolysis bullosa simplex harboring KRT5 variants with the AlphaMissense score.	J Dermatol. 2025 Mar;52(3):e235–e237.	Letter
472	Horisaki K, Yoshikawa S, Omata W, et al	皮膚科	Clinical features of vulvar and vaginal malignant melanomas and the effects of immune checkpoint inhibitors in Japanese patients: a single–center, retrospective cohort study.	Melanoma Res. 2025 Feb 1;35(1):67–74.	Original Article
473	Fujii Y, Takeichi T, Yamashita Y, et al	皮膚科	Concurrent wild–type transthyretin amyloidosis and psoriasis vulgaris in an elderly man.	J Dermatol. 2025 Feb 7.	Letter
474	Akanabe H, Tanahashi K, Mori S, et al	皮膚科	Protruding nodular fasciitis on the face.	J Dermatol. 2025 Apr;52(4):e321–e322.	Letter
475	Horisaki K, Taki T, Mori S, et al	皮膚科	Peripheral Blood Mean Platelet Volume and the Ratio of Mean Platelet Volume to Platelet Count as Prognostic Biomarkers in Patients with Cutaneous Angiosarcoma of the Head and Neck: A Retrospective Cohort Study.	Acta Derm Venereol. 2024 Nov 7;104:adv42227. (オンライン)	Original Article
476	Horisaki K, Yoshikawa S, Mori S, et al	皮膚科	Prognostic value of the CONUT score with immune checkpoint inhibitors as first–line therapy for metastatic malignant melanoma.	J Dermatol. 2025 Apr;52(4):615–623.	Original Article
477	Matsui K, Ogawa–Momohara M, Yokoi A, et al	皮膚科	Dupilumab treatment decreases expression of microRNAs related to B cell activation in peripheral blood mononuclear cells of atopic dermatitis patients.	J Dermatol Sci. 2025 May;118(2):76–78.	Letter
478	Horisaki K, Yoshikawa S, Omata W, et al	皮膚科	Comparison of efficacy and adverse events by treatment cyclesA?of nivolumab and ipilimumab in Japanese melanoma patients: A single–center, retrospective study.	J Dermatol. 2025 Apr;52(4):651–662.	Original Article
479	Morita Y, Tanahashi K, Terashima–Murase C, et al	皮膚科	Mycobacterium marinum infection successfully treated with oral administration of minocycline and thermotherapy.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):699–702.	Case Report
480	Oishi M, Shinjo K, Takanari K, et al	形成外科	Exclusive expression of KANK4 promotes myofibroblast mobility in keloid tissues.	Sci Rep. 2024 Apr 16;14(1):8725. (オンライン)	Original Article
481	Higuchi S, Hashikawa K, Ebisawa K, et al	形成外科	Head and neck free flap reconstruction under the COVID–19 pandemic.	Nagoya J Med Sci. 2024 Aug;86(3):472–478.	Original Article
482	Hashikawa K, Satake T, Asano Y, et al	形成外科	The First National Survey of Endoscopic Plastic Surgery by the Japan Society of Plastic and Reconstructive Surgery 2020–2021.	J Plast Reconstr Surg. 2024 Apr 6;3(4):138–141. (オンライン)	Original Article
483	Yamane K, Fujii T, Aoyama T, et al	麻酔科	Impact of vasopressin use for postoperative atrial fibrillation in off–pump coronary artery bypass grafting.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):645–654.	Original Article
484	Amano Y, Fujii T, Tamura T, et al	麻酔科	Timing of onset of intraoperative transfusion anaphylaxis: a literature review.	Nagoya J Med Sci. 2024 Aug;86(3):351–360.	Original Article

485	Misawa T, Kagawa T, Ohgami N, et al	麻酔科	Elevated level of urinary tellurium is a potential risk for increase of blood pressure in humans and mice.	Environ Int. 2024 Jun;188:108735.	Original Article
486	Amano Y, Mizutani K, Kato Y, et al	麻酔科	Causative agent for perioperative anaphylaxis in a child with autism successfully identified using the intradermal test under general anesthesia.	JA Clin Rep. 2024 Aug 8;10(1):48. (オンライン)	Original Article
487	Tamura T, Yoshikawa Y, Ogawa S, et al	麻酔科	New insights in cardiovascular anesthesia: a dual focus on clinical practice and research.	J Anesth. 2025 Feb;39(1):117–122.	Original Article
488	Nakamoto M, Tamura T, Kobayashi E, et al	麻酔科	Prevention of central venous catheter occlusion by saline with or without heparin in intensive care unit after surgical intervention: a double-blind, randomized trial.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):51–59.	Original Article
489	Shiraki A, Kidokoro H, Watanabe H, et al	小児科	Sleep state-dependent development of resting-state functional connectivity during the preterm period.	Sleep. 2024 Dec 11;47(12):zsae225.	Original Article
490	Ito Y, Ito T, Narahara S, et al	小児科	Body composition and motor function in children born large for gestational age at term.	Pediatr Res. 2024 Sep;96(4):1030–1036.	Original Article
491	Narita H, Natsume J, Suzuki T, et al	小児科	Diffuse but Non-homogeneous Brain Atrophy: Identification of Specific Brain Regions and Their Correlation with Clinical Severity in Rett Syndrome.	Brain Dev. 2025 Jun;47(3):104348.	Original Article
492	Haruta K, Fukuda Y, Yamaguchi H, et al	小児科	Plasma Proteomic Profiles of Pediatric Patients With Human Herpesvirus 6B Encephalitis Following Umbilical Cord Blood Transplantation.	J Med Virol. 2025 Mar;97(3):e70311.	Original Article
493	Go K, Kawano Y, Nagai N, et al	小児科	Frequency of SARS-CoV-2 antecedent infection in patients with Kawasaki disease.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):76–83.	Original Article
494	Takeuchi S, Kawada JI, Suzuki A, et al	小児科	Metagenomic Analysis of Lung Microbiome in Patients With Interstitial Lung Diseases and Sarcoidosis: An Experimental Study.	Health Sci Rep. 2025 Feb 6;8(2):e70328. (オンライン)	Original Article
495	Nishinosono T, Muramatsu H, Wakamatsu M, et al	小児科	Successful Treatment with Sirolimus of a Patient with a Novel CARD11 Germline Mutation in B-Cell Expansion with Nuclear Factor Kappa B and T-Cell Anergy: Case Report and Literature Review.	J Clin Immunol. 2025 Feb 25;45(1):78. (オンライン)	Case Report
496	Suzuki T, Sato Y, Okuno Y, et al	小児科	Single-Cell Transcriptomic Analysis of Epstein-Barr Virus-Associated Hemophagocytic Lymphohistiocytosis.	J Clin Immunol. 2024 Apr 20;44(4):103. (オンライン)	Original Article
497	Tsumura Y, Muramatsu H, Tetsuka N, et al	小児科	A Japanese retrospective study of non-tuberculous mycobacterial infection in children, adolescents, and young adult patients with hematologic-oncologic diseases.	Haematologica. 2024 Sep 1;109(9):2988–2997. (オンライン)	Original Article
498	Suzuki K, Hama A, Okuno Y, et al	小児科	A retrospective analysis of gene fusions and treatment outcomes in pediatric acute megakaryoblastic leukemia without Down syndrome.	Haematologica. 2024 Jun 1;109(6):1936–1940. (オンライン)	Original Article
499	Ikeyama T, Hozumi T, Kikuyama K, et al	小児科	Chest Compression Depth Targets in Critically Ill Infants and Children Measured With a Laser Distance Meter: Single-Center Retrospective Study From Japan, 2019–2022.	Pediatr Crit Care Med. 2024 Aug 1;25(8):720–727.	Original Article
500	Sajiki D, Muramatsu H, Wakamatsu M, et al	小児科	Risk factors of bloodstream infection after allogeneic hematopoietic cell transplantation in children/adolescent and young adults.	PLoS One. 2024 Aug 7;19(8):e0308395. (オンライン)	Original Article
501	Mitsumatsu T, Ito Y, Maki Y, et al	小児科	Epileptic foci and networks in children with epilepsy after acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion.	Brain Dev. 2024 Oct;46(9):302–307.	Case Report
502	Kawada JI, Yamaguchi M, Haruta K, et al	小児科	Serum proteomic profiles of patients with chronic recurrent multifocal osteomyelitis.	Rheumatology (Oxford). 2025 Mar 1;64(3):1138–1146.	Original Article
503	Wakamatsu M, Muramatsu H, Sato H, et al	小児科	Integrated proteogenomic analysis for inherited bone marrow failure syndrome.	Leukemia. 2024 Jun;38(6):1256–1265.	Original Article
504	Sajiki D, Yoshida N, Muramatsu H, et al	小児科	Clinical features of immature leukemias in children.	Int J Hematol. 2024 Jul;120(1):117–127.	Original Article
505	Fukuda Y, Torii Y, Iwata KI, et al	小児科	Comparison of Whole Blood and Plasma for Monitoring Cytomegalovirus and Epstein-Barr Virus.	New Microbiol. 2024 May;47(1):52–59.	Original Article
506	Nishio Y, Kato K, Oishi H, et al	小児科	MYCN in human development and diseases.	Front Oncol. 2024 May 31;14:1417607. (オンライン)	Original Article
507	Iwata KI, Torii Y, Sakai A, et al	小児科	Association between adeno-associated virus 2 and severe acute hepatitis of unknown etiology in Japanese children.	J Infect Chemother. 2025 Jan;31(1):102462.	Original Article
508	Go K, Yasuda K, Kato T	小児科	Balloon angioplasty for bilateral severe peripheral pulmonary artery stenoses associated with chondrodysplasia punctata: a case report.	Cardiol Young. 2024 Nov;34(11):2495–2498.	Case Report
509	Shiraki A, Yamamoto H, Ohno A, et al	小児科	Color density spectral array findings on continuous EEG during therapeutic hypothermia in children with acute encephalopathy.	Brain Dev. 2024 Nov;46(10):313–319.	Original Article

510	Shiraki A, Kidokoro H, Watanabe H, et al	小児科	Haemodynamic Responses to Spontaneous Neural Activity on the Electroencephalogram in Preterm Infants.	Adv Exp Med Biol. 2024;1463:91–96.	Original Article
511	Mitsumatsu T, Ito Y, Muramatsu Y, et al	小児科	Motor and functional characteristics in school-age survivors of congenital diaphragmatic hernia: a cross-sectional observational study.	Arch Dis Child Fetal Neonatal Ed. 2025 Feb 16:fetalneonatal-2024-327942.	Original Article
512	Kanzawa T, Kinoshita F, Namba F, et al	小児科	Development and validation of a prediction model for bronchopulmonary dysplasia using respiratory severity score.	Pediatr Res. 2025 Feb 3.	Original Article
513	Fujisawa C, Nakashima H, Komiya H, et al	老年内科	Association of marital relationship with quality of life among older adults with mild cognitive impairment and mild dementia.	Geriatr Gerontol Int. 2024 Jun;24(6):646–647.	Letter
514	Miyahara S, Maeda K, Matsui Y, et al	老年内科	Association of body mass index-adjusted calf circumference with appendicular skeletal muscle mass and fall risk in older adults.	Eur Geriatr Med. 2024 Oct;15(5):1313–1321.	Original Article
515	Yamada Y, Nakashima H, Nagae M, et al	老年内科	Dual Sensory Impairment Predicts an Increased Risk of Postdischarge Falls in Older Patients.	J Am Med Dir Assoc. 2024 Sep;25(9):105123.	Original Article
516	Umegaki H	老年内科	Hospital-associated complications in frail older adults.	Nagoya J Med Sci. 2024 May;86(2):181–188.	Original Article
517	Fujisawa C, Umegaki H, Sugimoto T, et al	老年内科	Objective physical function declines in the absence of subjective physical complaints among patients with amnesic mild cognitive impairments and mild alzheimer’s disease.	Eur Geriatr Med. 2024 Oct;15(5):1503–1508.	Original Article
518	Umegaki H	老年内科	Management of older adults with diabetes mellitus: Perspective from geriatric medicine.	J Diabetes Investig. 2024 Oct;15(10):1347–1354.	Original Article
519	Sakai T, Jadcak AD, Khalid A, et al	老年内科	The prevalence of, and factors associated with, a risk of depression in residential aged care services residents: Findings from the FIRST study.	Australas J Ageing. 2024 Dec;43(4):811–817.	Original Article
520	Nagae M, Umegaki H, Nakashima H, et al	老年内科	FI-lab in the emergency department and adverse outcomes among acutely hospitalized older adults.	Arch Gerontol Geriatr. 2025 Feb;129:105649.	Original Article
521	Miyahara S, Maeda K, Yasuda A, et al	老年内科	The potential of body mass index-adjusted calf circumference as a proxy for low muscle mass in the global leadership initiative on malnutrition criteria.	Clin Nutr. 2024 Dec;43(12):225–230.	Original Article
522	Nagae M, Umegaki H, Komiya H, et al	老年内科	Factors associated with decline in activities of daily living in home-based medical care.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):173–177.	Original Article
523	Watanabe K, Nagae M, Miyahara S, et al	老年内科	Dysphagia and quality of life in older adults receiving home-based medical care.	Geriatr Gerontol Int. 2025 Feb;25(2):325–326.	Letter
524	Umegaki H, Satake S, Ishii S, et al	老年内科	Special Issue: Comprehensive geriatric assessment (CGA)-based healthcare guidelines 2024.	Geriatr Gerontol Int. 2025 Mar;25 Suppl 1:16–23.	Original Article
525	Iyoshi S, Kimura M, Yoshihara M, et al	産科婦人科	Detailed analysis of the histology-specific impact of ascites volume on the outcome of epithelial ovarian cancer: a multi-institutional retrospective cohort study.	BMC Cancer. 2024 Nov 29;24(1):1479. (オンライン)	Original Article
526	Kajiya H, Tamauchi S, Takahashi F, et al	産科婦人科	Annual report of the committee on gynecologic oncology, the Japan Society of Obstetrics and Gynecology: Annual patient report for 2021 and annual treatment report for 2016.	J Obstet Gynaecol Res. 2025 Jan;51(1):e16168.	Original Article
527	Sonehara R, Nakamura T, Takeda T, et al	産科婦人科	A novel senotherapeutic strategy with azithromycin for preventing endometriosis progression.	Reprod Biol Endocrinol. 2025 Mar 26;23(1):47. (オンライン)	Original Article
528	Iyoshi S, Sunohara M, Yoshihara M, et al	産科婦人科	Long-term prognostic significance of ascites cytology in ovarian cancer cases in which R0 resection was achieved in the initial surgery: a multi-institutional retrospective cohort study.	Jpn J Clin Oncol. 2025 Mar 20;hyaf046.	Original Article
529	Miyamoto E, Yoshihara M, Iyoshi S, et al	産科婦人科	Factors affecting the long-term prognosis of patients in the AYA generation with epithelial ovarian cancer: A multicenter propensity score matching analysis.	Int J Gynaecol Obstet. 2024 Sep;166(3):1225–1231.	Original Article
530	Mizutani H, Ushida T, Kajiya H, et al	産科婦人科	Importance of the time sequence between measurement of the predictor and of the predicted outcome: Response.	Int J Obstet Anesth. 2024 May;58:103995.	Letter
531	Matsukawa T, Yoshikawa N, Liu W, et al	産科婦人科	Spatial distribution of tumor-resident macrophages as predictive biomarkers in endometrial cancer.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Jul;50(7):1141–1147.	Original Article
532	Uekusa R, Yokoi A, Watanabe E, et al	産科婦人科	Real-world data of poly (ADP-ribose) polymerase inhibitor response in Japanese patients with ovarian cancer.	Cancer Med. 2024 Apr;13(7):e7149.	Original Article
533	Yokoi A, Machida H, Shimada M, et al	産科婦人科	Efficacy and safety of minimally invasive surgery versus open laparotomy for epithelial ovarian cancer: A systematic review and meta-analysis.	Gynecol Oncol. 2024 Nov;190:42–52.	Original Article

534	Tamauchi S, Nakagawa A, Yoshida K, et al	産科婦人科	Update on the oncologic and obstetric outcomes of medroxyprogesterone acetate treatment for atypical endometrial hyperplasia and endometrial cancer.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Sep;50(9):1614–1621.	Original Article
535	Uekusa R, Yokoi A, Watanabe E, et al	産科婦人科	Safety assessments and clinical features of PARP inhibitors from real-world data of Japanese patients with ovarian cancer.	Sci Rep. 2024 Jun 1;14(1):12595. (オンライン)	Original Article
536	Okawa A, Yoshihara M, Osafune A, et al	産科婦人科	Plasma Exchange in Postpartum Hemorrhage (PPH)–Associated Thrombotic Microangiopathy (TMA): A Case Report.	Cureus. 2024 May 4;16(5):e59623. (オンライン)	Case Report
537	Imai K, Hashimoto Y, Ito Y, et al	産科婦人科	Educational results of the Japan Maternal Emergency Life–Saving (J–MELS) simulation training organized by Japan Council for the Implementation of the Maternal Emergency Life–Saving System (J–CIMELS): a 12–month longitudinal follow–up study in Japan.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Sep;50(9):1513–1521.	Original Article
538	Matsuo S, Yokoi A, Yoshida K, et al	産科婦人科	Amniotic fluid–derived small extracellular vesicles for predicting postnatal severe outcome of congenital diaphragmatic hernia.	J Extracell Biol. 2024 Jun 21;3(6):e160. (オンライン)	Original Article
539	Fuma K, Kotani T, Tsuda H, et al	産科婦人科	Impact of antenatal corticosteroids–to–delivery interval on very preterm neonatal outcomes: a retrospective study in two tertiary centers in Japan.	BMC Pregnancy Childbirth. 2024 Sep 18;24(1):607. (オンライン)	Original Article
540	Fuma K, Ushida T, Kawaguchi M, et al	産科婦人科	Impact of antenatal corticosteroids on subcortical volumes in preterm infants at term–equivalent age: A retrospective observational study.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2024 Nov;302:7–14.	Original Article
541	Kato A, Ushida T, Matsuo S, et al	産科婦人科	Assisted reproductive technology and prolonged third stage of labour: a multicentre study in Japan.	Reprod Biomed Online. 2024 Dec;49(6):104382.	Original Article
542	Fujimoto H, Yoshihara M, Ricciardelli C, et al	産科婦人科	Aging affects regrowth of stealthperitoneal dissemination of advanced ovarian cancer: a multicenter retrospective cohort study.	Sci Rep. 2024 Oct 9;14(1):23537. (オンライン)	Original Article
543	Shibata M, Yoshida K, Yokoi A, et al	産科婦人科	Elucidation of the role of XBP1 in the progression of complete hydatidiform mole to invasive mole through RNA–seq.	Gynecol Oncol. 2024 Nov;190:189–199.	Original Article
544	Matsuo S, Moriyama Y, Ushida T, et al	産科婦人科	Elevated levels of apolipoprotein A4 in umbilical cord serum from the maternal major depressive disorder.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Nov;50(11):2038–2045.	Original Article
545	Mogi K, Tomita H, Yoshihara M, et al	産科婦人科	Advances in bacterial artificial chromosome (BAC) transgenic mice for gene analysis and disease research.	Gene. 2025 Jan 20;934:149014.	Original Article
546	Fuma K, Iitani Y, Imai K, et al	産科婦人科	Prenatal inflammation impairs early CD11c–positive microglia induction and delays myelination in neurodevelopmental disorders.	Commun Biol. 2025 Jan 17;8(1):75. (オンライン)	Original Article
547	Yoshida K, Yokoi A, Suzuki H, et al	産科婦人科	Single–Nucleus RNA Sequencing and Spatial Transcriptomics for Squamous Cell Carcinoma Arising From Ovarian Mature Teratoma.	Cancer Sci. 2025 May;116(5):1339–1351.	Original Article
548	Hattori S, Yoshikawa N, Liu W, et al	産科婦人科	Understanding the impact of spatial immunophenotypes on the survival of endometrial cancer patients through the ProMisE classification.	Cancer Immunol Immunother. 2025 Jan 3;74(2):70. (オンライン)	Original Article
549	Suzuki K, Yokoi A, Matsuzaki J, et al	産科婦人科	Circulating serum miRNAs predict response to platinum chemotherapy in high–grade serous ovarian cancer.	Cancer Med. 2024 Nov;13(22):e70251.	Original Article
550	Aoki U, Yoshida K, Yasui Y, et al	産科婦人科	Utility of manual vacuum aspiration followed by curettage in the treating hydatidiform mole: A retrospective analysis.	J Obstet Gynaecol Res. 2025 Jan;51(1):e16210.	Original Article
551	Tano S, Kotani T, Ushida T, et al	産科婦人科	Visualizing risk modification of hypertensive disorders of pregnancy: development and validation of prediction model for personalized interpregnancy weight management.	Hypertens Res. 2025 Mar;48(3):884–893.	Original Article
552	Muraoka A, Yokoi A, Yoshida K, et al	産科婦人科	Serum–derived small extracellular vesicles as biomarkers for predicting pregnancy and delivery on assisted reproductive technology in patients with endometriosis.	Front Endocrinol (Lausanne). 2025 Jan 17;15:1442684. (オンライン)	Original Article
553	Imai K, Tano S, Fuma K, et al	産科婦人科	Effect of Cytokine Concentrations on Long–term Neurological Outcomes in Fetal Pleural Effusion Managed with Thoracoamniotic Shunt.	JMA J. 2025 Jan 15;8(1):288–292.	Original Article
554	Kaseki S, Sonehara R, Motooka Y, et al	産科婦人科	Susceptibility of Brca1((L63X/+)) rat to ovarian reserve dissipation by chemotherapeutic agents to breast cancer.	Cancer Sci. 2025 Apr;116(4):1139–1152.	Original Article
555	Tano S, Kotani T, Matsuo S, et al	産科婦人科	Identifying the high–benefit population for weight management–based cardiovascular disease prevention in Japan.	Prev Med Rep. 2024 Jun 4;43:102782. (オンライン)	Original Article
556	Kotani T, Tano S, Ushida T, et al	産科婦人科	Practical weight management to minimize pregnancy complications and promote women’s health: the possibility of interpregnancy care.	Nagoya J Med Sci. 2024 May;86(2):160–168.	Original Article
557	Ushida T, Tano S, Matsuo S, et al	産科婦人科	Patient awareness of long–term cardiovascular and metabolic disease risks after hypertensive disorders of pregnancy in Japan.	J Obstet Gynaecol Res. 2025 Jan;51(1):e16183.	Original Article
558	Ushida T, Nosaka R, Nakatochi M, et al	産科婦人科	Effect of chorioamnionitis on postnatal growth in very preterm infants: a population–based study in Japan.	Arch Gynecol Obstet. 2025 May;311(5):1321–1330.	Original Article

559	Ushida T, Tano S, Matsuo S, et al	産科婦人科	Dietary supplements and prevention of preeclampsia.	Hypertens Res. 2025 Apr;48(4):1444–1457.	Original Article
560	Mogi K, Yoshihara M, Emoto R, et al	化学療法部	Histology-specific long-term oncologic outcomes in patients with epithelial ovarian cancer who underwent complete tumor resection: The implication of occult seeds after initial surgery.	PLoS One. 2024 Nov 25;19(11):e0311421. (オンライン)	Original Article
561	Kondo T, Miyachi J, JÄnnsson A, et al	総合診療科	A mixed-methods study comparing human-led and ChatGPT-driven qualitative analysis in medical education research.	Nagoya J Med Sci. 2024 Nov;86(4):620–644.	Original Article
562	Furukawa N, Matsui H, Sunaga H, et al	病理部	Sacubitril/valsartan improves diastolic left ventricular stiffness with increased titin phosphorylation via cGMP-PKG activation in diabetic mice.	Sci Rep. 2024 Oct 23;14(1):25081. (オンライン)	Original Article
563	Nakaguro M	病理部	Clearing the clouds of uncertainty: Foreword for the special issue “Diagnostic pitfalls of salivary gland tumor pathology”.	Semin Diagn Pathol. 2024 Jul;41(4):163–164.	Original Article
564	Toyokuni S	病理部	Special issue: Extracellular fine particles in life, death and disease.	Arch Biochem Biophys. 2024 Jul;757:110027.	Original Article
565	Tsuyuki Y, Karube K	病理部	Follicular lymphoma with Epstein-Barr virus-associated transformation: A case report and review of the literature.	J Clin Exp Hematop. 2024 Jun 27;64(2):144–148.	Case Report
566	Nakaguro M	病理部	Diagnostic clues and pitfalls in salivary gland fine-needle aspiration cytology.	Semin Diagn Pathol. 2024 Jul;41(4):207–211.	Original Article
567	Seki M, Satou A, Funato R, et al	病理部	Standardization of CD30 immunohistochemistry staining among three automated immunostaining platforms.	Pathol Int. 2024 Sep;74(9):530–537.	Original Article
568	Karube K, Sakihama S, Takatori M, et al	病理部	Recent progress in pathological understanding of adult T-cell leukemia/lymphoma in the new classification era.	Leuk Res. 2025 Jan;148:107634.	Original Article
569	Toyokuni S, Kong Y	病理部	Decoding the molecular enigma behind asbestos and fibrous nanomaterial-induced carcinogenesis.	J Occup Health. 2025 Jan 7;67(1):uia064.	Original Article
570	Motooka Y, Tanaka H, Maeda Y, et al	病理部	Heterozygous mutation in BRCA2 induces accelerated age-dependent decline in sperm quality with male subfertility in rats.	Sci Rep. 2025 Jan 2;15(1):447. (オンライン)	Original Article
571	Ishihara T, Kato K, Matsumoto K, et al	循環器内科	Meflin/ISLR is a marker of adipose stem and progenitor cells in mice and humans that suppresses white adipose tissue remodeling and fibrosis.	Genes Cells. 2024 Oct;29(10):902–920.	Original Article
572	Owaki T, Iida T, Miyai Y, et al	泌尿器科	Synthetic retinoid-mediated preconditioning of cancer-associated fibroblasts and macrophages improves cancer response to immune checkpoint blockade.	Br J Cancer. 2024 Jul;131(2):372–386.	Original Article
573	Miyachi J, Iwakuma M, Nishigori H	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	An “integration” of professional identity formation among rural physicians experiencing an interplay between their professional and personal identities.	Adv Health Sci Educ Theory Pract. 2025 Feb;30(1):125–149.	Original Article
574	Urushibara-Miyachi Y, Matsushita K, Nishigori H	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	Development of a competency-based national model core curriculum in Japan: A case study.	Med Teach. 2024 Sep;46(sup1):S11–S20.	Original Article
575	Nishigori H	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	Medical education in Japan.	Med Teach. 2024 Sep;46(sup1):S4–S10.	Original Article
576	Nishigori H, Haruta J, Urushibara-Miyachi Y	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	What can Japanese medical education contribute to the world?	Med Teach. 2024 Sep;46(sup1):S1–S3.	Original Article
577	Onoue T, Asada Y, Imafuku R, et al	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	Developing competencies relating to information science and technology in Japanese undergraduate medical education.	Med Teach. 2024 Sep;46(sup1):S31–S37.	Original Article
578	Matsuzaki T, Mizoguchi H, Yamada K	薬剤部	The Use of Text Mining to Obtain a Historical Overview of Research on Therapeutic Drug Monitoring.	Biol Pharm Bull. 2024;47(11):1883–1892.	Original Article
579	Nakai T, Tamura T, Miyagawa Y, et al	薬剤部	Population pharmacokinetic model of tranexamic acid in patients who undergo cardiac surgery with cardiopulmonary bypass.	Eur J Clin Pharmacol. 2025 Mar;81(3):441–449.	Original Article
580	Iima M, Kataoka M, Honda M, et al	放射線科(部)	Diffusion-Weighted MRI for the Assessment of Molecular Prognostic Biomarkers in Breast Cancer.	Korean J Radiol. 2024 Jul;25(7):623–633.	Original Article
581	Iima M, Nakayama R, Kataoka M, et al	放射線科(部)	Comparing Lesion Conspicuity and ADC Reliability in High-resolution Diffusion-weighted Imaging of the Breast.	Magn Reson Med Sci. 2024 Sep 26.	Original Article
582	Iima M, Mizuno R, Kataoka M, et al	放射線科(部)	Deep Learning Applied to Diffusion-weighted Imaging for Differentiating Malignant from Benign Breast Tumors without Lesion Segmentation.	Radiol Artif Intell. 2025 Jan;7(1):e240206.	Original Article
583	Iima M, Honda M, Satake H, et al	放射線科(部)	Standardization and advancements efforts in breast diffusion-weighted imaging.	Jpn J Radiol. 2025 Mar;43(3):347–354.	Original Article
584	Iima M, Satake H	放射線科(部)	Sequential Reading Effects in Digital Breast Tomosynthesis: Improving False-Positive Rates Without Compromising Cancer Detection.	Radiology. 2024 Nov;313(2):e242642.	Original Article

585	Shimojo M, Inden Y, Yanagisawa S, et al	循環器内科	Exploring epicardial arrhythmogenic substrates in long QT syndrome type III overlapping with J-wave syndrome.	HeartRhythm Case Rep. 2024 Dec 16;11(3):256–260. (オンライン)	Case Report
586	Tanaka H, Sakai A, Suenaga M, et al	消化器・腫瘍外科 (消化管)	FUT2 and FUT3-specific normalization of DUPAN-2 and carbohydrate antigen 19–9 in preoperative therapy for pancreatic cancer: multicentre retrospective study (GEMINI-PC-01).	Br J Surg. 2025 Mar 28;112(4):znaf049.	Original Article
587	Murata Y, Ogura A, Jinno T, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Two-team laparoscopic extended lateral lymph node dissection with transperineal resection of the distal main trunk of internal iliac vein using a linear stapler–A video vignette.	Colorectal Dis. 2024 Sep;26(9):1784–1785.	Letter
588	Onoe S, Yokoyama Y, Igami T, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Effect of Preoperative Autologous Blood Storage in Major Hepatectomy for Perihilar Malignancy: A Randomized Controlled Trial.	Ann Surg. 2025 May 1;281(5):741–747.	Original Article
589	Kobayashi R, Ogura A, Murata Y, et al	消化器・腫瘍外科 (肝胆膵)	Salvage Laparoscopic Left Lateral Lymph Node Dissection for Regrowth Without Total Mesorectal Excision 30 Months After Completion of Total Neoadjuvant Therapy for Locally Advanced Rectal Cancer.	Dis Colon Rectum. 2025 Mar 1;68(3):e102.	Original Article
590	Minamimoto R, Abe Y, Kamiya S, et al	放射線科	Imaging insights of FDG–PET from neonates to infants.	Jpn J Radiol. 2025 Mar 5.	Original Article
591	Minamimoto R, Kato K, Naganawa S	放射線科	Clinical scenarios of unusual FDG uptake in muscle.	Jpn J Radiol. 2025 Feb;43(2):177–185.	Original Article
592	Kawashima N, Kataoka S, Hamada M, et al	小児科	Late gastroenterological complications in children after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: A retrospective cohort study and a case series of children treated with Kampo medicines	TRADIT KAMPO MED.2024 APR:11(1):9	Original Article
593	Miyazaki A, Taki T, Mori S, et al	皮膚科	Lentigo maligna melanoma showing radial growth mimicking eruptive melanocytic nevi	DERMATOL SIN.2024 APR:42(2):2	Letter
594	Moriyoshi H, Riku Y, Ito Y, et al	脳神経内科	Fasciculations detected by muscle ultrasonography in the early stage of amyotrophic lateral sclerosis: An autopsy case	NEUROL CLIN NEUROSCI.2024 MAY:12(6):4	Original Article
595	Koshitori Y, Takai N, Isomura Y, et al	看護部	Delaying treatment for peritonitis could be related to longer hospitalization in patients on peritoneal dialysis	RENAL REPLACE THER.2024 NOV:10(1):8	Original Article

計595件

(注)

- 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
- 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	安藤 貴宏,西脇 公俊	麻酔科	インヒビターのない先天性血友病Aの複合性局所疼痛症候群に対する区域麻酔	日本ペインクリニック学会誌;2024.12:31:254-256	Original Article
2	岩本 和馬,田宮 裕太郎,三上 智 他	呼吸器内科	胸水貯留を契機に診断された神経線維腫症1型に伴う悪性末梢神経鞘腫瘍の1例	内科;2025.02:135:337-341	Original Article
3	伊藤 隆徳,川嶋 啓揮	消化器内科	【薬物性肝障害】ICIによる肝障害	日本消化器病学会雑誌;2024.12:121:948-956	Review
4	三浦 泰智,水野 隆史,神原 祐一 他	消化器・腫瘍外科 (消化管)	腹腔鏡下天蓋切除術を施行した巨大脾中皮嚢胞の1例	日本内視鏡外科学会雑誌;2024.07:29:299-304	Original Article
5	大澤 郁介,竹上 靖彦,飯田 浩貴 他	整形外科	未発症の大腿骨頭壊死の自然経過 JIC分類による生存率と早期圧潰のリスク因子	Hip Joint;2024.08:50:10-14	Original Article
6	河合 秀紀,井岡 大河,太田 淳也 他	眼科	片眼性網膜色素変性が疑われる症例に対してマイクロペリメータMP-3で評価を行った1例	眼科;2024.08:66:791-798	Original Article
7	茜部 穂波,森 章一郎,堀崎 健 他	皮膚科	カルボプラチン・パクリタキセル療法が著効した進行期脂腺癌の1例	Skin Cancer;2024.06:39:36-40	Original Article
8	竹内 想,武市 拓也,中黒 匡人 他	皮膚科	病変部毛包内に毛包虫を認めたMorbihan病の1例	皮膚科の臨床;2024.07:66:1145-1148	Original Article
9	天野 靖大,田村 高廣	麻酔科	肺塞栓症との鑑別を有したアナフィラキシーの1症例	日本臨床麻酔学会誌;2024.11:44:619-624	Original Article
10	桑原 隆宏,山根 光知,高田 秀人 他	麻酔科	肝移植術中に発症した心内血栓・塞栓症による心停止に対しECMOを導入したが重篤な低酸素脳症となった1症例	麻酔;2024.12:73:837-842	Original Article
11	布施 佑太郎,竹内 和人,橋本 典明 他	脳神経外科	神経内視鏡画像における機能性下垂体腫瘍を含めた手術支援AIシステムの構築	日本内分泌学会雑誌;2024.08:100:19-21	Original Article
12	樋口 慎一,生田 国大,橋川 和信 他	形成外科	上腕に発生した軟骨肉腫に対し遊離腓骨皮弁移植術を用いて再建を行ったMaffucci症候群の1例	日本マイクロサージャリー学会会誌;2024.09:37:133-136	Original Article
13	神戸 未来,亀井 譲,高橋 正克 他	形成外科	移植後18年経過した大網弁を移植床血管とした遊離皮弁手術の1例	日本マイクロサージャリー学会会誌;2024.12:37:183-188	Original Article
14	山田 陽平,安藤 友一,佐藤 元紀 他	総合診療科	地域で医療人を育む事業の評価 医療・介護職体験イベント「メディカルキッズ」参加者の医療人志向への影響	医学教育;2024.06:55:235-238	Original Article
15	堀 勇斗,寺井 千晶,府金 幸紀 他	リハビリテーション部	補助人工心臓植込み後に高次脳機能障害を合併し,寛骨臼骨折受傷後,部分荷重歩行獲得に難渋した一例	国立大学リハビリテーション;2024.04:45:54-58	Original Article
16	福澤 翔太,宮川 泰宏,川原田 祐貴 他	薬剤部	COVID-19軽症・中等症患者における薬剤関連問題に対する病棟薬剤師介入効果の評価	医療薬学;2024.11:50:614-621	Original Article
17	松崎 哲郎	薬剤部	AIと薬剤師業務	日本病院薬剤師会雑誌;2024.06:60:573-577	Review
18	藤井 晃子,秋山 直美,秋山 智弥 他	看護部	トランジション・サイクルに基づいた看護師長のキャリア発達段階の特徴 全国の国立大学病院の看護師長に対するアンケート調査から	日本看護管理学会誌;2024.:28:1-10	Original Article
19	服部 真代,西堀 正洋,石津 洋二 他	医療技術部	先天性無フィブリノゲン血症患者の多発動脈血栓の評価にSuperb microvascular imaging(SMI)を活用した1例	超音波検査技術;2024.04:49:131-137	Original Article
20	古川 大記,三沢 翔太郎,大山 慎太郎 他	メディカルITセンター	機械学習による院内死亡予測モデルの特性分析	医療情報学;2024.04:44:29-37	Original Article
21	田中 龍一,野田 晴香,岸上 靖幸 他	総合周産期母子医療センター	体外受精胚移植を受けた妊婦より出生した先天性結核の1例	日本周産期・新生児医学会雑誌;2024.12:60:516-522	Original Article
22	前田 剛志	総合周産期母子医療センター	周産期の栄養と代謝を考える.新生児の栄養と代謝を考える 超早産児における修正40週までの成長指標,成長度と3歳時神経発達予後の関連性の検討	周産期学シンポジウム;2024.:66-71	Original Article
23	森川 真紀,小島 梨紗,米原 優香 他	ゲノム医療センター	性の多様性と遺伝カウンセリング 東海遺伝カウンセラー研修会より	日本遺伝カウンセリング学会誌;2024.06:45:21-29	Original Article
24	水野 史崇,藤田 孝義,森井 正哉 他	消化器内科	大腸腺腫のEMR検体で主要組織所見が得られた好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例	Gastroenterological Endoscopy;2024.11:66:2577-2584	Original Article
25	石川 恵里,中村 正直,川嶋 啓揮	消化器内科	腸管リンパ腫の診断と治療	Gastroenterological Endoscopy;2024.11:66:2533-2544	Review
26	池上 脩二,山村 健史,中村 正直 他	消化器内科	大腸ポリープに対するコールドスネアポリペクトミーで腹腔内出血をきたした1例	Gastroenterological Endoscopy;2024.05:66:1236-1241	Original Article
27	大野 栄三郎,石田 卓哉,水谷 泰之 他	消化器内科	膵嚢胞性腫瘍の外科切除症例における術前超音波内視鏡検査の誤診に関連する因子	超音波医学;2025.01:52:27-35	Original Article

28	深見 祐樹,小池 春樹,勝野 雅央	脳神経内科	自己免疫性ノドパチーの病態および治療	末梢神経;2024.06:35:74-82	Review
29	木村 宏之,岸 辰一,日下紀子 他	精神科	精神分析的サイコセラピー研修としてのオンラインスーパービジョンに関する調査研究	精神分析研究;2024.07:68:385-397	Original Article
30	中村 由嘉子,木野内 南,尾崎 紀夫	精神科	当事者・家族が精神医学の研究に望むこと アンケート調査の結果から	精神神経学雑誌;2024.04:126:251-262	Original Article
31	濱崎 一,吉田 光宏,中林規容 他	脳神経外科	妊娠中に坐骨神経痛で発症した腰椎椎間板ヘルニアに対し手術加療を行った1例	脊髄外科;2024.04:38:61-65	Original Article
32	牛田 知子,牛田 宏昭,夏目 啓吾 他	眼科	病初期より視神経炎を認めた再発性多発軟骨炎の1例	臨床眼科;2024.04:78:505-510	Original Article
33	結城 賢弥,小野 岳志,芝大介 他	眼科	角膜移植後緑内障に対するAhmed緑内障バルブ挿入術の手術成績	日本眼科学会雑誌;2025.01:129:43-51	Original Article
34	重山 真由,西尾 直樹,原千尋 他	耳鼻いんこう科	前頭部に発生した巨大脂肪腫例 CT値による術前診断	耳鼻咽喉科臨床;2024.06:117:541-546	Original Article
35	長谷川 雅俊,柘植 勇人,鈴木 淳志 他	耳鼻いんこう科	口蓋扁桃ランゲルハンス細胞肉腫例	耳鼻咽喉科臨床;2025.01:118:49-54	Original Article
36	岩村 祥平,楊 承勲,吉田忠雄 他	耳鼻いんこう科	結核性中耳炎例	耳鼻咽喉科臨床;2025.02:118:99-103	Original Article
37	奥田 健太郎,都築 秀典,小林 万純 他	耳鼻いんこう科	側頭部痛で発症した肺腺癌側頭骨転移例	耳鼻咽喉科臨床;2024.05:117:469-474	Original Article
38	梶村 有紀子,市村 典久,太田 優也 他	歯科口腔外科	インヒビター保有重症血友病A患者に対するエミシズマブの投与下での抜歯経験	日本口腔外科学会雑誌;2025.01:71:15-20	Original Article
39	合田 陽祐,内田 広夫,横田 一樹 他	小児外科	【再手術の戦略と実際】先天性横隔膜ヘルニア再発に対する手術アプローチ	小児外科;2024.07:56:682-685	Original Article
40	徳武 克浩,建部 将広,岩月 克之 他	手の外科	手指切断・四肢開放損傷患者の救急搬送に関する動画アプリケーション活用の取り組み	日本マイクロサージャリー学会会誌;2024.09:37:109-115	Original Article
41	加藤 史織,桃原 真理子,武市 拓也 他	皮膚科	【皮膚筋炎のすべて】早期治療介入が間質性肺炎に著効した抗PM/Sci抗体陽性皮膚筋炎	皮膚病診療;2025.02:47:150-154	Original Article
42	山下 雄太,室 慶直,秋山真志	皮膚科	【環状の紅斑と環状紅斑】annular erythema of infancy	皮膚病診療;2024.06:46:524-527	Original Article
43	太田 肇,三宅 菜月,太田幸希 他	産科婦人科	機能性ゴナドトロピン産生下垂体腫瘍が原因で生じた卵巣嚢胞に対しくり返し卵巣腫瘍摘出術が行われた1例	産科と婦人科;2024.05:91:593-597	Original Article
44	矢吹 淳司,村岡 彩子,吉田 康将 他	産科婦人科	卵巣子宮内膜症性嚢胞摘出術後の卵巣予備能を血清microRNAで予測する	日本エンドメトリオーシス学会会誌;2024.09:45:40-43	Original Article
45	安藤 拓朗,加留部 謙之輔	病理部	心臓原発血管肉腫の病理解剖症例	現代医学;2024.12:71:118-121	Original Article
46	Kawashima H, Ishikawa T, Yamao K	消化器内科	[Current status of diagnosis and drainage in biliary stenosis lesions].	Nihon Shokakibyo Gakkai Zasshi. 2024;121(4):251-257.	Original Article
47	Matsushita T	輸血部	[Biology of von Willebrand factor and pathogenesis of von Willebrand disease].	Rinsho Ketsueki. 2024;65(8):756-763.	Original Article

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

計47件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 無
・ 手順書の主な内容 倫理審査委員会業務（利益相反マネジメント、試料等の保管、対応表の管理、有害事象、審査受託、教育等）及び研究者の申請についての手順・方法等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年34回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 無
・ 規定の主な内容 利益相反の定義、教職員等の責務、委員会の組織等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の実務について」、 「適切な臨床研究管理の追求」、「臨床介入研究（特定臨床研究）における留意点」、 「臨床観察研究の倫理審査」、「研究倫理の基本と最近の動向について」、 「フルゲノム解析研究の実施に関しての倫理的問題点について」	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科に所属して、初期研修によって習得された基本的診療能力に上乘せられる、医師としての総合的診療能力の習得に加えて、当該診療科で実施されている先進的な医療に特化した研修を行うことで、医師としての広くかつ専門的経験を蓄積しながら、専門医資格の取得等を目指す後期研修を実施している。

また、新しい専門医制度の平成30年4月開始に伴い、全19領域の基幹病院として、日本専門医機構に提出した各領域のプログラムに基づき、専門医資格の取得を目指す後期研修を実施している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	200.75人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
佐藤 寿一	総合診療科	病院教授	39年	
梅垣 宏行	老年内科	教授	35年	
清井 仁	血液内科	教授	39年	
室原 豊明	循環器内科	教授	40年	
川嶋 啓揮	消化器内科	教授	30年	
石井 誠	呼吸器内科	教授	29年	
有馬 寛	糖尿病・内分泌内科	教授	37年	
小杉 智規	腎臓内科	准教授	30年	
佐橋 健太郎	脳神経内科	准教授	26年	
江畑 智希	消化器・腫瘍外科（肝胆膵）	教授	35年	
神田 光郎	消化器・腫瘍外科（消化管）	教授	24年	
坂野 比呂志	血管外科	教授	29年	
小倉 靖弘	移植外科	病院教授	34年	
菊森 豊根	乳腺・内分泌外科	病院准教授	36年	
六鹿 雅登	心臓外科	教授	29年	
芳川 豊史	呼吸器外科	教授	28年	
橋川 和信	形成外科	教授	28年	
内田 広夫	小児外科	教授	36年	
秋山 浩一	麻酔科	教授	20年	
高橋 義行	小児科	教授	33年	
梶山 広明	産科婦人科	教授	30年	
池田 匡志	精神科	教授	26年	
今釜 史郎	整形外科	教授	28年	
西口 康二	眼科	教授	28年	

秋山 真志	皮膚科	教授	39年	
赤松 秀輔	泌尿器科	教授	24年	
曾根 三千彦	耳鼻いんこう科	教授	38年	
長縄 慎二	放射線科	教授	38年	
齋藤 竜太	脳神経外科	教授	27年	
山本 尚範	救急科	講師	17年	
西田 佳弘	リハビリテーション科	病院教授	37年	
日比 英晴	歯科口腔外科	教授	38年	
加留部 謙之輔	病理部	教授	25年	
八木 哲也	中央感染制御部	教授	37年	
佐藤 義朗	総合周産期母子医療センター	病院准教授	28年	
安藤 雄一	化学療法部	教授	35年	
錦織 宏	卒後臨床研修・キャリア形成支援センター	教授	27年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【医療技術部】

1) 医療技術部職員に向け研修を年2回実施。

1)-1「キャリアデザインとキャリア支援」

1)-2「部下のキャリア支援&成長を促すための面談」

2) 検査・輸血当直研修（検体受付・臨床化学・免疫・血液凝固・一般検査・血液培養・輸血）

3) ISO内部監査員養成講座

【看護部】

看護部は、専門職として自律し、主体的に看護活動ができる看護師の育成を目指して、研修・教育を実施している。

2年目以上の看護職員に対し、看護の質を考え提供できる力、チーム医療を支える力やマネジメント力を養うための研修を段階的に実施している。

新人を対象とする卒後臨床研修制度は、①基礎的な看護の知識・技術・態度の習得を図る、②看護師としての実践力を身につけること、を目標としている。この制度の研修の1つにフィジカルアセスメントを中心とした Savinglifeナース育成研修がある。これは患者の変化を早急に気づき、患者の早期回復に向けた看護実践ができる看護師を育成するための研修である。看護職員全員が3年間をかけてこの研修を修了している。

この他に、高度急性期病院の役割を果たすための病院研修として救命講習会があり、全職員が2年に1度一次救命講習会に参加している。また、手術室、集中治療室等、ハイリスクエリアと定めた部門の職員は、2年に1度二次救命講習会に参加している。全看護職員は、2年間をかけこの講習会に参加している。

・研修の期間・実施回数

【医療技術部】

1) -1 2024年9月20日、1)-2 2025年3月25日

2) 7.45時間×27日間・1回

3) 7時間×1日間・1回

【看護部】

2024年4月～2025年3月

看護部研修：48のプログラム、延べ受講時間12180時間（オリエンテーション時の研修含む）

・研修の参加人数

【医療技術部】

1)-1 70名 1)-2 22名

2) 5人

3) 5人

【看護部】

看護部研修：延べ 6527人（オリエンテーション参加人数：延べ 2748人含む）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【臨床研究セミナー】

臨床研究を担う人材の育成を目的とし、臨床研究に従事する職員（医師及び歯科医師含む）、研究者、大学院生等を対象として、先端医療開発部が毎月1，2回程度開催している。講習内容は毎回異なり、法規，知財，モニタリング等，多岐に渡るテーマでセミナーを実施している。

・研修の期間・実施回数

1 セミナーにつき1時間半

令和6年度は延べ18回開催した。（DVD上映でのセミナー4回を含む）

・研修の参加人数

令和6年度は延べ3，454名が受講した。（DVDでの受講者544名を含む）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 丸山 彰一	
管理担当者氏名	副病院長・患者安全推進部長 長尾 能雅 病院長補佐・電子カルテ管理室長 伊神 剛 薬剤部長 池末 裕明 医療機器総合管理部長 田中 千恵 総務課長 土屋 有司 人事労務課長 宿輪 宏典 経営企画課長 高井 真治 経理課長 廣瀬 昌俊 医事課長 小山 敬史	

		保 管 場 所		管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	・ 疾病分類 ICD-10 ・ 管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで 中央管理(一部紙媒体にて保存) ・ 持ち出しに関する取扱い 診療録の持ち出しは原則禁止としている。エックス線写真の持ち出しは, 名古屋大学医学部附属病院病歴等管理要項第12及び第13のと通りの取扱とする。(別添参照)
		各科診療日誌	中央管理	
		処方せん	中央管理	
		手術記録	中央管理	
		看護記録	中央管理	
		検査所見記録	中央管理	
		エックス線写真	中央管理	
		紹介状	中央管理	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	中央管理	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事労務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課, 医事課	
		高度の医療の研修の実績	人事労務課	
		閲覧実績	総務課, 医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一条の十に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課, 薬剤部	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	患者安全推進部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	患者安全推進部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	患者安全推進部	

		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	患者安全推進部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	患者安全推進部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	患者安全推進部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	患者安全推進部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	患者安全推進部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	経理課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経理課, 臨床工学技術部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経理課, 臨床工学技術部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経理課, 臨床工学技術部	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	患者安全推進部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	患者安全推進部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	患者安全推進部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	電子カルテ管理室
		医療安全管理部門の設置状況	患者安全推進部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	患者安全推進部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	患者安全推進部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者安全推進部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査室
		職員研修の実施状況	患者安全推進部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

名古屋大学医学部附属病院病歴等管理要項

(趣旨)

第1 名古屋大学医学部附属病院（以下「病院」という。）における病歴等の管理については、この要項の定めるところによる。

(目的)

第2 病歴等の管理は、医学部、大学院医学系研究科及び本院（以下「病院等」という。）における診療・教育及び研究に資することを目的とする。

(定義)

第3 この要項において病歴等とは、本院の患者に係る診療録、X線フィルム及びそれらの付属書類（以下「診療録等」という。）をいう。

(退院時要約の作成)

第4 全診療科において医師は、全退院患者についての退院時要約を作成する。

2 前項に規定する退院時要約の作成に関し必要な事項は、名古屋大学医学部附属病院病歴等管理要項実施細則第2条及び第3条に定める。

(プライバシーの確保)

第5 病院等の職員及び診療録等の閲覧又は貸出（以下「閲覧等」という。）を希望する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 診療情報の秘密保護に関する事項
- 二 患者情報等の秘密保護に関する事項
- 三 複写の禁止に関する事項
- 四 データの保護に関する事項
- 五 その他診療録等の情報管理に関する事項

(診療録等の管理責任者)

第6 診療録等を適正に管理するため、診療録等管理責任者（以下「管理責任者」という。）を置き、電子カルテ管理室長をもって充てる。

(診療録等の管理区分)

第7 診療録等の管理は、管理責任者及び医事課が行う。

2 平成29年12月31日以前の電子媒体上に記録されていない、名古屋大学医学部附属病院病院情報管理システム管理運用要項施行細則（以下「施行細則」という。）第11条に規定する対象文書等については、電子媒体上にスキャン取込み後、原本を保管する。

3 平成30年1月1日以降に電子媒体上にスキャン取り込みされた施行細則第11条に規定される対象文書等については、電子化された情報を原本とする。

(診療録等の保存)

第8 診療録等の保存期間は、次のとおりとする。

- 一 外来診療録、入院診療録等 受診した診療科の最終受診日から5年間
- 二 診療録等をマイクロフィルム化及び電子化したもの 永久

2 診療録等の保管方法及び保存期間を経過した診療録の取扱いについては別に定める。

(診療録等の閲覧及び貸出)

第9 診療録等は、原則として診療、教育・研究、公法上の規定及び医事調査等による目的以外は

閲覧等を許可しないものとする。

- 2 診療録等の閲覧等及び検索に係る遵守事項については、別に定める。
- 3 診療に必要な外来診療録、入院診療録等は各診療科の依頼に応じ、医事課が迅速に提供する。

(診療録等の閲覧等の資格)

第 10 診療録等の閲覧等ができる者は、次の者とする。

- 一 病院等に所属し、診療に従事している医師及び歯科医師
- 二 診療従事者として病院長の承認を得た医師及び歯科医師
- 三 前各号に掲げる者のほか、病院長又は管理責任者が許可した者

(診療録等の閲覧等の申請及び許可)

第 11 医事課が管理する診療録等の閲覧等を希望する者は、医事課が管理する「診療録等閲覧・貸出申込書」(以下「申込書」という。)を医事課に提出し、許可を得るものとする。

- 2 医事課は、前項の申込書を受理した場合は、閲覧等の資格及び利用目的を確認し、適当であると判断した場合に閲覧等を許可するものとする。
- 3 閲覧は医事課内で行うこととし、貸出は病院等の範囲内とする。

(X 線フィルムの院外貸出)

第 12 前条第 3 項の規定にかかわらず X 線フィルムの院外貸出については、次に掲げる要件を満たす場合に許可することができるものとする。

- 一 都道府県及び市町村の条例等により、公費負担医療受給申請書等に X 線フィルムの添付が求められている場合の患者(患者が未成年の場合の保護者を含む。)への貸出
- 二 労災認定等の資料として X 線フィルムの提出が求められている場合の労働基準監督署への貸出
- 三 診療上の必要事由による他の医療機関への貸出

- 2 前項第一の貸出の判断は、当該患者が受診している診療科の主治医が行うものとし、主治医が退職している場合にあっては、当該診療科長が判断する。

(診療録等の閲覧等の期間)

第 13 診療録等の閲覧等の期間は 14 日間とする。

- 2 X 線フィルムの院外貸出期間は、前項の規定にかかわらず原則として次のとおりとする。

- 一 公費負担医療受給申請及び労災に係るもの 1 月以内
- 二 その他のもの 2 週間以内

- 3 閲覧等の期間終了後なお閲覧等の必要がある場合は、医事課の許可を得るものとし、継続できる閲覧等の期間は、前回の閲覧等期間満了日から 14 日以内とする。
- 4 閲覧等の期間内であっても、診療上、当該診療録等が緊急に必要な場合は、直ちに返却するものとする。
- 5 医事課が管理する診療録等は、医事課内の所定の場所に返却するものとする。

(時間外及び休日等の閲覧等)

第 14 土曜日、日曜日、祝祭日及び 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日における医事課が管理する診療録等の閲覧等については、あらかじめ許可を得ているものを除き、診療上、当該患者の診療録等が緊急に必要な場合にのみ許可する。

- 2 前項により医事課が管理する診療録等の閲覧等を行う者は、当該診療録等の所在確認のため、申込書に必要事項を記載して所定の整理箱に投函しておくものとする。

- 3 前項により医事課が管理する診療録等の閲覧等を行う場合は、閲覧等を行う者が警務員室から医事課の鍵の貸出を受けて入室し、退出時は消灯、施錠等の確認を行い、貸出を受けた鍵は退出後速やかに警務員室に返却するものとする。。

(雑則)

- 第 15 この要項の実施に関し必要な事項は、名古屋大学医学部附属病院カルテ管理委員会の議を経て病院長が定める。

附 則

この要項は、平成 16 年 4 月 1 日から実施する。

附 則

この要項は、平成 22 年 3 月 10 日から実施する。

附 則

この要項は、平成 24 年 4 月 11 日から実施し、平成 24 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要項は、平成 28 年 9 月 14 日から実施する。

附 則

この要項は、令和 3 年 4 月 14 日から実施し、令和 3 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要項は、令和 4 年 2 月 1 日から実施し、令和 3 年 6 月 1 日から適用する。

附 則

この要項は、令和 6 年 4 月 10 日から施行し、令和 6 年 4 月 1 日から適用する。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者安全管理に関する基本的な考え方 ・ 組織に関する基本的事項 ・ 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 ・ 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ・ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者との間の情報の共有に関する方針 ・ 患者からの相談等への対応に関する基本方針 	
<p>② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 ((有)・無) ・ 開催状況：年 18回 ・ 活動の主な内容： <p>医療事故発生の防止に努め、かつ、発生した医療事故への適切な対応及び病院全体の医療の質向上を積極的に図るため、次の事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項 ・ 医療上の紛争処理に関する事項 ・ 医療の質向上に関する事項 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容(すべて)： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員、外注業者を対象として、「4つの安全文化」、「IPSG.1 患者を2つの方法で正しく確認する」、「IPSG.2 コミュニケーションを効果的に行う」、「JCI受審にあたって」、「IPSG.2.2 患者ケアの引継ぎのコミュニケーション」、「IPSG.6 転倒・転落による患者の傷害リスクを低減する」、「患者の権利について」、「患者安全と患者中心の医療」、「患者中心の医療を考える～人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインから～」、「患者の体験(Patient Experience)を患者安全に活かす」等をテーマとした研修を実施した。 ・ 新規・中途採用職員を対象として、採用時に患者安全ポケットガイドの内容について研修を実施。 ・ チームSTEPPS研修(導入コース)を計7回実施し、457名が受講、累積受講率は95.4%であった。 ・ チームSTEPPS研修(アドバンスコース)を計4回実施し、123名が受講、累積受講率は88.1%であった。 ・ 平成28年度からは、各種会議で患者安全推進部から周知した重要伝達事項について、各職員の理解度を確認するため、簡易なテストを実施し、解説を行っている。 ・ 令和4年度からは診療報酬の改訂を受け、e-learning研修で求められる「双方向のコミュニケーション」について以下の対応を実施している。 e-learning研修に「質問」の項目を追加し、寄せられた質問に対する回答を全職員が閲覧する学内サイトに公開している。 	
<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 	

- ・各部門とのインシデント検討会にて報告事例を審議し、改善に結びつける。
。（51回開催）
- ・重大事故に関しては外部委員主導の事故調査委員会などを開催し、そこで得られた分析結果や提言を踏まえ、再発防止に結びつける。（新規2件開始）
- ・多職種が関連した事例等については、カンファレンス形式による検討会を開催し、改善に活かしている。（1回開催）
- ・インシデント報告総件数（14,073件）

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染対策に関する基本的な考え方 ・ 院内感染対策のための委員会と組織 ・ 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 病院感染リスクアセスメントに基づいた感染対策の立案 ・ 抗菌薬適正使用の推進 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <p>院内感染の防止に努めるとともに、発生した感染事例について適切な対応を図る。 これらの活動のため、次の事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染の予防及び対策等に関する事項 ・ 患者の取扱いに関する事項 ・ 医療従事者への感染予防に関する事項 ・ 中央感染制御部の運営に関する必要な事項 ・ その他院内感染、難治感染症対策及び抗菌薬適正使用に関する事項 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員、外注者を対象として、「感染対策と抗菌薬適正使用」、「手指衛生/医療環境の感染対策 患者さんと自分自身を守るための感染対策&JCIに関連した院内ルールの確認」、「I PSG. 5.1 ケアバンドル」、をテーマとした研修を実施 ・ 清掃業者を対象として、「清掃業務に関わる感染対策」をテーマとした研修を実施 ・ 新規・中途採用職員を対象として、採用時に感染予防などをテーマとした研修を実施 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全病棟と外来、部門を対象に感染対策の知識、手指衛生などの感染対策の実施状況、環境整備のチェックを中心としたICTラウンドの実施 ・ MRSAなどの薬剤耐性菌等の新規検出症例数の独自介入基準を設け、基準に合致した部署に対して手指衛生観察巡回などを実施し、手指衛生や感染経路別対策感染対策の強化を図っている ・ NICUとの定期的なミーティングの実施、SICU/EMICUのミーティングへの参加 ・ 抗菌薬適正使用の推進を目的とした薬剤部とのミーティング ・ 診療科横断的な感染症症例コンサルテーションと血液培養陽性例への介入 ・ 4職種の実務的メンバーによるICTコアミーティングを週1回行い、全病院的に感染対策が漏れなく実施されるよう検討・管理している 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>研修の主な内容：</p> <p>・ 医師・歯科医師・看護師・薬剤師・医療技術職員を対象とした医薬品の安全使用に係る研修（ハイアラート薬の安全性を高める）を実施した。</p> <p>・ 医師・歯科医師・看護師・薬剤師・医療技術職員を対象とした医薬品の安全使用に係る研修（疑義照会・医薬品副作用の報告制度）を実施した。</p> <p>・ 新入職時職員を対象とした研修（入職時オリエンテーション：医薬品）を実施した。</p> <p>・ 中途採用者を対象とした研修（入職時オリエンテーション：医薬品）を実施した。</p> <p>・ 新任看護師を対象とした研修（薬剤管理①、薬剤管理②）を実施した。</p> <p>・ 研修医を対象とした研修（薬剤安全プログラム・医薬品の取り扱いについて）を実施した。</p>	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <p>・ 手順書の作成 （有・無）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者の業務に関する事項、医薬品の採用・購入に関する事項、医薬品の管理に関する事項、患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項、患者に対する与薬や服薬指導に関する事項、医薬品の安全使用に係わる情報の取り扱いに関する事項、ハイアラート薬の取り扱いに関する事項、名称類似および外観類似薬の取り扱いに関する事項、他施設との連携に関する事項、適応外の使用、禁忌等の処方に係わる確認および指導に関する事項、院内製剤の取り扱いに関する事項、化学療法に関わる事項、重大な有害事象の予防・対応に関する事項、医薬品関連の情報システムに関する事項、医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の遂行に関する事項</p>	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>近年、喀血患者に対する新しい治療戦略としてトラネキサム酸の吸入投与が注目されている。トラネキサム酸の吸入投与は静注投与と比較して喀血患者の出血量が少なく、喀血停止割合が高いことが報告されている。</p> <p>当院でLoeys-Dietz症候群に伴う肺出血を繰り返し、2年間で数十回入院を要し、トラネキサム酸およびカルバゾクロムスルホン酸ナトリウムの静脈注射投与を行っていた患者に、適応外使用としてトラネキサム酸の吸入投与を行いたいということで、昨年度、未承認新規医薬品等評価委員会に、その患者限定で使用する適応外使用として申請され、承認された。開始後喀血で救急外来受診することはあるものの、入院を要するような症状はなく、また目立った副作用もなく外来で管理できており、効果が認められたと考えている。これらの状況については、申請医師より提出された使用経過報告書により薬剤部未承認新規医薬品等管理室の薬剤師が確認し、未承認新規医薬品等評価委員と情報共有した。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>・ 薬剤部のペイシェントセーフティマネジャーおよび病棟担当薬剤師が、診療科（部）、病棟、中央診療施設などにおいて、患者安全推進部と連携して、各部署内における医薬品の安全管理に関する指導を行っている。</p> <p>・ 医薬品に係わる適正使用に関する情報や副作用情報を医薬品安全運用協議会、薬事委員会、患者安全推進委員会等で報告している。</p> <p>・ 担当副薬剤部長および担当室長は、医薬品安全運用協議会やペイシェントセーフティマネジャー会議に出席し、患者安全推進部に専従で配置されている薬剤師と連携して、インシデント対策や運用手順の見直しを行っている。</p> <p>・ 必要に応じて薬品情報室から安全使用のための情報を文書にて各病棟、外来診療科、その他の部署に配布するとともにメールにて配信している。さらに、電子カルテのDI参照のお知らせ画面、薬剤部ウェブサイトにも安全使用のための情報を掲載し職員への周知徹底に努めている。</p> <p>・ 重要度の高い情報については、電子カルテのトップページや院内広報：薬剤部ページにも掲載している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	随時
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工呼吸器・除細動器など特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる機器に関して、医療機器総合管理部が年2回実施。 ・ 放射線部門にて直線加速器と放射線照射装置に関する年2回の定期研修を実施。 ・ その他の医療機器についても各部署にて適宜勉強会を実施。 (随時実施) ・ 新卒者のオリエンテーションにて、医療機器の安全使用のための研修を実施。 ・ 研修医や看護師を対象に臨床工学技士・メーカーによる研修の実施。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器の管理を医療機器管理ソフトにて行っており、購入日・使用場所・保守点検状況等の管理を行っている。 ・ 臨床工学技士が生命維持管理装置(人工心肺・血液浄化・不整脈・心臓カテーテル・OPE・ICU関連)の操作・保守点検・管理を行っている。 ・ 院内で中央管理する機器の定期点検は電気安全解析装置などのシミュレーターを用いて実施している。また交換パーツについてはメーカー講習会を受講し、供給を受けて院内で行っている。 ・ ダウインチやX線撮影装置など保守契約を結んでいるものについては、機器の空き状況を確認し実施している。 ・ 手術室および臨床工学技術部に委託業者が常駐して医療機器の日常点検や不具合発生時の対応などを行う、医療機器保守管理業務契約を締結している。 ・ その他医療機器についても、必要に応じ定期点検等の保守契約を結んでいる。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)： <p>医療機器について、R6年度の未承認医療機器の使用申請は0件。適応外使用申請・承認についての実績は1件。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児患者の開心術の際に、アトムピンクカテーテルを小児の人工心肺の送脱血管を固定するチューブとして利用 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>PMDAやメーカー、納入業者からの報告を受理し、CEニュース(臨床工学技術部による院内広報)や医療機器総合管理部が発出するMDI(Medical Device Information)通知メール、電子カルテに掲載するなど電子媒体を利用して関連部署での情報共有を実施している。</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者を配置しており、患者安全推進部長、患者安全推進委員会委員長を務め、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（17名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報は、整理した上で薬事委員会月例報告として院内へ周知している。周知状況の確認は、各診療科の薬事委員が周知完了報告を薬剤部薬品情報室に提出することにより行っている。また、各診療科の周知状況は薬事委員会にて報告している</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>（未承認薬）</p> <p>未承認薬は未承認新規医薬品等評価委員会へ申請し承認を得た上で使用されている。副作用報告や個別の経過報告を行っている。</p> <p>未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門については、「名古屋大学医学部附属病院未承認新規医薬品取扱要項」および「名古屋大学医学部附属病院未承認新規医薬品等評価委員会に関する要項」を制定した。</p> <p>（適応外）</p> <p>適応外使用については、未承認新規医薬品等評価委員会で承認した適応外使用医薬品を「適応外投与（承認）一覧」として薬剤部内に通知し薬剤師全員で情報を共有している。薬剤師は処方監査時に適応外使用を把握した場合は、患者への説明及びカルテへの記載が必要であること、未承認新規医薬品等評価委員会への申請が必要であることを医師に指導して記録を残している。</p> <p>（禁忌）</p> <p>禁忌処方をチェックするシステムは電子カルテ上にあり、医師が処方確定時にアラートが表示される。また、薬剤部で印字された処方せんの下部にもアラートが印字される。薬剤師は処方監査時にこのアラート情報を確認し、個別に医師へ連絡し、当該医師の対応方針を確認した後に記録を残している。</p>	

・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 目的、方針、適応範囲、定義、役割と責任、遵守と監視、手順、説明と同意の種類、説明と同意の確認のプロセス、説明・同意書の文書様式、説明及び同意に関し問題が起こった場合、等	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 「診療録等内部監査要項」に基づいてカルテ記載の確認し、その結果を毎月病院機能改善本部会議で報告をしている。 該当診療科のカルテ管理委員へフィードバックし各診療科で対策し診療情報の精度向上に努めている。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・所属職員：専従（10）名、専任（ ）名、兼任（7）名 うち医師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（4）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ・全部門からのインシデント・アクシデント情報の集積と分析	

- ・院内の伝達会議、安全研修、学生教育等による周知、啓発
- ・重大アクシデントに対し、病院全体で対応できる治療連携体制の起動
- ・医療事故に対する第三者を主体とする事例検証（医療事故調査）
- ・適切なインフォームド・コンセント体制の整備

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（14 件）、及び許可件数（16 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・活動の主な内容：
 - ・申請内容を確認するとともに、委員会に対し提供の適否等について意見を求める。
 - ・部門の長は、委員会の意見を踏まえ、提供の適否等について決定し、診療科長へ通知する。
 - ・部門の長は、定期的に適正な手続きに基づいて提供されていたか確認する。また、術後に患者が死亡した場合にも、手術記録、診療録等の記載内容を確認する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1 件）、及び許可件数（1 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・活動の主な内容：

診療科の申請医師は申請書類を薬剤部未承認新規医薬品等管理室に提出する。未承認新規医薬品等管理室の薬剤師は申請書類（申請書、説明同意文書、確認表）と引用文献等の内容を確認し、疑義等について申請者に回答の依頼をする。その後、未承認新規医薬品等評価委員会にて評価委員が申請内容を審査する。事前に評価委員から指摘事項等を挙げ、その内容を申請医師に連絡する。申請医師は書類の修正等委員会前にできるだけ対応し、未承認新規医薬品等評価委員会で申請内容の説

明、指摘事項等の回答等をする。

申請が適当と判断され、患者に使用された後、申請医師は定期的に経過報告書を提出する。未承認新規医薬品等管理室の薬剤師は、同意の取得、副作用がモニタリングされているか等遵守状況について確認を行う。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有 ☐無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒有 ☐無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 354 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 203 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
死亡状況の確認及び審議

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（☒有（病院名：弘前大学医学部附属病院）・無）
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒有（病院名：熊本大学病院）・無）
- ・ 技術的助言の実施状況
 - ・ インシデントやアクシデントの報告等の状況，医療安全管理委員会の業務の状況，医薬品等の安全使用体制の状況，高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療の適否等を決定する部門の運用状況，監査委員会の業務の結果及び監査委員会からの指摘への対応状況についての助言があった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況

当院は、地域連携・患者相談センターに患者安全に係る相談窓口を設置し、平日 8 時 30 分から 17 時まで、電話および対面により一次対応を行っている。安全管理に関連する事案については、患者安全推進部と連携のうえ、院内手順書に基づき速やかにエスカレーションし、適切に対応する体制を整備している。相談対応責任者は地域連携・患者相談センター長、最終判断者は患者安全推進部長とする。同センターには、医療相談を担当する医療ソーシャルワーカー（MSW）12 名および看護師 13 名、苦情相談を担当する相談員 4 名、センター事務補助 2 名を配置している。個人情報の取扱いは関係法令および院内規程に従う。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

医師：各診療科に所属して、初期研修によって習得された基本的診療能力に上乗せされる、医師としての総合的診療能力の習得に加えて、当該診療科で実施されている先進的な医療に特化した研修を行うことで、医師としての広くかつ専門的経験を蓄積しながら、専門医資格の取得等を目指す後期研修を実施している。

また、新しい専門医制度の平成 30 年 4 月開始に伴い、全 19 領域の基幹病院として、日本専門医機構に提出した各領域のプログラムに基づき、専門医師資格の取得を目指す後期研修を実施している。

看護師：専門職として自律し、主体的に看護活動ができる看護師の育成を目指して、研修・教育を実施している。新人を対象とする卒後臨床研修制度は、①基礎的な看護の知識・技術・態度の習得を図る、②看護師としての実践力を身につけること、を目標としている。この制度の研修の 1 つにフィジカルアセスメントを中心とした Savinglife ナース育成研修がある。これは患者の変化を早急に気づき、患者の早期回復に向けた看護実践ができる看護師を育成するための研修である。看護職員全員が 3 年間をかけてこの研修を修了している。この他に、高度急性期病院の役割を果たすための病院研修として救命講習会があり、全職員が 2 年に 1 度一次救命講習会に参加している。また、手術室、集中治療室等、ハイリスクエリアと定めた部門の職員は、2 年に 1 度二次救命講習会に参加している。全看護職員は、2 年間をかけこの講習会に参加している。

・全職員、外注業者を対象として、「4 つの安全文化」、「IPSG. 1 患者を 2 つの方法で正しく確認する」、「IPSG. 2 コミュニケーションを効果的に行う」、「JCI 受審にあたって」「IPSG. 2. 2 患者ケアの引継ぎのコミュニケーション」、「IPSG. 6 転倒・転落による患者の傷害リスクを低減する」、「患者の権利について」、「患者安全と患者中心の医療」、「患者中心の医療を考える～人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインから～」、「患者の体験 (Patient Experience) を患者安全に活かす」等をテーマとした研修を実施した。

・新規・中途採用職員を対象として、採用時に患者安全ポケットガイドの内容について研修を実施。

・チーム STEPPS 研修（導入コース）を計 7 回実施し、457 名が受講した。

・チーム STEPPS 研修（アドバンスコース）を計 4 回実施し、123 名が受講した。

・平成 28 年度からは、各種会議で患者安全推進部から周知した重要伝達事項について、各職員の理

解度を確認するため、簡易なテストを実施し、解説を行っている。

- ・令和４年度からは診療報酬の改訂を受け、e-learning 研修で求められる「双方向のコミュニケーション」について以下の対応を実施している。

e-learning 研修に「質問」の項目を追加し、寄せられた質問に対する回答を全職員が閲覧する学内サイトに公開している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「2024 年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2024 年 11 月に JCI による評価を受審し、認証を受けた。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院ホームページの学内専用サイトに掲載する等して、構成員向けに周知している。

・評価を踏まえ講じた措置

部分的達成とされた 13 項目及び未達成とされた 1 項目について、関係部署が対策を検討し、毎月の関係会議にて対応状況を報告することで、病院全体としてのモニタリングを実施している。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

1. 人格が高潔で、学識が優れ、医学部附属病院内外の信頼を得ることができる者であること。
2. 医学部附属病院等における学生への教育、学術研究及び社会貢献に関して、調和のとれた運営を行うことができる者であること。
3. 医学部附属病院の運営にあたり、構成員の意見に耳を傾けつつ、迅速な意思決定を行う強い指導力を発揮することができる者であること。
4. 診療、臨床教育、臨床研究など大学病院特有のミッションに精通し、医療機関の管理者としてリスク対応を含めた高いマネジメント能力を持ち、多職種からなる構成員に対して、優れたリーダーシップを発揮できる者であること。
5. 医療安全管理業務の経験並びに医療安全を第一に考える姿勢及び指導力を備え、医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者であること。
6. 医学部附属病院の安定的財政基盤の確立と効率的な組織編成を実現できる総合的運営能力を有する者であること。
7. 地域医療へ貢献する姿勢及び国際的な視野を持って医学部附属病院の運営を行うことができる者であること。
8. 医学部附属病院の現状を正確に分析し、大学執行部との対話を通じ設定された部局の中長期ビジョンを着実に実行するとともに、全学及び医学部附属病院の課題について、大学執行部と連携して取り組むことができる者であること。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 公表の方法

ホームページにて公表

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		<input checked="" type="radio"/> 有・無	
<p>・ 合議体の主要な審議内容 病院の経営, 管理及び人事に関する企画, 立案及び方針を決定する。</p> <p>・ 審議の概要の従業者への周知状況 病院部長会において各診療科長に報告するとともに, 病院連絡会において各医局長に決定事項を周知している。</p> <p>・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ）</p> <p>・ 公表の方法</p> <p>・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
丸山 彰一	○	医師	病院長
江畑 智希		医師	副病院長
高橋 義行		医師	副病院長
長尾 能雅		医師	副病院長
梶山 広明		医師	副病院長
川嶋 啓揮		医師	副病院長
今釜 史郎		医師	副病院長
藤井 晃子		看護師	副病院長
竹本 浩伸		事務	副病院長
伊神 剛		医師	病院長補佐
池末 裕明		医師	病院長補佐

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法
名古屋大学ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容
病院長の権限に関する内容は下記のとおり
 - ・ 病院長は、病院の管理、運営をつかさどり、所属職員を統督する。
 - ・ 病院長は、病院で行われる診療について、その実施状況の報告を求め、又は自ら調査し、必要に応じて是正又は停止を命ずることができる
 - ・ 部長、科長、センター長、部門長等（以下「部長等」という。）の任命は、病院長が行う。
 - ・ 病院長は、部長等が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、これを免ずることができる。
 - 一 勤務実績がよいくない場合
 - 二 心身の故障のため職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合
 - 三 その他必要な適性を欠く場合
 - ・ 部長等は、別に定める手続きを経ることなく、その意に反して免ぜられることはない。
 - ・ 病院長は、第4項の規定により部長等を免じたときは、その理由を明らかにしなければならない。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長は、病院長から指示された具体的な事項を担当し、及び病院長が海外渡航等で不在の場合は、あらかじめ病院長が指名した副病院長が、病院長の職務を代行する。
副病院長は、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理・運営等に関する企画・立案にかかわるとともに、広報の職務又は病院の教育・研究・診療にかかわる職務を分担する。
病院長補佐は、病院全体の立場に立ち、病院の管理・運営等に関し提案された企画立案等を検討し、病院長に提言する。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「2024年度特定機能病院管理者研修」を受講。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					<input checked="" type="radio"/> 有・無	
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下に掲げる事項を監査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理に係る体制 ・ 医療安全管理責任者，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況 ・ 患者安全推進部の業務の状況 ・ 患者安全推進委員会の業務の状況 ・ その他医療安全管理に関して必要な事項 <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>名古屋大学医学部附属病院ホームページにおいて公開</p>						
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）						
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況	
柵木 充明	愛知県医師会	○	愛知県医師会長を務めており，医療安全に精通しているため。	無	1	
長谷川 潤	A0I 名古屋病院		A0I 名古屋病院 病院長を務めており，医療安全に精通しているため。	有	1	
長谷川 ふき子	成田・長谷川法律相談所		医療安全管理を得意とする弁護士であり，法律に関する高い識見を有しているため。	無	1	

松下 敏幸	全国健康保険協会愛知支部		全国健康保険協会愛知支部長を務めており、医療を受ける者として、医療に係る高い見識を有しているため。	無	2
矢野 昌浩	名古屋大学		総長が指名する理事・副総長	有	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

名古屋大学監査室において、病院も含めた全学の業務方法書、規程、内規等の整備状況及び実施状況、年度計画に基づく組織及び制度全般の運営状況、人事管理状況などについて監査を行っている。

また、「東海国立大学機構における内部統制システムの整備及び運用に関する規程」を整備し、病院も含めた全学の業務状況を確認するため、内部統制委員会を年一回開催することとしている。

・ 専門部署の設置の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 公表の方法

東海国立大学機構ホームページに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 東海国立大学機構役員会をもって充てることとし、病院の経営に関する事項については 病院長又は副病院長が出席し審議を行うこととしている。 ・ 会議体の実施状況（ 年21回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・<input checked="" type="radio"/>無 ）（ 年 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="radio"/>無 ） ・ 公表の方法 東海国立大学機構ホームページで公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）・ 通報件数（年 0 件）・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）・ 周知の方法 <p>名古屋大学ホームページに掲載するとともに、職員に配付している「医療安全ポケットガイド」においても掲載し、案内している。</p>

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 土屋 有司
閲覧担当者氏名	総務課課長補佐 平子 拓哉
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要	
病院の管理及び運営に関する諸記録は、公文書等の管理に関する法律の規定に基づき、保有する法人文書ファイルとして、名称、保存期間、文書管理者、保存場所、その他の事項を記載した法人文書ファイル管理簿を作成し、一般の閲覧に供するとともに、公表しています。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有 無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>1. 附属病院における臨床研究成果を①名古屋教育記者会会員 15 社へFax、記者会見を通じてプレスリリースを行い、②医学系研究科ホームページに研究トピックスとして掲載し、広く学外・院外に向けて情報発信している。</p> <p>また、臨床研究成果以外の病院の取り組みについても、医学部附属病院ホームページに名大病院の活動として掲載し、広く学外・院外に向けて情報発信している。</p> <p>2. 診療内容・医療サービスや診療実績等の医療情報について、附属病院ホームページにおいて公開している。</p> <p>3. 患者や地域向けに広報誌を作成し、広く頒布している。また、一般市民を対象とした公開講座を毎年度開催し、地域市民に向けた教育・啓発活動にも取り組んでいる。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>ア. 補助人工心臓を用いた重症心不全治療：心臓移植治療は、医師（心臓外科、循環器内科、ICU、麻酔科、精神科）の他に、看護師、臨床工学技士、理学療法士（心臓リハビリ）、臨床心理士、栄養管理士、薬剤師が合同で行っている。植込型補助人工心臓治療は、心臓移植適応患者を対象とするため、多職種カンファレンスで適応を審査し、補助人工心臓移植から在宅管理、将来的な心臓移植までのシームレスな重症心不全治療を多職種で行っている。</p> <p>イ. 肝臓移植：図1のとおり、チーム医療で行っている。</p> <p>ウ. 肉腫患者に対するサルコーマボード：整形外科、化学療法部、放射線科、緩和ケアチーム、泌尿器科などが参加している。</p> <p>エ. 骨転移患者に対する骨転移ボード：整形外科、リハビリテーション科、化学療法部、放射線治療科、緩和ケアチーム、泌尿器科、乳腺・内分泌外科、呼吸器内科などが参加している。</p> <p>オ. 大動脈疾患における人工血管治療とステント治療の同時ハイブリッド手術：心臓外科と血管外科が合同で行っている。</p> <p>カ. 閉塞性動脈硬化症、血管炎、バージャー病による四肢虚血に対する血管新生療法：循環器内科と血管外科が合同で行っている。</p>	

図 1. 肝臓移植とチーム医療

